

平成 27 年度老人保健健康増進等事業(老人保健事業推進費等補助金)

介護老人保健施設における薬物治療の
在り方に関する調査研究事業 報告書

平成 28 年 3 月

公益社団法人 全国老人保健施設協会

はじめに

我が国においては、既に世界に先駆けて超高齢社会に突入し、それに伴い医療保険制度、介護保険制度の持続可能性がまさに問われています。年金や消費税などの課題もありますが、これからを担う若い世代、また子どもや孫の世代が豊かに暮らせるような社会へ日本を導くことが、私たちの責務です。

地域包括ケアシステムでは、「住み慣れた地域で生活を継続する」ことがうたわれています。この実現のためには、その地域で住む「心構え（覚悟）」が重要であり、医療や介護だけでなく、行政との連携等が必須となります。さらにもっと大きな視点で、「街づくり」を考えていく必要があります。地域包括ケア研究会報告書では、介護保険施設について入所サービス機能のみならず、地域支援機能を強化することが重要とされています。

平成 27 年度介護報酬改定では、介護老人保健施設（以下、老健施設）に求められる機能は従来の“在宅復帰・在宅支援を目指す機能”に加え、通所リハビリテーションでも在宅強化型（入所）と同じような考え方が導入され、老健施設における在宅支援機能が一層期待されました。在宅支援機能こそが、地域包括ケアシステムで求められている拠点機能であり、「地域に開かれた老健施設」、「地域に頼られる老健施設」として在宅支援機能を充実させていくことは、老健施設がどんな地域にあらうとも積極的に取り組んでいくべき一番重要な課題であります。

また、これからの介護保険制度の課題は、予防的サービスの充実、質の高いサービス提供、医療を含めた地域資源との連携をいかに効率的・効果的、かつ適正に推進するかということです。

当協会では、平成 27 年度老人保健健康増進等事業（老人保健事業推進費等補助金）にて、「介護支援専門員のケアマネジメントプロセスに関する調査研究事業」、「介護老人保健施設等におけるリハビリテーションの在り方に関する調査研究事業」、「介護老人保健施設における薬物治療の在り方に関する調査研究事業」の 3 事業を実施いたしました。

これらすべての調査研究事業の目的の根底にあるのは、前述した介護保険制度の課題の解決と地域包括ケアシステムの構築に貢献できる老健施設の在り方についての検証です。

これらの成果が広く活用され、我が国の介護サービスの発展につながることを期待します。

平成 28 年 3 月
公益社団法人全国老人保健施設協会
会長 東 憲太郎

目 次

研究要旨	1
I. 事業概要	
1. 事業目的	5
2. 事業内容	5
3. 調査方法	6
4. 調査時期	6
5. 回収状況	6
6. 平成 27 年度 老健施設における薬物治療の在り方に関する調査研究事業班名簿	7
II. 医薬品マスター（基本漢字名称）と処方箋入力データとのマッチングシステムの構築	
1. 医薬品マスター（基本漢字名称）と処方箋入力データとのマッチングシステム概要	8
2. マッチングシステムの仕様	11
3. マッチング結果	18
III. 調査結果	
1. 管理医師調査結果	19
2. 利用者調査結果（初回・2 か月後）	37
3. 服薬の実態について	46
IV. 時系列による服薬状況について	
1. 薬剤別の服薬の変化について	51
2. 利用者の疾患による服薬状況について	57
V. まとめ	65
VI. 資料編	
1. 単純集計表	67
2. 調査票	103

【研究要旨】

〔背景〕

厚生労働科学研究費補助金（長寿科学総合研究事業）「高齢者に対する適切な医療提供に関する研究（H22－長寿－指定－009）」において、高齢者が慢性疾患や老年症候群を複数有していることから、多剤併用とそれに伴う薬物有害事象およびノンアドヒアランス（薬を正しく飲まない）リスクを抱えていること、優先順位の低い薬剤を減らす等の適切な薬剤使用が必要であることが明らかにされた。

それに対し、全国老人保健施設協会（以下、全老健）では、多剤併用の問題点および適切な薬剤使用のための研修を行っており、それにより入所後の高齢者の多剤併用、重複投与や有害事象についての把握や管理が可能となり、減薬が見込まれる。つまり、老健施設における入所を契機として、利用者の多剤併用を是正することの可能性が高いと考えられた。

また、入所中に新たな疾患や疾患の把握により、投薬が必要となる場合がある。特に利用者のQOLの向上やリハビリテーションへの積極的参加を促す上でも、疼痛管理は重要であるが、老健施設において疼痛ケアマニュアルや標準化された疼痛アセスメントスケールの活用、入所時・定期的な疼痛アセスメントを行っている施設はごく少数であり、がんおよび非がん患者の疼痛管理は不十分な状況である。

〔目的〕

老健施設では、入所時に高齢者の多剤併用、重複投与や有害事象について把握し、管理することが可能である。また、入所後には、食事や気温など療養環境の変化とアドヒアランスの改善により、生活習慣病などの病態改善と薬効増強が見込まれ、減薬が必要となるケースも多い。

そこで、老健施設入所時に投与されていた薬剤に関して、入所中の変更やその考え方について実態を把握し、多剤投与が多く見られる薬剤について老年医学の観点から適正な投与方法を検討した。特に、睡眠薬等の向精神薬、降圧薬、抗血栓薬（抗凝固薬、抗血小板薬）、糖尿病薬に注目して、入所時の服薬内容、入所中の減薬とその理由を調査することで、老健施設管理医師の機能としての薬剤マネジメントの在り方について検討した。また特別の配慮が必要な疼痛管理についても、実態を把握した。

〔方法〕

本調査では、入所時および退所時の服薬内容を把握するために、利用者が服用している薬剤名について、特定多数の医師による手書きの回答とレセプト等のコピー等により回答を得た。記載内容を統計処理するためには、調査票に記載された、あるいはレセプト等のコピーにある医薬品名を一致させる必要があるため、入力結果を統計処理するために独自のシステムを構築した。具体的には、アンケート回答の入力結果を、薬価基準点数早見表を元にしたデータベース（医薬品マスター）に複数の検索方法で検索をかけ、その結果をアンケート結果データベースに書き出し、統計処理が可能となるデータを作成した。

〔結果〕

老健施設管理医師への調査では 770 件が分析の対象となった。医師の平均年齢は 68.2 歳で、老健施設での平均勤務年数は 7.8 年であった。

この調査では、利用者の入所後 42.1%の医師はほぼ必ず薬の見直しを行っているという回答し、40.0%の医師が場合によっては見直すと回答した。双方を合計すると約 8 割で見直しがなされていると考えられた。一方見直しを行わないとの回答は 1.7%にすぎなかった。見直す割合が高い薬剤は降圧剤であり、「必ず見直す」と「ほぼ見直す」の合計は 55.1%であった。一方抗血小板薬や抗凝固薬は、見直す割合がやや低い傾向がみられた。また、退所時にかかりつけ医に対して、減薬した理由を診療情報提供書に記載することについては、20.8%が必ずすると回答し、20.4%があまりしないと回答していた。

利用者調査では 1,375 例が分析対象となった。対象者の平均年齢は 84.9 歳、入所前の居場所は地域の一般病床が最も多く、次に自宅であった。一方退所先は自宅が最も多かった。今回調査した疾患別にみると、高血圧の割合が最も高く 56.8%で、次いでアルツハイマー型認知症 (30.3%)、脳梗塞 (28.5%)、糖尿病 (16.9%)、心房細動 (11.9%) の順であった。

服用する薬剤と薬剤データベースとのマッチングにおいては、オリジナルのデータのみを用いた場合は 47.7%のみがマッチングしたが、処方内容の揺らぎを考慮に入れてマッチングを行った結果、94.6%のマッチング率に到達した。

服用する薬剤の種類の数については、入所時が平均 5.89 種類、1 か月後には 5.05 種類に減り、2 か月後にはやや少し増えて 5.35 種類となった。ジェネリック薬の割合は入所時 46.6%が 1 か月後には 52.8%、2 か月後には 57.8%と増加する傾向にあった。

今回の分析対象となった薬剤の種類のみ合計価格（服用回数は反映せず）をみると、入所時は平均 326.9 円、1 か月後で 207.4 円、2 か月後には 220.1 円と、一度減ったものがまた少し増えていた。疾患別に増減をみると、糖尿病、心房細動は 2 か月ともに減少する傾向があったが、アルツハイマー型認知症と高血圧は、1 か月目は減少するものの、2 か月目にはやや増えている傾向があった。このように疾患群により、増減の傾向が違っているのは、おそらく疾患により内服する薬剤の見直し方法も異なるためと考えられた。

入所後の増減薬による有害事象の発生割合は、増薬の場合は 1 か月目までで 3.4%、2 か月目までで 3.9%、減薬の場合はそれぞれ 1 か月 4.7%、2 か月 3.1%であった。副作用を疾患別にみると、心房細動がある場合、増薬によっておきる副作用が 1 か月目まで 21.7%、2 か月目まで 13.5%と他の疾患と比較してやや多い傾向が見られた。薬剤の有害事象とは特定できないが、入所後おきるイベントとして多いものでは「転倒」および「せん妄」があった。

また、薬剤の多剤投与から適正な管理の下の投与に移行することにより、利用者の状態の改善につながり、さらに在宅復帰へ向け入所が短期化することも期待されるが、今回の調査では在宅復帰後までは追跡していないため、老健施設における利用者の薬剤管理による在宅復帰への関連について、あるいはかかりつけ医との連携等による在宅復帰後の利用者へのフォロー等については今後の課題となる。

さらに、老健施設利用者の疾患に応じた薬剤の状況の分析にあたっては、今回、老健施設で使用されている薬剤について把握するために、薬剤名称を元に統計処理が可能となるデータを

作成したが、現状では、薬価基準の薬効別分類コードの4桁のレベルで分析しており、各薬剤をあくまでも大枠でくくった分析結果となった。また薬剤の投与回数もデータクリーニングの上、再分析が必要である。

今回、大枠のくくりの中でも老健施設における服薬数の減少、ジェネリック薬への転換、薬価の減少への効果が確認できたが、今後老健施設における投薬管理による利用者の状態の改善および在宅復帰の短期化、利用者の在宅復帰後の投薬管理（かかりつけ医との連携も含めた）の方策の検討、投薬管理によるコスト削減等に向けた投薬管理についても検討することが必要と考えられた。

〔結語〕

これまでの研究では、高齢者において薬剤が5種類を超えると様々な有害事象が起きやすいことが分かっていた。多剤併用や多重投与を減らす一つの試みとして、平成24年より、日本老年医学会は老健施設管理医師に対する研修制度を開始した。また平成27年に日本老年医学会は『高齢者の安全な薬物療法ガイドライン』を出版したところである。

今回の研究結果では老健施設管理医師は、薬剤の減量を積極的に行っていることが浮き彫りにされた。入所時の服薬種類数は平均5.89種類であったが、1か月後には5.05種類程度までに減り、2か月目には5.35種類とやや増えていた。この増加は症状に応じた治療がなされているためであろう。

一方、入所期間中ジェネリック薬の割合は増える傾向があった。薬価の分析は服薬数の換算が今回の報告では不十分なため正確ではないが、入所後一旦減少し、その後2か月目には再び増加する傾向があった。この傾向は高血圧および認知症を有している利用者に目立った。これらのことから、入所後老健施設管理医師は、利用者の症状を確認しつつ薬の増減を行っていると考えられた。

一方、増加に伴う有害事象と減少に伴う有害事象と考えられるものが、それぞれ3-4%程度とほぼ同じぐらい報告された。その中には、転倒やせん妄が多く、必ずしも薬剤によるものとは断定できない。しかし老健施設入所中は減薬や増薬に伴う有害事象を観察、報告することが可能であるため、入所中に薬剤の種類を減らし、さらにジェネリック薬に切り替えることが、外来よりも安全に行うとと考えられた。

一方、減薬したことについての診療情報の提供はまだ十分とはいえない。例えば約2割の管理医師が薬の変更の内容をかかりつけ医に十分伝えられておらず、その結果、薬剤がまた増えてしまうということがありえると考えられた。

今回の報告は、分析期間が短かったため、十分なデータクリーニングを行えず多くの課題を残した。まず今回の調査では、服薬回数が反映できていないため、薬剤費用に対する計算が不十分であった。また増薬や減薬の影響についても、疾患や薬種別の分析が行われていない。さらには、医師の属性として、研修会への参加や経験等がどのように影響しているのかも検討できていない。これらは今後の検討課題である。

しかしながら、処方箋をベースにしたデータの解析精度を向上させ、これまでは約半分以下しかマッチングできなかった処方内容を9割以上マッチング可能にしたことで、老健施設管理医師

の入所からの減薬パターンを明らかにした。その結果、今回の事業は薬剤の重複投与や多剤投与に対して老健施設が大きな役割を果たせることを示すことができた。さらにマクロ的な視点からみると、要介護高齢者が老健施設に入所することで、薬剤に関連する医療費の削減が期待できる。

提言

1. 高齢者において薬物有害事象がおきやすいのは6剤以上とされている。介護老人保健施設入所をきっかけに高齢者の使用する薬種が約6剤から5剤に減ることから、介護老人保健施設入所をきっかけとして、高齢者の状態を配慮した結果、減薬されたものと考えられる。
2. また介護老人保健施設入所中は、薬剤による有害事象を把握することが容易である。
3. しかしながら、介護老人保健施設退所後に薬剤が再び増えることもあると報告されている。また一部の医師は薬物の変更をかかりつけ医に十分伝えていない可能性がある。今後、介護老人保健施設管理医師の研修や、情報提供方法の改善が望まれる。
4. この目的のためにも、日本老年医学会が実施する老人保健施設管理医師研修会などの周知および充実が望ましい。
5. 減薬およびジェネリック薬への変更は、薬剤費への影響も大きく、医療費削減が期待される。

I. 事業概要

1. 事業目的

厚生労働科学研究費補助金（長寿科学総合研究事業）「高齢者に対する適切な医療提供に関する研究（H22-長寿-指定-009）」において、高齢者が慢性疾患や老年症候群を複数有していることから、多剤併用とそれに伴う薬物有害事象およびノンアドヒアランス（薬を正しく飲まない）リスクを抱えていること、優先順位の低い薬剤を減らす等の適切な薬剤使用が必要であることが明らかにされた。

それに対し、全老健では、多剤併用の問題点および適切な薬剤使用のための研修を行っており、それにより入所後の高齢者の多剤併用、重複投与や有害事象についての把握や管理が可能となり、減薬が見込まれる。つまり、老健施設における入所を契機として、利用者の多剤併用を是正することの可能性が高いと考えられた。

また、入所中に新たな疾患や疾患の把握により、投薬が必要となる場合がある。特に利用者のQOLの向上やリハビリテーションへの積極的参加を促す上でも、疼痛管理は重要であるが、老健施設において疼痛ケアマニュアルや標準化された疼痛アセスメントスケールの活用、入所時・定期的な疼痛アセスメントを行っている施設はごく少数であり、がんおよび非がん患者の疼痛管理は不十分な状況である。

そこで本事業では、特に、睡眠薬等の向精神薬、降圧薬、抗血栓薬（抗凝固薬、抗血小板薬）、糖尿病薬に注目して、入所時の服薬内容、入所中の減薬とその理由を調査することで、老健施設管理医師の機能としての薬剤マネジメントの在り方について検討する。

また、老健施設における疼痛管理の向上を目的に、疼痛アセスメントとケアプランを結びつけた介入モデルを提示した上で、その効果を検討するとともに、併せて老健施設管理医師におけるWHO 3段階除痛ラダーの認知度および実践度について把握をし、利用者のリハビリテーション参加への影響を検討する。

2. 事業内容

本事業においては、下記の調査結果を集約し、医師研修会等の研修に活用する。さらに薬剤にかかる費用の減少効果が認められれば、高齢者医療費抑制策として提言を行う。

（1）老健施設管理医師に対する悉皆調査

- a) 老健施設管理医師に対して、薬剤マネジメントの現状
- b) 施設での受け入れ状況と対応
- c) 地域や主治医における連携状況

（2）老健施設利用者の調査

- a) 入所時の薬剤の種類と量
- b) 入所1か月後時の薬剤の種類と量
- c) 入所2か月後時の薬剤の種類と量
- d) ICFステージングによる調査対象者の状態
- e) 疼痛管理として使用した薬剤の内容

- f) 減薬に伴い生じた望まれない事象
- g) 薬の変更や増薬に伴い生じた有害事象

3. 調査方法

(1) 老健施設管理医師に対する悉皆調査

全老健加盟の老健施設(3,598 施設)を対象に郵送にて「①管理医師調査」を送付・回収した。

(2) 老健施設利用者の調査

全老健加盟の老健施設(3,598 施設)において抽出した、平成27年8月～10月上旬に入所した入所者5名程度を対象に郵送でアンケート調査を行った。調査は利用者の入所時に②個別調査(初回調査(入所時および入所1か月後調査))を行い、さらに同じ利用者に対して③個別調査(入所2か月後または退所時調査)を行った。

4. 調査時期

平成27年8月～平成28年1月

5. 回収状況

(1) 本調査における回収数

- ・管理医師票：770票(回収率：21.4%)
- ・個別調査(初回)：2,004票
- ・個別調査(2か月後)：1,635票

(2) 集計対象数

集計対象は以下のとおり。

- ・管理医師票：770票
- ・個別調査：1,375票

①管理医師調査

②個別調査(初回調査(入所時および入所1か月後調査))

③個別調査(入所2か月後または退所時調査)

個別調査は①～③の3つの調査票のうち、すべて回答されたもののみを集計対象としている。

※個別調査の集計対象には、5件程度、30日未満で退所している利用者が含まれているが、今回は分析スケジュールも考慮し、除外せずに合わせて集計対象とした。

6. 平成27年度 老健施設における薬物治療の在り方に関する調査研究事業班
名簿

種別	氏名	所属名	役職等
担当役員	四藏 直人	介護老人保健施設有縁の荘	理事長
班 長	秋下 雅弘	東京大学医学部附属病院 老年病科	教授
班 員	石井 伸弥	東京大学医学部附属病院 老年病科	助教
	大河内 二郎	介護老人保健施設竜間之郷	施設長
	亀井 美和子	日本大学薬学部 実践薬学系 医療コミュニケーション学研究室	教授
	小島 太郎	東京大学医学部附属病院 老年病科	助教
	鈴木 邦彦	公益社団法人日本医師会	常任理事
	山下 武志	公益財団法人心臓血管研究所	所長
	山本 章	尼崎老人保健施設ブルーベリー	施設長
	山本 昌也	済生会松山老人保健施設にぎたつ苑	苑長
オブザーバー	佐藤 理	厚生労働省 老健局 老人保健課	療養病床転換係長

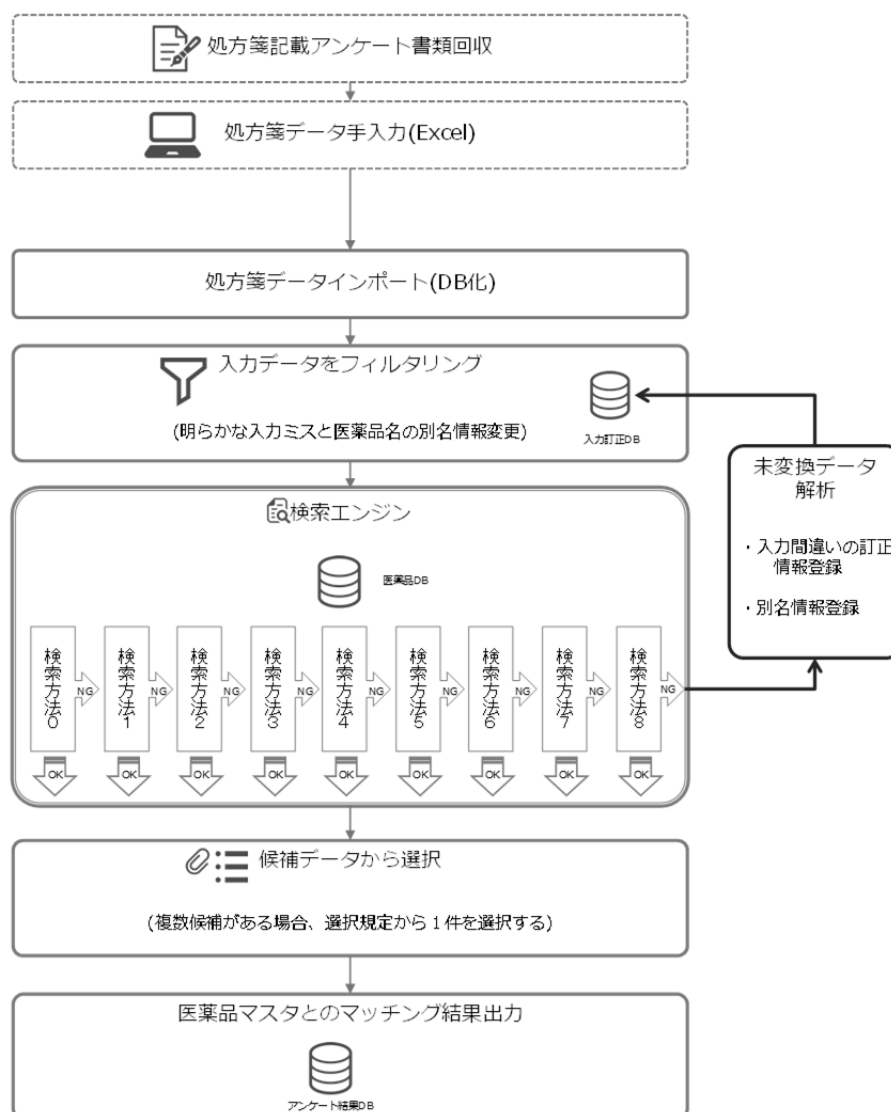
II. 医薬品マスター（基本漢字名称）と処方箋入力データとのマッチングシステムの構築

1. 医薬品マスター（基本漢字名称）と処方箋入力データとのマッチングシステム概要

本事業の調査において入所時および退所時の服薬内容を把握・分析するにあたって、特定多数の医師が記載した医薬品名を一致させる必要がある。

しかし、記載された薬品名が完全に一致するケースというのは、空白や半角・全角を考慮して比較した場合でも、一字でも相違があれば不一致となることから、アンケート結果を統計処理するために独自のシステムを構築した。

本システムは、アンケート回答の入力結果をデータベース化し、フィルタリングした後、薬価基準点数早見表を元にしたデータベース（医薬品マスター）に複数の検索方法で検索をかけ、その結果をアンケート結果データベースに書き出すことで、統計処理が可能となるデータを作成する。



(1) 想定した不一致の解決法

下記の薬品名を例にして説明する。

(例)

薬価基準コード	基本漢字名称
2144002F2349	エナラプリルマレイン酸塩錠 5mg 「トーワ」

アンケート記載例と基本漢字名称を単純に比較した場合、以下のような不一致が想定される。No.2～6はアンケートに記載した医師の癖、No.7～8は入力オペレーターの人為的ミスに起因するものである。これらに対応した検索方法のプログラムを作成した。

No.	記載された医薬品名称	結果	内容
1	エナラプリルマレイン酸塩錠 5mg 「トーワ」	⇒ ◎	マッチングOK
2	エナラプリルマレイン酸塩錠 (5) 「トーワ」	⇒ ×	容量を括弧で略称記載している
3	エナラプリルマレイン酸塩錠 5mg トーワ	⇒ ×	メーカー名を鍵括弧で囲んでいない
4	エナラプリルマレイン 5mg 「トーワ」	⇒ ×	酸塩錠が抜けている
5	5mg エナラプリルマレイン酸塩錠 「トーワ」	⇒ ×	容量を最初に記載している
6	(後) エナラプリルマレイン酸塩錠 5mg	⇒ ×	後発品を選ぶように指示している記載
7	エナラプリルマレイン酸塩錠 5mg 「トーワ」	⇒ ×	ブとプの入力間違い(濁点・半濁点の読み間違い)
8	エナラプソルマレイン酸塩錠 5mg 「トーワ」	⇒ ×	ソとリの入力間違い

①No.2～5の不一致を解決する方法

記載された医薬品名を名称・容量・単位・メーカーに分割し、検索ワードを作成し、検索する方法である。

- 1) 鍵括弧・括弧を削除する。
- 2) 連続するかな漢字部分・連続する数値部分・連続する英字部分の文字列を分解すると以下のとおりの結果となる。

No.	記載された医薬品名称		検索値1	検索値2	検索値3	検索値4
2	エナラプリルマレイン酸塩錠 (5) 「トーワ」	⇒	エナラプリルマレイン酸塩錠	5	トーワ	
3	エナラプリルマレイン酸塩錠 5mg トーワ	⇒	エナラプリルマレイン酸塩錠	5	mg	トーワ
4	エナラプリルマレイン 5mg 「トーワ」	⇒	エナラプリルマレイン酸塩錠	5	mg	トーワ
5	5mg エナラプリルマレイン酸塩錠 「トーワ」	⇒	5	mg	エナラプリルマレイン酸塩錠	トーワ

- 3) DataBase[医薬品マスター] Filed[基本漢字名称]に対して次の条件で検索する。

文字列[エナラプリルマレイン酸塩錠]を含む かつ 文字列[5]を含む かつ 文字列[トーワ]を含む

(結果)

ID	薬価基準コード	基本漢字名称	後発品	単価
12144	2144002F2349	エナラプリルマレイン酸塩錠 5mg 「トーワ」	1	22.9
12613	2144002F1296	エナラプリルマレイン酸塩錠 2.5mg 「トーワ」	1	14.4

- 4) 数値部分を(文字列[5]を含む)としているために 2.5mg のデータも検索対象になってしまう。この解消方法は、

DataBase[医薬品マスター] Filed[基本漢字名称] の数字文字列部分だけを取り出し、数値としてもつ検索値と完全一致させる

(最終結果)

ID	薬価基準コード	基本漢字名称	後発品	単価
12144	2144002F2349	エナラプリルマレイン酸塩錠 5mg 「トーフ」	1	22.9

②No.6の不一致を解決する方法

後発品を選ぶよう、メーカーを指定していないため検索結果が複数となる。その複数結果に条件を設定してデータを選択する検索方法である。

6	(後) エナラプリルマレイン酸塩錠 5mg	⇒ ×	後発品を選ぶように指示している記載
---	-----------------------	-----	-------------------

1) ①1)～4)と同様の手順にして得られる結果は、以下のとおり。

ID	薬価基準コード	基本漢字名称	後発品	単価
7419	2144002F2012	エナラプリルマレイン酸塩錠 5mg 「CH」	1	12.2
11870	2144002F2012	エナラプリルマレイン酸塩錠 5mg 「ファイザー」	1	12.2
11872	2144002F2012	エナラプリルマレイン酸塩錠 5mg 「日新」	1	12.2
11873	2144002F2012	エナラプリルマレイン酸塩錠 5mg 「オーハラ」	1	12.2
11874	2144002F2012	エナラプリルマレイン酸塩錠 5mg 「日医工」	1	12.2
11875	2144002F2012	エナラプリルマレイン酸塩錠 5mg 「MED」	1	12.2
11876	2144002F2373	エナラプリルマレイン酸塩錠 5mg 「ケミファ」	1	22.9
11877	2144002F2012	エナラプリルマレイン酸塩錠 5mg 「タイヨー」	1	12.2
12144	2144002F2349	エナラプリルマレイン酸塩錠 5mg 「トーフ」	1	22.9
12145	2144002F2012	エナラプリルマレイン酸塩錠 5mg 「サワイ」	1	12.2
12544	2144002F2012	エナラプリルマレイン酸塩錠 5mg 「JG」	1	12.2
17704	2144002F2012	エナラプリルマレイン酸塩錠 5mg 「N i k P」	1	12.2

2) 複数結果の場合、下記の条件にてデータを選択する。

- (1) 薬価基準コード(1～9ケタ)が同一であること
- (2) 単価が最小
- (3) ID が最小

(最終結果)

ID	薬価基準コード	基本漢字名称	後発品	単価
7419	2144002F2012	エナラプリルマレイン酸塩錠 5mg 「CH」	1	12.2

③No.7～8の不一致を解決する方法

人為的ミスというより医療専門でないデータ入力オペレーターの読み間違いのケース対応のために、医薬品マスターの基本漢字名称以外に検索用編集値を設ける。(学習機能としてDataBaseの中に検索用編集値を作成する)

(例)

薬価基準コード	基本漢字名称	検索用編集値
2144002F2349	エナラプリルマレイン酸塩錠 5mg 「トーフ」	エナラフ★ルマレイン酸塩錠 5mg 「トーフ」

1) 検索対象の文字列および検索値で下記の編集を行う。

- (1) バ・ビ・ブ・ベ・ボ・パ・ピ・プ・ペ・ポの濁音と半濁音を取り除く。
- (2) リ・ソを★に変換する

No.	記載された医薬品名称		検索値1	検索値2	検索値3	検索値4
7	エナラプリルマレイン酸塩錠 5mg 「トーフ」	⇒	エナラフ★ルマレイン酸塩錠	5	mg	トーフ
8	エナラプソルマレイン酸塩錠 5mg 「トーフ」	⇒	エナラフ★ルマレイン酸塩錠	5	mg	トーフ

2) DataBase[医薬品マスター] Filed[検索用編集値]に対して①と同様の処理を行う。

(最終結果)

検索用編集値	ID	薬価基準コード	基本漢字名称	後発品	単価
エナラフ★ルマレイン酸塩錠 5mg 「トーフ」	12144	2144002F2349	エナラプリルマレイン酸塩錠 5mg 「トーフ」	1	22.9

2. マッチングシステムの仕様

(1) マッチング処理対象データ

自動変換状態="未"のデータを対象にマッチング処理

(2) マッチングのための検索値作成処理

①全角変換

②入力間違いの訂正用辞書 DB(tb1_入力訂正)から入力情報に対して変更をかける

例) "ug" ⇒ "μg" "第1" ⇒ "第一" "内容" ⇒ "内用"

③別名記載の場に訂正用辞書 DB(tb1_入力訂正)から入力情報に対して変更をかける

例) "フォモチジン" ⇒ "ファモチジン"

④特定の文字列処理

・特殊な記載を取り除く

"(後)" ⇒ Null
 "(臨)" ⇒ Null
 "(定)" ⇒ Null
 "(劇)" ⇒ Null
 "(般)" ⇒ Null
 "別" ⇒ Null

・括弧 空白を取り除くまたはWCに変換

"[" ⇒ "*"

"]" ⇒ "*"

"(" ⇒ "*"

")" ⇒ "*"

"<" ⇒ Null

">" ⇒ Null

" " ⇒ "*"

・入力不定値をWC(ワイルドカード)に変換

"●" ⇒ "*"

"□" ⇒ "*"

・記載位置 不確定

"顆粒" ⇒ "*顆粒*"

"細粒" ⇒ "*細粒*"

"錠" ⇒ "*錠*"

"内用液" ⇒ "*内用液*"

"軟膏" ⇒ "*軟膏*"

⑤かなカナ漢字 数字 英文字 の集合単位ごとに分断 最大検索値数8

(3) 医薬品マスタとのマッチング

①マッチング No. 0 (全角のみ考慮した単純)

- 1) マッチング対象項目 ⇒ 基本漢字名称
- 2) マッチングのための Key ⇒ フィルタリングした回答データを全角変換する
- 3) 全文一致検索

②マッチング No. 1 (全角のみ考慮した前方一致)

- 1) マッチング対象項目 ⇒ 基本漢字名称
- 2) マッチングのための Key ⇒ フィルタリングした回答データを全角変換する
- 3) 前方一致検索

③マッチング No. 2 (通常の(1)検索1~8 (2)数値検索を使用)

- 1) マッチング対象項目 ⇒ 基本漢字名称
- 2) マッチングのための Key ⇒ 検索値1~8 検索数値
- 3) 検索値1のみ前方一致検索 文字列含む検索

④マッチング No. 3 (特定の文字を削除・変更)

- 1) マッチング対象項目 ⇒ 検索用編集値
- 2) マッチングのための Key 編集

・半角変換

“” ⇒ Null

“” ⇒ Null

・特殊な記載を取り除く

“リ” ⇒ “★”

“ク” ⇒ “☆”

“ソ” ⇒ “★”

“ケ” ⇒ “☆”

“ニ” ⇒ “★”

“ゾ” ⇒ “★”

“テ” ⇒ “△”

“チ” ⇒ “△”

“ジ” ⇒ “▲”

“ミ” ⇒ “▲”

“ラ” ⇒ “*” (ラとロ)

“ア” ⇒ “▼”

“” ⇒ “”

“マ” ⇒ “▼”

“” ⇒ “”

・“*”以外全角に戻す

- 3) マッチングのための Key ⇒ 検索値1~8 検索数値

⑤マッチング No. 4 (単位を検索対象から外す)

- 1) マッチング対象項目 ⇒ 検索用編集値
 - 2) マッチングのための Key 編集
- ・単位を取り除く

"μ g"	⇒ Null		
"m g"	⇒ Null		
"g"	⇒ Null	"%"	⇒ Null
"μ l"	⇒ Null	"μ L"	⇒ Null
"m l"	⇒ Null	"m L"	⇒ Null
"l"	⇒ Null	"L"	⇒ Null
"CAP"	⇒ Null	"c a p"	⇒ Null
"CUP"	⇒ Null	"c u p"	⇒ Null
"枚"	⇒ Null	"単位"	⇒ Null

3) マッチングのための Key ⇒ 検索値 1～8 検索数値

⑥ マッチング No. 5 (数値・単位を検索対象から外す)

1) マッチング対象項目 ⇒ 基本漢字名称

2) マッチングのための Key 編集

・数値を取り除く

数値 ⇒ Null

・単位を取り除く

"μ g" ⇒ Null

"m g" ⇒ Null

"g" ⇒ Null

"%" ⇒ Null

"μ l" ⇒ Null

"μ L" ⇒ Null

"m l" ⇒ Null

"m L" ⇒ Null

"l" ⇒ Null

"L" ⇒ Null

"CAP" ⇒ Null

"c a p" ⇒ Null

"CUP" ⇒ Null

"c u p" ⇒ Null

"枚" ⇒ Null

"単位" ⇒ Null

3) マッチングのための Key ⇒ 検索値 1～8

⑦ マッチング No. 6 (検索値 1 のみ分割を行い 1 文字ずつ削ってマッチング)

1) マッチング対象項目 ⇒ 基本漢字名称

2) マッチングのための Key 編集

・検索値 1 (医薬品名称部分) を 2 分割して 1 文字ずつ削除しながら候補データを検索する

例) 検索値 1 ⇒ "チラージン" の時

1 回目 " " と "ラージン" にて検索 結果 NG

2 回目 "ラ" と "ジン" にて検索 結果 NG

3 回目 "ラー" と "ン" にて検索 結果 OK チラージン Hit

3) マッチングのための Key ⇒ 検索値 1 を分解した項目 検索値 2～8

⑧マッチング No. 7 (検索 1・検索 2・検索数値のみを利用したマッチング)

- 1) マッチング対象項目 ⇒ 基本漢字名称
- 2) マッチングのための Key ⇒ 検索値 1・検索値 2・検索数値
- 3) 文字列含む検索

⑨マッチング No. 8 (検索値 1のみを利用したマッチング (候補データ 1 件場合のみ処理する))

- 1) マッチング対象項目 ⇒ 基本漢字名称
- 2) マッチングのための Key ⇒ 検索値 1
- 3) 文字列含む検索 (4) 候補データ処理

(4) (2) ①~⑤の医薬品マスターへの検索を行った時に、複数のデータが検索結果となった場合の処理。

①先発品と後発品両方ある場合、先発品を削除する。

②薬剤の提供パターンが複数の時の処理 (一般錠剤とカプセルを優先する処理)

薬剤提供パターン-----

- ・錠剤(錠)
- ・カプセル

- ・OD錠
- ・D錠
- ・ODフィルム
- ・座薬
- ・坐剤
- ・内服液
- ・内用液
- ・内用ゼリー
- ・内服ゼリー
- ・シロップ

- ・細粒
- ・顆粒
- ・注射液
- ・注
- ・SR錠
- ・R錠
- ・L錠
- ・R散
- ・徐放B錠
- ・ザイデイス錠

(1)一般錠剤と他提供パターンが混在する場合、

他提供パターン("錠"以外)を含むデータを削除する。

(2) (1)以外において、カプセルと他提供パターンが混在する場合、

他提供パターン("カプセル"以外)を含むデータを削除する。

(3)自動変換区分に"#"マークを付加する。

③成分含有量の異なる時の処理

(1)すべての候補データが同一の薬剤提供パターンの場合、成分含有量の最小値以外のデータを削除する。

例) ワーファリン錠 0.5 m g
 ワーファリン錠 1 m g <削除>
 ワーファリン錠 5 m g <削除>

(2) 自動変換区分に“%”マークを付加する。

④候補データからの最終選択方法条件

- ・ 候補データがすべて薬価基準コード(1~9桁)が同一であること
- ・ 最低単価
- ・ ID が最小

(5) 医薬品マスター

薬価基準点数早見表を元にした医薬品データベース「医薬品マスター」の漢字名称でマッチングさせ、医薬品マスターの医薬品コード番号、医薬品名・規格名漢字名称、単位コード、後発品、薬価基準コードとともにアンケート結果データベースに書き出し、個票を作成する。

項番	項目名	形式			内容
		モード	最大 バイト	項目 形式	
1	変更区分	数字	1	固定	マスター内容の異動状況を表す。 0:前マスターの内容と同じであることを表す。 1:抹消 3:新規 5:変更 9:廃止
2	マスター種別	英数	1	固定	「Y」を記録する。 (医薬品マスターであることを表す。)
3	医薬品コード	数字	9	固定	
	区分 番号		(1) (8)		医薬品コードを表す「6」を設定 医薬品ごとに設定した番号
	医薬品名・規格名				医薬品名と規格名とを合成したものを記録する。
4	漢字有効桁数	数字	2	可変	「漢字名称」の桁数を表す。
5	漢字名称	漢字	64	可変	漢字:32桁
6	カナ有効桁数	数字	2	可変	「カナ名称」の桁数を表す。
7	カナ名称	英数カナ	20	可変	
	単位				単位コードについては「別紙1」を参照
8	コード	数字	3	可変	単位が設定されていない場合は「0」である。
9	漢字有効桁数	数字	1	固定	未使用の場合:「0」を記録
10	漢字名称	漢字	12	可変	漢字:6桁 未使用の場合:省略
	新又は現金額				
11	金額種別	数字	1	固定	新又は現金額に記録された金額等の種別を表す。 1:金額 3:薬剤使用量省略(歯科用のみ) 7:減点 金額種別の詳細は「別紙17」を参照
	新又は現金額	数字	10	可変	整数部7桁、小数部2桁として、整数部と小数部は小数点で区切る。
13	予備	数字	2	可変	未使用:「0」を記録
14	麻薬・毒薬・覚せい剤原料・ 向精神薬	数字	1	固定	当該医薬品が、麻薬、毒薬、覚せい剤原料又は向精神薬であるか否かを表す。 0:麻薬、毒薬、覚せい剤原料又は向精神薬以外 1:麻薬 2:毒薬 3:覚せい剤原料 5:向精神薬
	神経破壊剤	数字	1	固定	当該医薬品が、精神破壊剤であるか否かを表す。 0:精神破壊剤以外 1:精神破壊剤
16	生物学的製剤	数字	1	固定	当該医薬品が、生物学的製剤加算対象品目であるか否かを表す。 0:生物学的製剤加算対象品目以外 1:生物学的製剤加算対象品目
17	後発品	数字	1	固定	当該医薬品が、診療報酬において加算等の算定対象となる後発医薬品を表す。 0:後発品以外 1:後発品
18	予備	数字	1	固定	未使用:「0」を記録
19	歯科特定薬剤	数字	1	固定	当該医薬品が、歯科特定薬剤であるか否かを表す。 0:歯科特定薬剤以外 1:歯科特定薬剤
20	造影(補助)剤	数字	1	固定	当該医薬品が造影剤又は造影補助剤であるか否かを表す。 0:造影剤、造影補助剤以外 1:造影剤 2:造影補助剤

項番	項目名	形式			内容
		モード	最大 バイト	項目 形式	
21	注射容量	数字	5	可変	当該医薬品が注射薬の場合、その容量(単位はmL)を表す。(当量は、20mL以上の医薬品について記録する。)
22	収載方式等識別	数字	1	固定	当該医薬品の薬価基準収載方式の分類を表す。 0: 1から8以外の医薬品 1: 日本薬局方収載医薬品(局方品) 2: 局方品で生物学的製剤基準医薬品 3: 局方品で生薬 6: 生物学的製剤基準医薬品 7: 生薬 8: 1から以外の統一名収載品
23	商品名等関連	数字	9	可変	当該医薬品が商品名医薬品(非告示品)の場合、その統一名収載品(告示品)の医薬品コードを記録する。 なお、商品名医薬品でない場合は「0」である。
旧金額					
24	金額種別	数字	1	固定	旧金額に記録された金額等の種別を表す。 0: 薬価基準改定時及びそれ以降に新設された医薬品 1: 金額 3: 薬剤使用量省略(歯科用のみ) 7: 減点 金額種別の詳細は「別紙17」を参照
	旧金額	数字	10	可変	薬価基準改定前の金額について、整数部7桁、小数部2桁として、整数部と小数部は小数点で区切る。
25	漢字名称変更区分	数字	1	固定	漢字名称の異動状況を表す。 0: 漢字名称に変更がない場合 1: 漢字名称が変更となった場合
26	カナ名称変更区分	数字	1	固定	カナ名称の異動状況を表す。 0: カナ名称に変更がない場合 1: カナ名称が変更となった場合
27	剤形	数字	1	固定	剤形区分を表す。 1: 内用薬 3: その他 4: 注射薬 6: 外用薬 8: 歯科用薬剤
28	予備	英数	49	可変	未使用: 省略
29	変更年月日	数字	8	固定	基本マスターの情報が適用となる日付を西暦年4桁、月2桁及び日2桁の8桁で表す。
30	廃止年月日	数字	8	固定	当該医薬品の使用が可能な最終日付を西暦年4桁、月2桁及び日2桁の8桁で表す。 なお、廃止医薬品でない場合は「99999999」である。
31	薬価基準コード	英数	12	可変	当該医薬品に係る薬価基準コードを表す。
32	講評順序番号	数字	9	可変	薬価基準改定時の収載順を記録する。
33	経過措置年月日又は商品名 医薬品コード使用期限	数字	8	可変	薬価基準収載医薬品が告示により経過措置品目となった場合又は薬価基準未収載の商品名医薬品コードを廃止する場合、使用期限を西暦年4桁、月2桁及び日2桁の8桁で表す。 なお、これらに該当しない場合は「0」である。
34	基本漢字名称	漢字	200	可変	官報告示における「品名」を表す。 漢字: 100桁
35					

3. マッチング結果

本システムの結果、9割を超える件数を処理することができた。

初回調査

アンケート回収数	2,004 件
処方箋記載明細数	23,610 件

No	検索エンジン マッチング方法	件数	未変換	返還率	累計
0	全角のみ考慮した単純マッチング	11,264 件	7 件	47.7%	47.7%
1	全角のみ考慮した前方一致マッチング	6,977 件		29.6%	77.3%
2	通常の(1)検索1～8 (2)数値検索を使用したマッチング	1,393 件	414 件	5.9%	83.2%
3	特定の文字を削除・変更してのマッチング	135 件		0.6%	83.7%
4	単位を検索対象から外してのマッチング	1,375 件		5.8%	89.6%
5	単位と数値を検索対象から外してのマッチング 候補データ1件の場合のみ処理する	448 件		1.9%	91.5%
6	検索値1のみ分割を行い1文字ずつ削って&数値検索マッチング	257 件		1.1%	92.5%
7	検索1～2&数値検索を使用したマッチング	286 件		1.2%	93.8%
8	検索値1・2のみでマッチング 候補データ1件の場合のみ処理する	204 件		0.9%	94.6%
	全く変換できないデータ		850 件	返還率	94.6%
	合計	22,339 件	1,271 件		
	全体	23,610			

2か月後調査

アンケート回収数	1,635 件
処方箋記載明細数	9,485 件

No	検索エンジン マッチング方法	件数	未変換	返還率	累計
0	全角のみ考慮した単純マッチング	4,275 件		45.1%	45.1%
1	全角のみ考慮した前方一致マッチング	3,081 件		32.5%	77.6%
2	通常の(1)検索1～8 (2)数値検索を使用したマッチング	566 件	153 件	6.0%	83.5%
3	特定の文字を削除・変更してのマッチング	15 件		0.2%	83.7%
4	単位を検索対象から外してのマッチング	526 件		5.5%	89.2%
5	単位と数値を検索対象から外してのマッチング 候補データ1件の場合のみ処理する	206 件		2.2%	91.4%
6	検索値1のみ分割を行い1文字ずつ削って&数値検索マッチング	58 件		0.6%	92.0%
7	検索1～2&数値検索を使用したマッチング	121 件		1.3%	93.3%
8	検索値1・2のみでマッチング 候補データ1件の場合のみ処理する	114 件		1.2%	94.5%
	全く変換できないデータ		370 件	返還率	94.5%
	合計	8,962 件	523 件		
	全体	9,485			

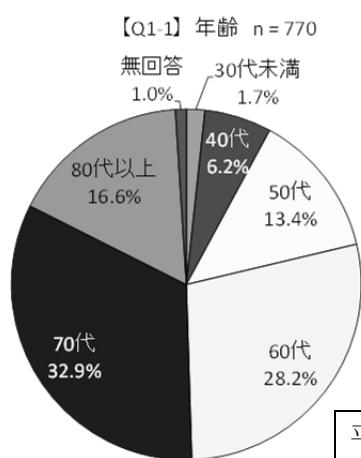
Ⅲ. 調査結果

1. 管理医師調査結果

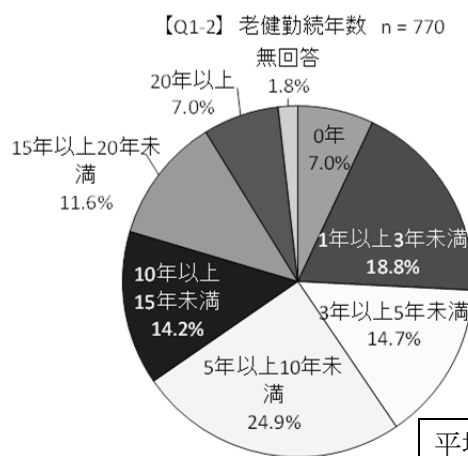
(1) 管理医師の属性

管理医師の年齢についてみると、「70代」が32.9%と3割以上を占めており、次いで「60代」が28.2%と約3割を占めている。

管理医師の老健勤続年数についてみると、「5年以上10年未満」が24.9%と最も多く、次いで「1年以上3年未満」(18.8%)、「3年以上5年未満」(14.7%)が多くなっている。



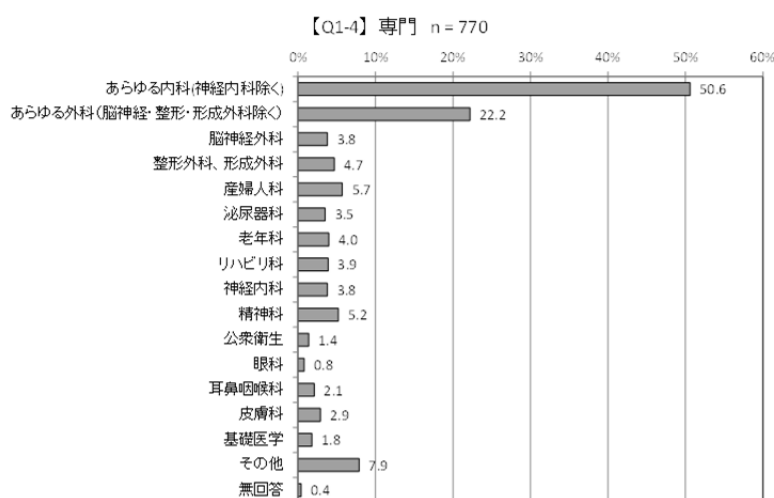
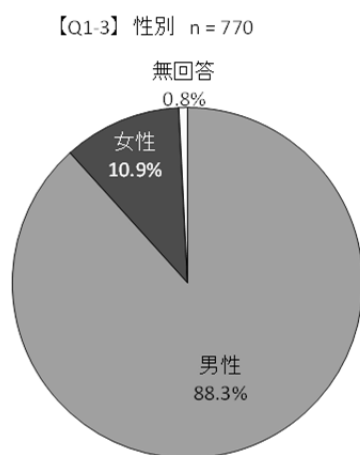
平均	68.2
分散	137.4



平均	7.8
分散	41.3

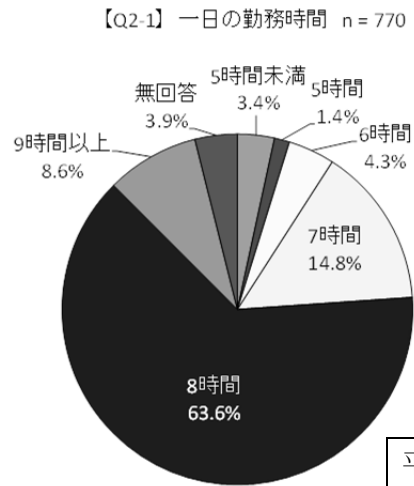
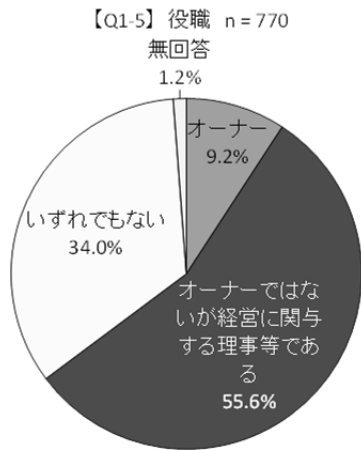
性別についてみると、「男性」が88.3%と約9割を占めており、「女性」は1割であった。

専門についてみると、「あらゆる内科(神経内科除く)」が50.6%と最も多く、次いで「あらゆる外科(脳神経・整形・形成外科除く)」が22.2%と多くなっている。



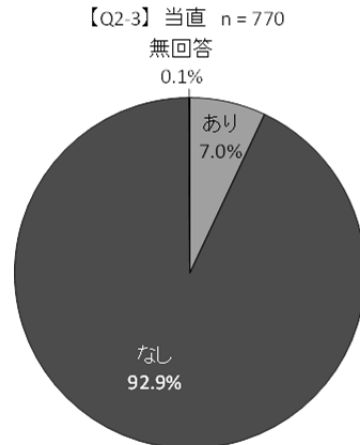
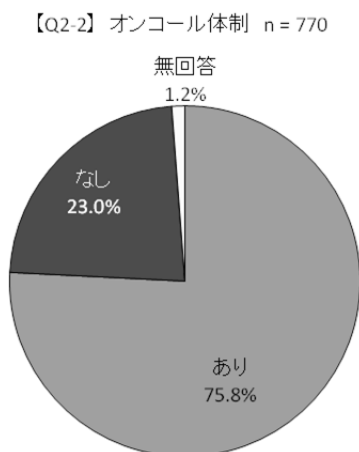
役職についてみると、「オーナーではないが経営に関与する理事等である」が5割以上を占めており、次いで「いずれでもない」が3割以上を占めていた。

一日の勤務時間についてみると、「8時間」が6割以上を占めており、次いで「7時間」(14.8%)、「9時間以上」(8.6%)が多くなっている。



平均	7.8
分散	2.9

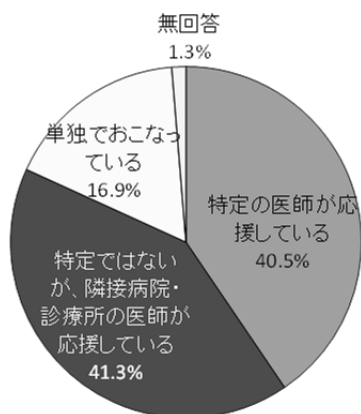
オンコール体制についてみると、「あり」が75.8%を占めており、「なし」は23.0%であった。当直についてみると、「なし」が9割以上を占めていた。



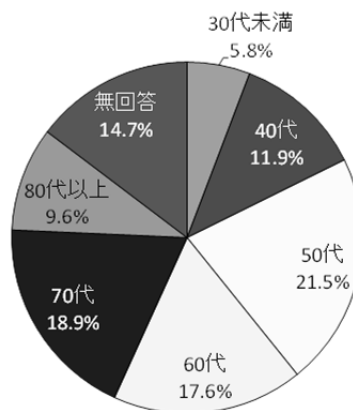
施設の管理医師を補助する医師の応援体制についてみると、「特定の医師が応援している」が40.5%、「特定ではないが、隣接病院・診療所の医師が応援している」が41.3%と、それぞれ約4割を占めており、「単独で行っている」割合は2割に満たない。

「特定の医師が応援している」と答えた40.5% (312人) の補助する医師の年齢についてみると、年齢は「50代」が21.5%と最も多く、次いで「70代」が18.9%、「60代」が17.6%で平均61.5歳であった。

【Q3-1】 主な応援体制について n = 770



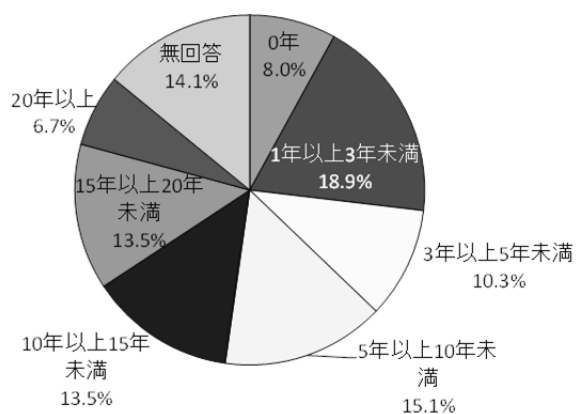
【Q3-2】 年齢 n = 312



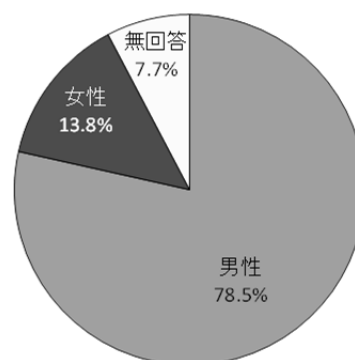
平均	61.5
分散	199.7

同様に管理医師を補助する医師の老健勤続年数についてみると、「1年以上3年未満」が18.9%、「3年以上5年未満」が10.3%、「5年以上10年未満」が15.1%で、平均勤続年数は7.9年であった。また、管理医師を補助する医師の性別については、「男性」が78.5%とほぼ約8割を占めており、「女性」は13.8%であった。

【Q3-3】 老健勤続年数 n = 312



【Q3-4】 性別 n = 312

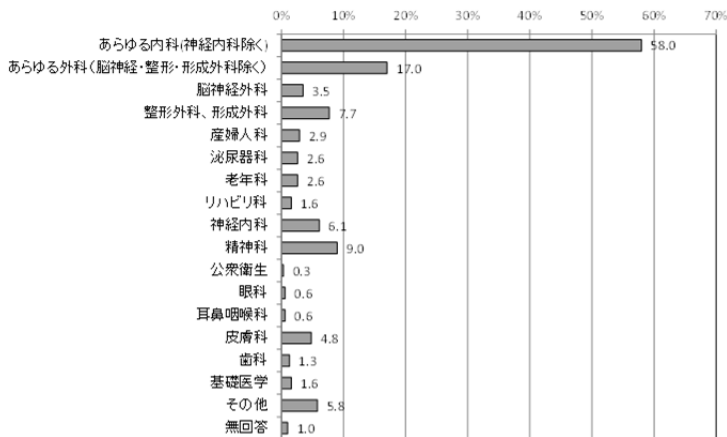


平均	7.9
分散	45.5

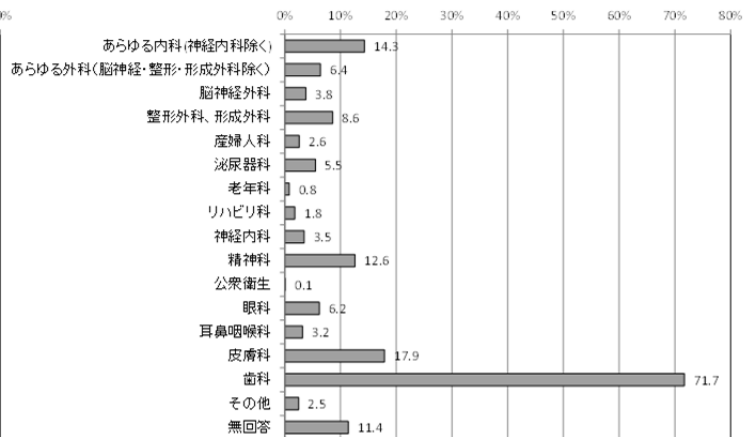
管理医師を補助する医師の専門についてみると、「あらゆる内科（神経内科除く）」が58.0%と最も多く、次いで「あらゆる外科（脳神経・整形・形成外科除く）」（17.0%）「精神科」（9.0%）が多くなっている。

往診をお願いしている診療科についてみると、「歯科」が71.7%と最も多く、次いで「皮膚科」（17.9%）、「あらゆる内科（神経内科除く）」（14.3%）が多くなっている。

【Q3-5】専門 n = 312



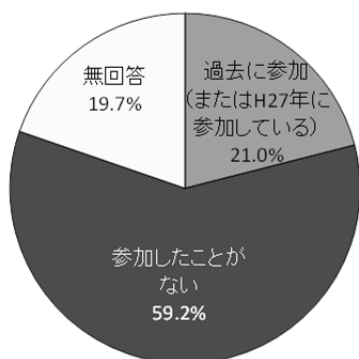
【Q4】往診をお願いしている診療科 n = 770



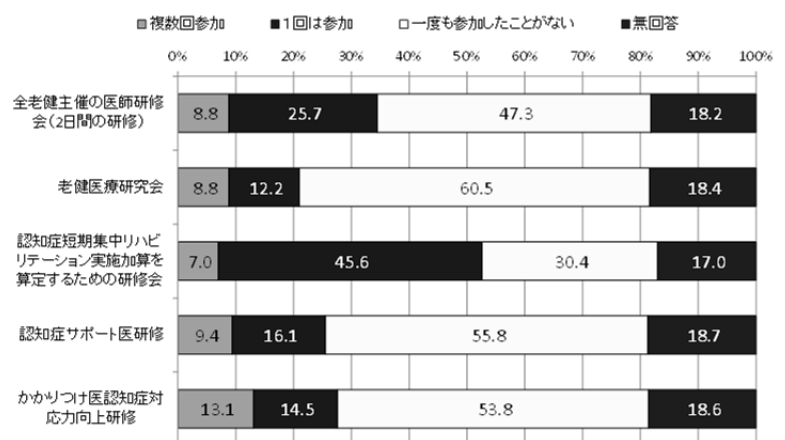
管理医師研修会（日本老年医学会主催のⅠ期・Ⅱ期計4日間のもの）の参加状況についてみると、「参加したことがない」が約6割を占めており、「過去に参加（またはH27年に参加している）」は約2割であった。

その他の管理医師の研修の参加状況についてみると、「複数回参加」は『かかりつけ医認知症対応力向上研修』が13.1%と最も多いが、「1回は参加」と合わせると『認知症短期集中リハビリテーション実施加算を算定するための研修会』が合わせて52.6%と5割以上を占めており、次いで『全老健主催の医師研修会（2日間の研修）』が合わせて34.5%と多くなっている。

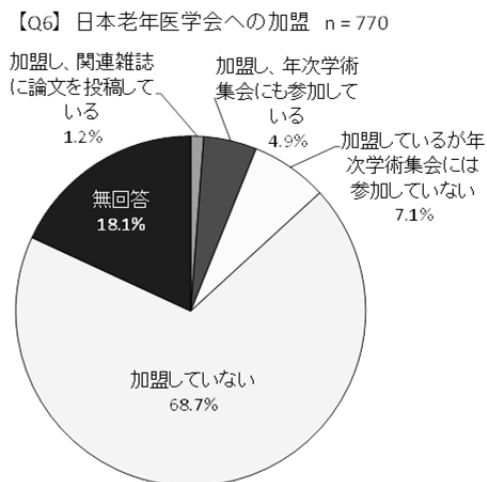
【Q5-1】管理医師研修会 n = 770



【Q5-2~6】管理医師の研修の状況 n = 770



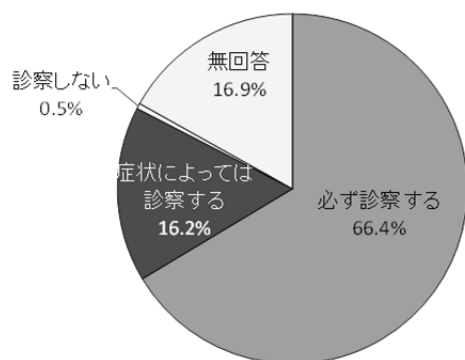
日本老年医学会への加盟状況についてみると、「加盟していない」が約7割を占めていた。



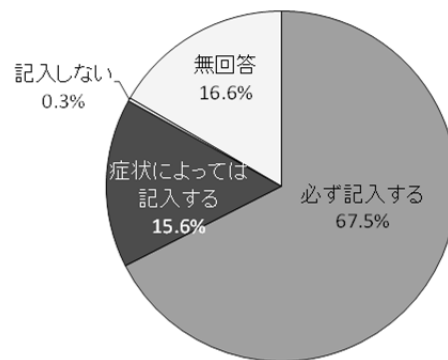
利用開始時に利用者の診察をするかをみると、「必ず診察する」が6割以上を占めており、「症状によっては診察する」(16.2%)と合わせると、8割以上が診察をしている。

利用開始時に利用者の状態の診療録への記入についてみると、「必ず記入する」が約7割を占めており、「症状によっては記入する」(15.6%)と合わせると8割以上が記入をしている。

【Q7-1】利用開始時に医師は利用者を診察する n = 770



【Q7-2】利用開始時の利用者の状態の診療録への記入 n = 770

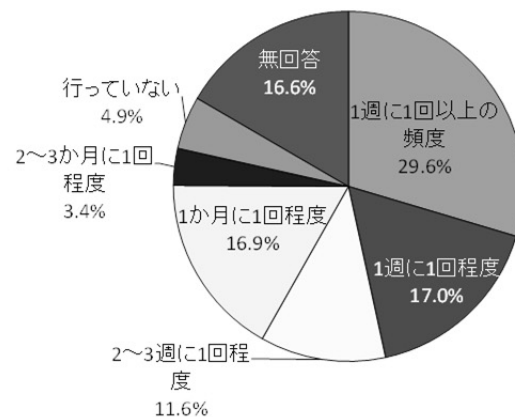
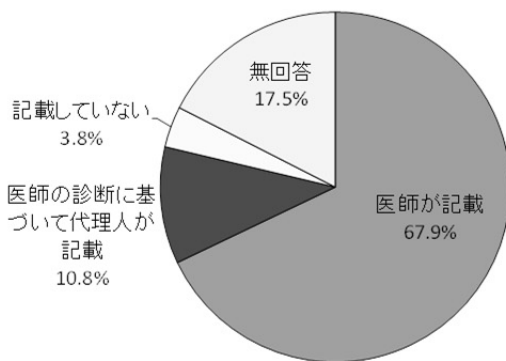


利用開始時の利用者の診断名の診療録への記載についてみると、「医師が記載」が約7割を占めており、「医師の診断に基づいて代理人が記載」(10.8%)と合わせると、約8割が診断名を診療録へ記載していた。

回診等、利用者への定期的な診察(悪化時を除く)についてみると、「1週に1回以上の頻度」が29.6%と最も多く、次いで「1週に1回程度」(17.0%)、「1か月に1回程度」(16.9%)が多くなっている。

【Q7-3】 利用開始時の利用者の診断名の診療録への記載 n = 770

【Q7-4】 回診等、利用者への定期的な診察(悪化時を除く) n = 770

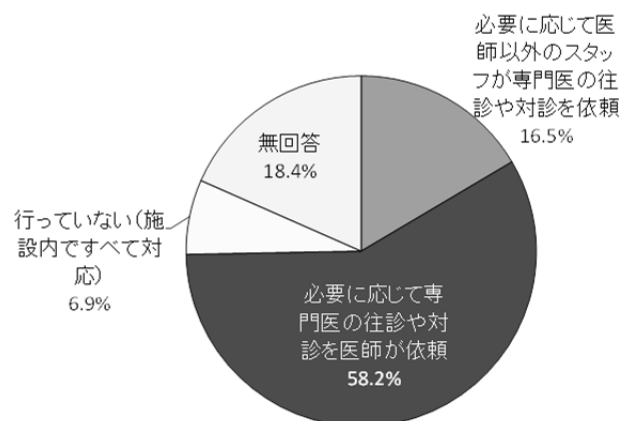
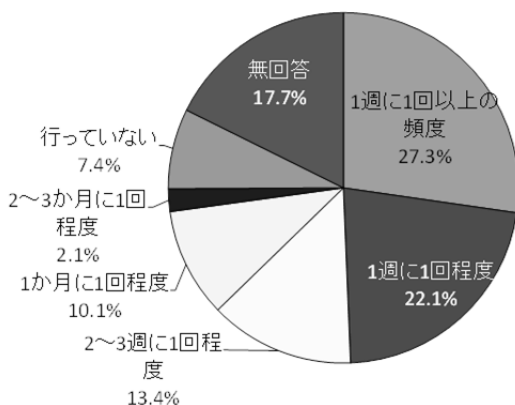


褥瘡保有者に対する定期的な診察についてみると、「1週に1回以上の頻度」が27.3%と最も多く、次いで「1週に1回程度」(22.1%)、「2~3週に1回程度」(13.4%)が多くなっている。

専門医との連携についてみると、「必要に応じて専門医の往診や対診を医師が依頼」が58.2%と約6割を占めており、「必要に応じて医師以外のスタッフが専門医の往診や対診を依頼」(16.5%)と合わせると、7割以上が専門医との連携を行っていた。

【Q7-5】 褥瘡保有者に対する定期的な診察 n = 770

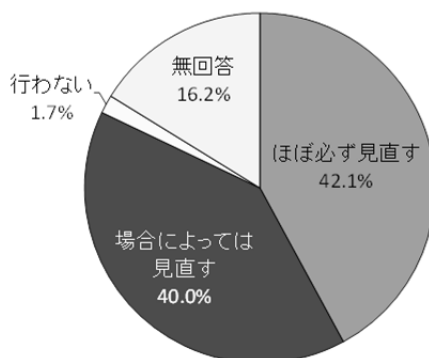
【Q7-6】 専門医との連携 n = 770



(2) 投薬に対する対応状況について

投薬がある場合の利用開始時の医師による薬の見直し状況についてみると、「ほぼ必ず見直す」が42.1%を占めており、「場合によっては見直す」(40.0%)と合わせると8割以上が見直すと回答している。

【Q8-1】利用開始時の医師による(投薬がある場合)薬の見直し
n = 770



以下、A 降圧剤、B 睡眠薬、C 抗血小板薬、D 抗凝固薬、E 糖尿病薬、F 疼痛緩和薬、G 高脂血症治療薬の利用開始時の見直しの状況を見る。それぞれの薬剤の見直しを「必ずする」と答えた医師に限定して、他の薬剤利用時に見直しを「必ずする」割合をみると、一つの薬剤の見直しを必ずする医師は、他の薬剤の見直しについても8割前後の割合で行われていることが伺える。

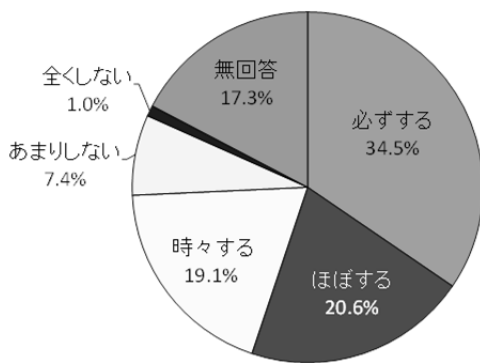
利用開始時に必ず見直す割合同士のクロス (%)

	A降圧剤	B睡眠薬	C抗血小板薬	D抗凝固薬	E糖尿病薬	F疼痛緩和薬	G高脂血症治療薬
A降圧剤(n=266)		83.5	86.6	84.8	82.1	85.4	81.5
B睡眠薬(n=231)	72.6		83.9	78.5	78.0	78.9	76.2
C抗血小板薬(n=224)	72.9	81.4		89.5	80.9	81.3	78.6
D抗凝固薬(n=237)	75.6	80.5	94.6		83.7	83.3	77.8
E糖尿病薬(n=246)	75.9	83.1	88.8	86.9		87.4	79.4
F疼痛緩和薬(n=246)	78.9	84.0	89.3	86.5	87.4		83.9
G高脂血症治療薬(n=248)	75.9	81.8	87.1	81.4	80.1	84.6	

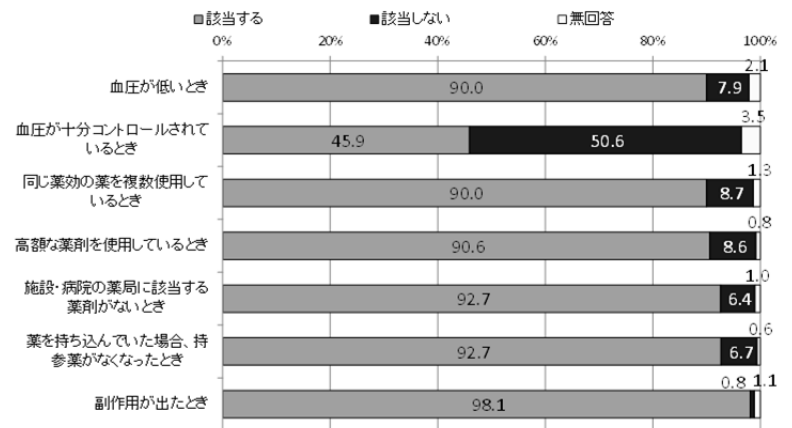
利用開始時の降圧剤の見直し状況についてみると、「必ずする」が34.5%を占めており、「ほぼする」(20.6%)、「時々する」(19.1%)と合わせると7割以上が見直しをすると回答している。

利用開始時に降圧剤の見直しをしている管理医師(「あまりしない」と回答した者も含む、以降同様)の見直し条件についてみると、『副作用が出たとき』が98.1%と最も多く、次いで『施設・病院の薬局に該当する薬剤がないとき』(92.7%)、『薬を持ち込んでいた場合、持参薬がなくなったとき』(92.7%)が多くなっている。見直し条件として「該当しない」は、『血圧が十分コントロールされているとき』の50.6%が最も多くなっている。

【Q8-A】降圧剤 利用開始時における薬剤別の見直し等 n = 770



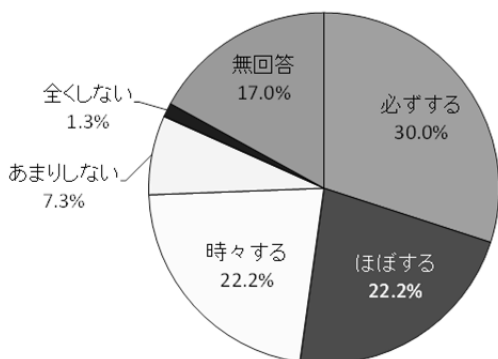
【Q8-A-1~7】降圧剤見直し条件 n = 629



利用開始時の睡眠薬の見直し状況についてみると、「必ずする」が30.0%を占めており、「ほぼする」(22.2%)、「時々する」(22.2%)と合わせると7割以上が見直しをすると回答している。

利用開始時に睡眠薬の見直しをしている管理医師の見直し条件についてみると、『副作用が出たとき』が98.7%と最も多く、次いで『転倒の危険性が高いと考えられるため』(94.8%)が多くなっている。見直し条件として「該当しない」は、『睡眠薬は原則中止又は減量しているため』の50.2%が最も多くなっている。

【Q8-B】睡眠薬 利用開始時における薬剤別の見直し等 n = 770



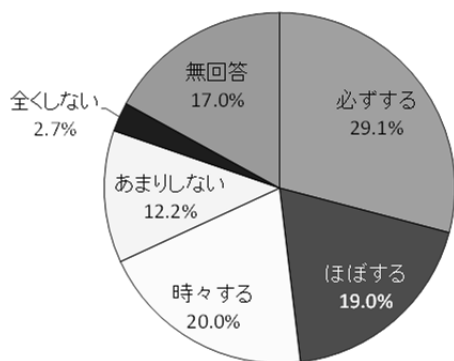
【Q8-B-1~6】睡眠薬見直し条件 n = 629



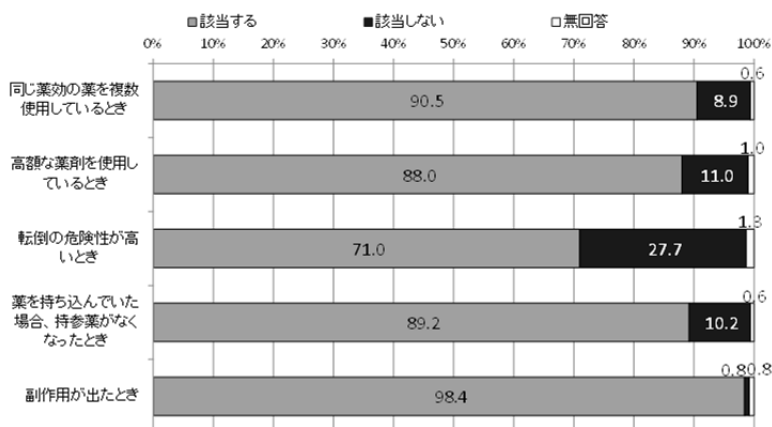
利用開始時の抗血小板薬の見直し状況についてみると、「必ずする」が29.1%を占めており、「ほぼする」(19.0%)、「時々する」(20.0%)と合わせると約7割が見直しをすると回答している。

利用開始時に抗血小板薬の見直しをしている管理医師の見直し条件についてみると、『副作用が出たとき』が98.4%と最も多く、次いで『同じ薬効の薬を複数使用しているとき』(90.5%)、『薬を持ち込んでいた場合、持参薬がなくなったとき』(89.2%)が多くなっている。見直し条件として「該当しない」は、『転倒の危険性が高いとき』の27.7%が最も多くなっている。

【Q8-C】抗血小板薬 利用開始時における薬剤別の見直し等 n=770



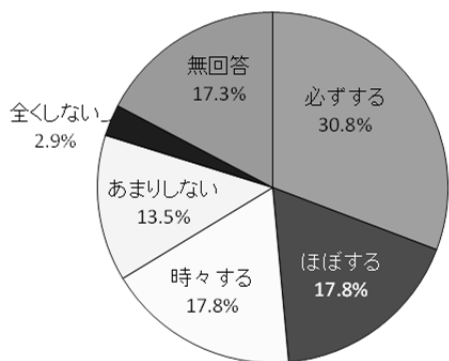
【Q8-C-1~5】抗血小板薬見直し条件 n=618



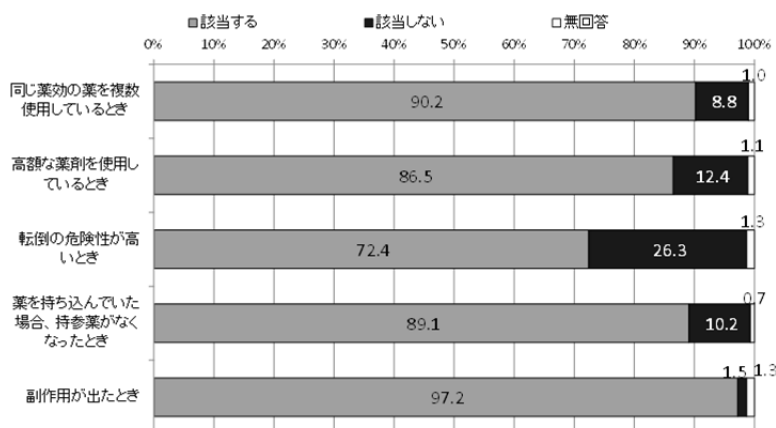
利用開始時の抗凝固薬の見直し状況についてみると、「必ずする」が30.8%を占めており、「ほぼする」(17.8%)、「時々する」(17.8%)と合わせると6割以上が見直しをすると回答している。

利用開始時に抗凝固薬の見直しをしている管理医師の見直し条件についてみると、『副作用が出たとき』が97.2%と最も多く、次いで『同じ薬効の薬を複数使用しているとき』(90.2%)、『薬を持ち込んでいた場合、持参薬がなくなったとき』(89.1%)が多くなっている。見直し条件として「該当しない」は、『転倒の危険性が高いとき』の26.3%が最も多くなっている。

【Q8-D】抗凝固薬 利用開始時における薬剤別の見直し等 n=770



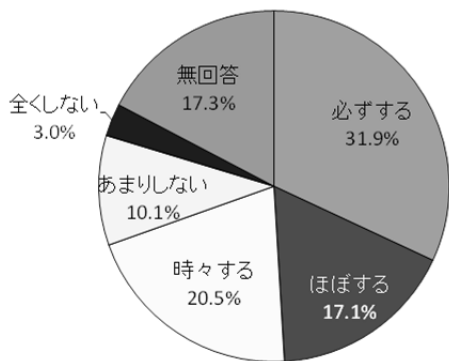
【Q8-D-1~5】抗凝固薬見直し条件 n=615



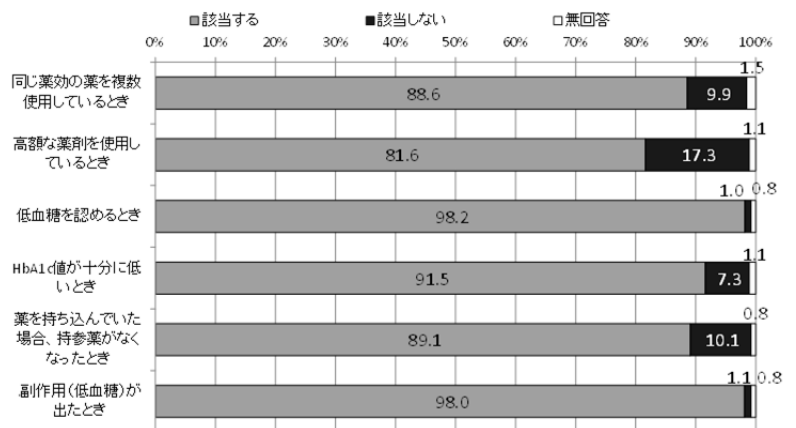
利用開始時の糖尿病薬の見直し状況についてみると、「必ずする」が31.9%を占めており、「ほぼする」(17.1%)、「時々する」(20.5%)と合わせると約7割が見直しをすると回答している。

利用開始時に糖尿病薬の見直しをしている管理医師の見直し条件についてみると、『低血糖を認めるとき』が98.2%と最も多く、次いで『副作用(低血糖)が出たとき』(98.0%)、『HbA1c値が十分に低いとき』(91.5%)が多くなっている。見直し条件として「該当しない」は、『高額な薬剤を使用しているとき』の17.3%が最も多くなっている。

【Q8-E】 糖尿病薬 利用開始時における薬剤別の見直し等 n = 770



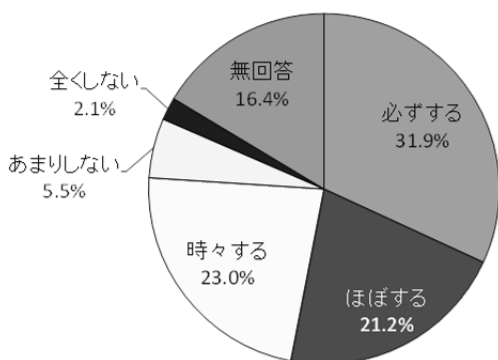
【Q8-E-1~6】 糖尿病薬見直し条件 n = 614



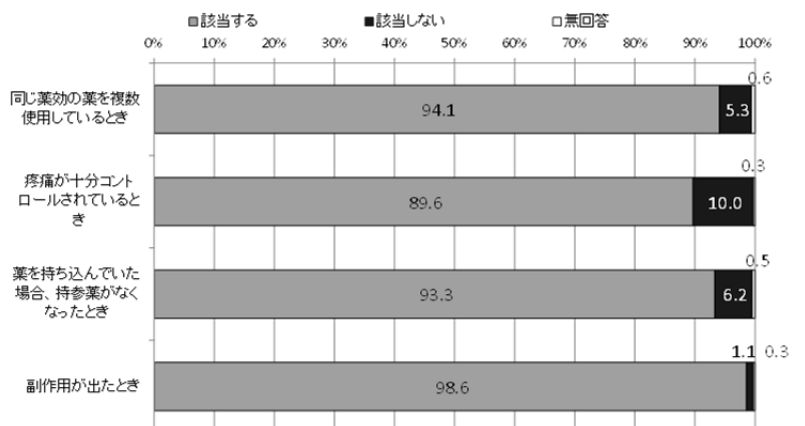
利用開始時の疼痛緩和薬の見直し状況についてみると、「必ずする」が31.9%を占めており、「ほぼする」(21.2%)、「時々する」(23.0%)と合わせると7割以上が見直しをすると回答している。

利用開始時に疼痛緩和薬の見直しをしている管理医師の見直し条件についてみると、『副作用が出たとき』が98.6%と最も多く、次いで『同じ薬効の薬を複数使用しているとき』(94.1%)、『薬を持ち込んでいた場合、持参薬がなくなったとき』(93.3%)が多くなっている。

【Q8-F】 疼痛緩和薬 利用開始時における薬剤別の見直し等 n = 770



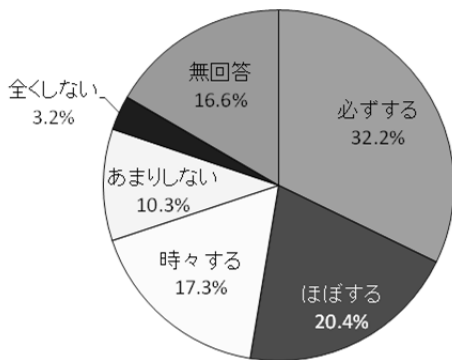
【Q8-F-1~4】 疼痛緩和薬見直し条件 n = 628



利用開始時の高脂血症治療薬の見直し状況についてみると、「必ずする」が32.2%を占めており、「ほぼする」(20.4%)、「時々する」(17.3%)と合わせると約7割が見直しをすると回答している。

利用開始時に高脂血症治療薬の見直しをしている管理医師の見直し条件についてみると、『副作用が出たとき』が97.6%と最も多く、次いで『同じ薬効の薬を複数使用しているとき』(93.0%)、が多くなっている。

【Q8-G】高脂血症治療薬 利用開始時における薬剤別の見直し等 n = 770



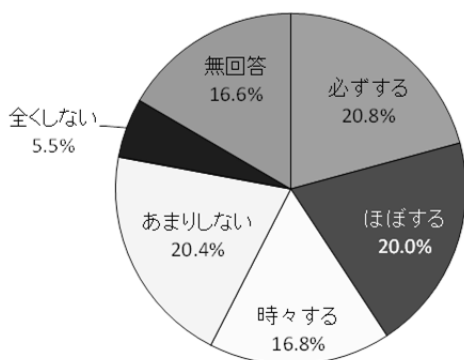
【Q8-G-1~3】高脂血症治療薬見直し条件 n = 617



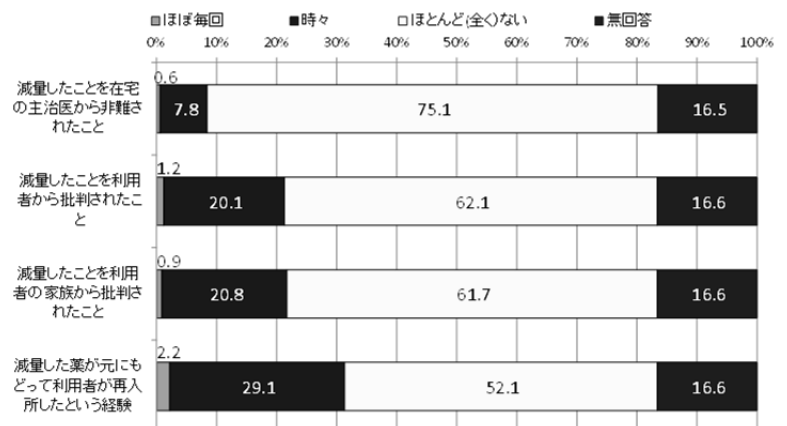
退所時に減らした薬について、その理由を診療情報提供書に記載するかについてみると、「必ずする」が20.8%を占めており、「ほぼする」(20.0%)、「時々する」(16.8%)と合わせると約6割が記載をすると回答している。

薬剤の見直しをした際の反応についてみると、どの項目においても「ほとんど(全く)ない」が半数以上を占めており、『減量したことを在宅の主治医から非難されたこと』については75.1%がないと回答している。「ある」の回答割合が高いのは、『減量した薬が元にもどって利用者が再入所したという経験』で「ほぼ毎回」と「時々」を合わせて3割以上が「ある」と回答している。

【Q8-3-A】退所時に、減らした薬について、その理由を診療情報提供書に記載の有無 n = 770



【Q8-3-B~E】薬剤の見直しをした際の反応 n = 770

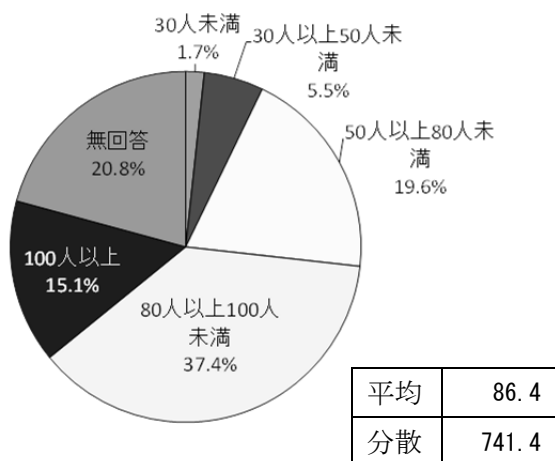


(3) 施設における入所者の状況について

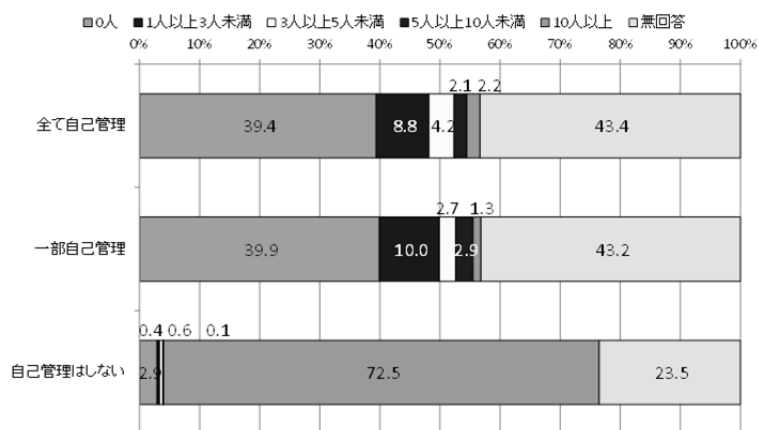
施設の調査時点の入所者数についてみると、「80人以上100人未満」が37.4%と最も多く、次いで「50人以上80人未満」(19.6%)が多くなっている。

入所者の薬の自己管理についてみると、『全て自己管理』と『一部自己管理』では「0人」が約4割を占めており、『自己管理はしない』では「10人以上」が7割以上を占めていた。

【Q9-1】施設の調査時点の入所者数 n = 770



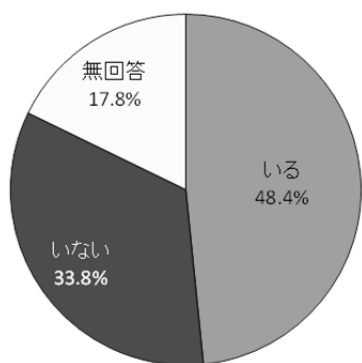
【Q9-2】入所者の薬の自己管理 n = 770



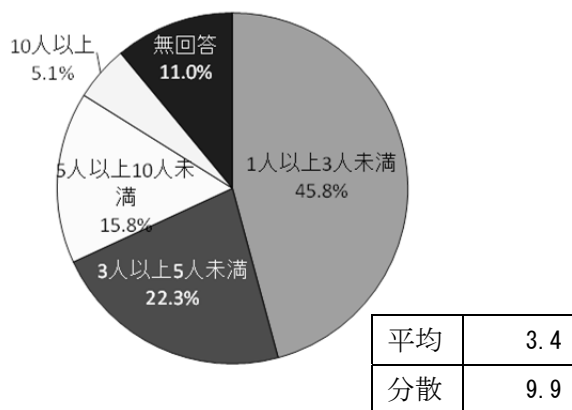
	全て自己管理	一部自己管理	自己管理はしない
平均	4.2	2.0	80.7
分散	367.2	133.0	2305.0

施設内の難病の入所者の有無についてみると、「いる」が48.4%、「いない」が33.8%であった。難病の入所者がいる施設での難病の入所者数をみると、「1人以上3人未満」が45.8%と約5割を占めており、次いで「3人以上5人未満」(22.3%)が多かった。

【Q9-3-1】難病の入所者 n = 770



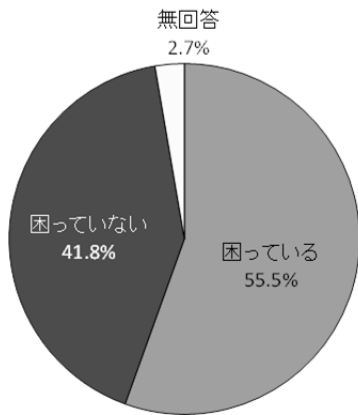
【Q9-3-2】難病の入所者 人数 n = 373



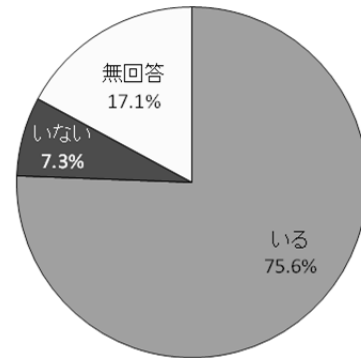
難病の入所者がいる施設での高額薬剤での困りごとの有無についてみると、「困っている」が55.5%、「困っていない」が41.8%であった。

施設内の血糖定期測定の入所者の有無についてみると、「いる」が75.6%、「いない」が7.3%であった。

【Q9-4】 難病の方がいる場合の高額薬剤での困りごと n=373



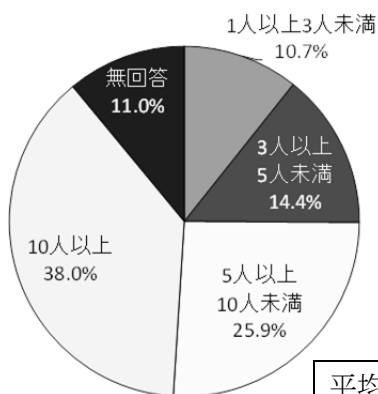
【Q9-5-1】 血糖定期測定の入所者 n=770



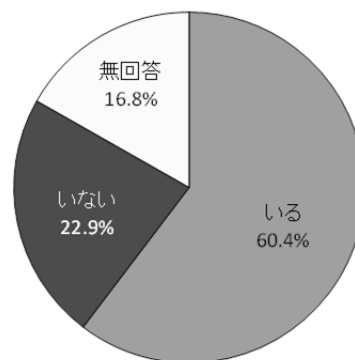
血糖定期測定の入所者がいる施設での血糖定期測定の入所者数についてみると、「10人以上」が38.0%と最も多く、次いで「5人以上10人未満」(25.9%)が多かった。

施設内でインスリンを使用している入所者の有無についてみると、「いる」が60.4%、「いない」が22.9%であった。

【Q9-5-2】 血糖定期測定の入所者 人数 n=582



【Q9-6-1】 インスリンを使用している入所者 n=770

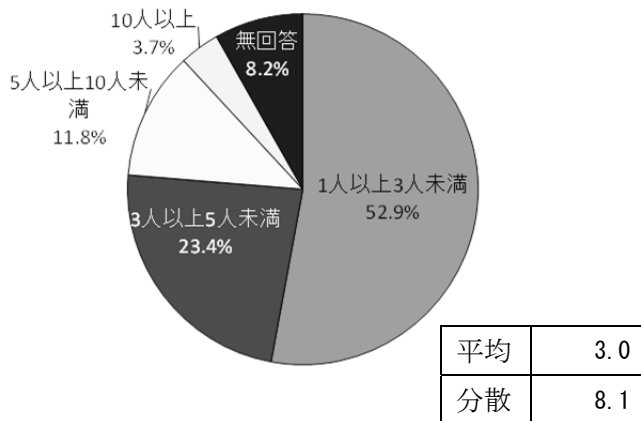


平均	9.2
分散	50.3

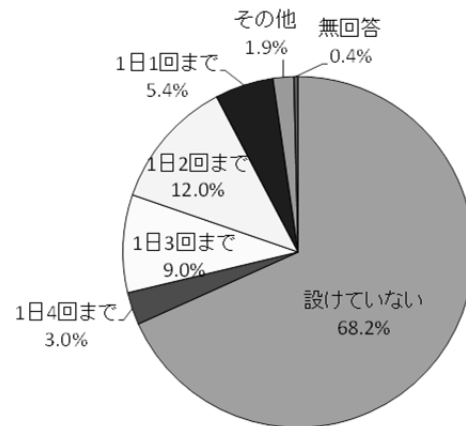
インスリンを使用している入所者がいる施設でのインスリンを使用している入所者数についてみると、「1人以上3人未満」が52.9%と最も多く、次いで「3人以上5人未満」(23.4%)が多かった。

インスリンを使用している入所者がいる施設でのインスリン使用の受け入れ利用回数の上限についてみると、「設けていない」が68.2%と約7割を占めていた。

【Q9-6-2】 インスリンを使用している入所者 人数 n = 465



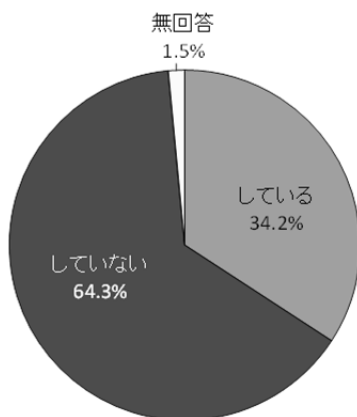
【Q9-7】 インスリン使用の受け入れ利用回数の上限 n = 465



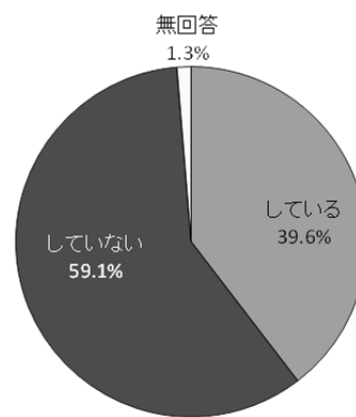
インスリンを使用している入所者がいる施設での注射量決定の際のスライディング・スケールの利用状況についてみると、「していない」が64.3%、「している」が34.2%であった。

インスリンを使用している入所者がいる施設での在宅復帰に向けてのインスリンの利用削減状況についてみると、「していない」が59.1%、「している」が39.6%であった。

【Q9-8】 スライディング・スケールを利用の有無 n = 465



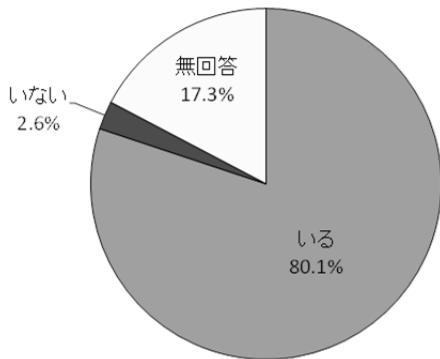
【Q9-9】 在宅復帰に向けて、インスリンの利用の削減 n = 465



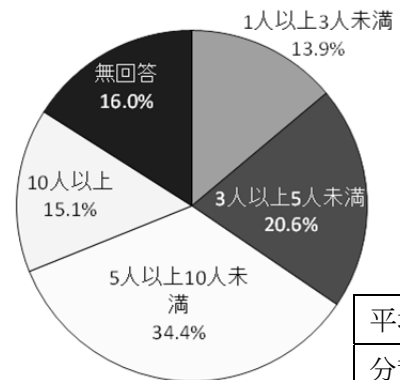
施設内でワーファリンを使用している入所者の有無についてみると、「いる」が80.1%、「いない」が2.6%であった。

ワーファリンを使用している入所者がいる施設でのワーファリンを使用している入所者数についてみると、「5人以上10人未満」が34.4%と最も多く、次いで「3人以上5人未満」(20.6%)が高かった。

【Q9-10-1】ワーファリンを使用している入所者 n=770



【Q9-10-2】ワーファリンを使用している入所者 人数 n=617

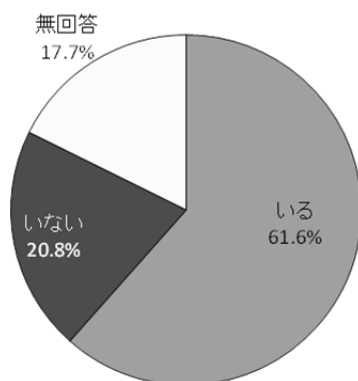


平均	6.1
分散	18.9

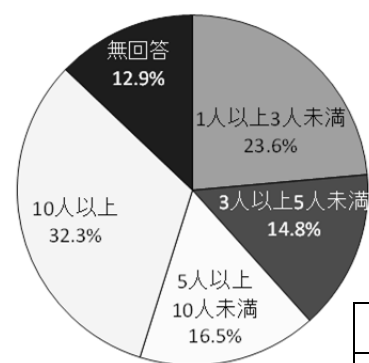
施設内でワーファリン以外の抗凝固薬を使用している入所者の有無についてみると、「いる」が61.6%、「いない」が20.8%であった。

ワーファリン以外の抗凝固薬を使用している入所者がいる施設でのワーファリン以外の抗凝固薬を使用している入所者数についてみると、「10人以上」が32.3%と3割以上となったが、これには抗血小板薬が含まれている可能性があると考えられる。

【Q9-11-1】ワーファリン以外の抗凝固薬を使用している入所者 n=770



【Q9-11-2】ワーファリン以外の抗凝固薬を使用している入所者 人数 n=474

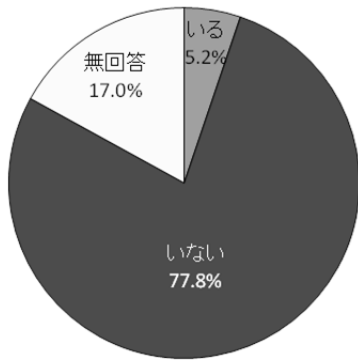


平均	9.1
分散	81.4

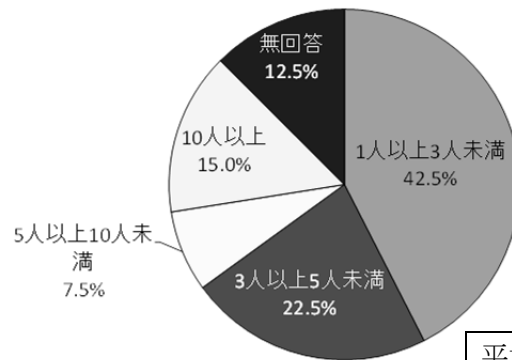
施設内に透析を使用している入所者の有無についてみると、「いない」が 77.8%、「いる」が 5.2%であった。

透析を使用している入所者がいる施設での透析使用の入所者数をみると、「1人以上3人未満」が 42.5%と最も多く、次いで「3人以上5人未満」(22.5%)が多かった。

【Q9-12-1】透析使用している入所者 n = 770



【Q9-12-2】透析使用している入所者 人数 n = 40

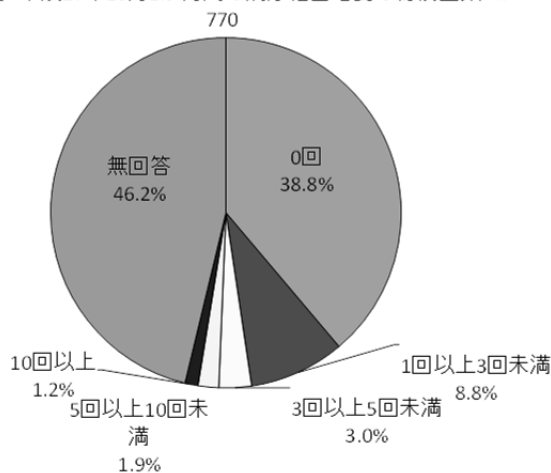


平均	5.9
分散	94.5

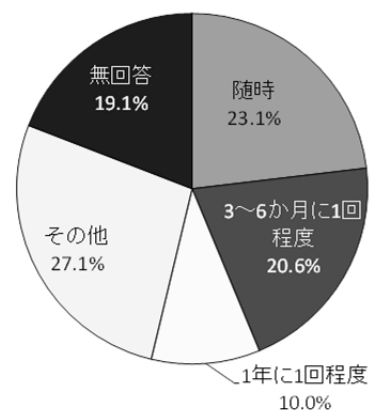
平成 27 年 10 月の 1 か月間の病原細菌培養の総検査数についてみると、「0 回」が 38.8%と最も多く、次いで「1 回以上 3 回未満」(8.8%)が多かった。

バルプロ酸ナトリウムの血中濃度の測定頻度についてみると、「その他」が 27.1%と最も多く、次いで「随時」(23.1%)、「3~6 か月に 1 回程度」(20.6%)と多かった。

【Q9-13】平成27年10月1か月間の病原細菌培養の総検査数 n = 770



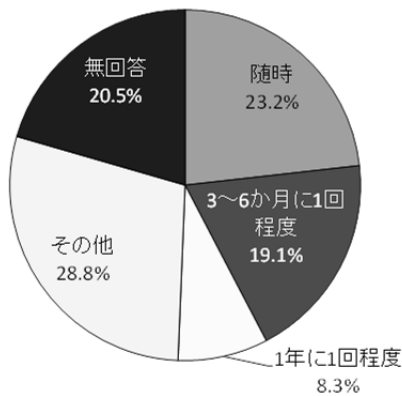
【Q10-1】バルプロ酸ナトリウム 血中濃度の測定頻度 n = 770



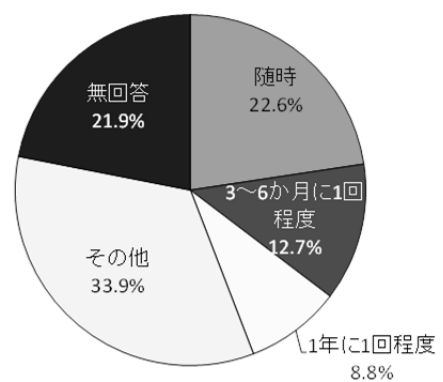
ジゴキシンの血中濃度の測定頻度についてみると、「その他」が 28.8%と最も多く、次いで「随時」(23.2%)、「3~6 か月に 1 回程度」(19.1%) と多かった。

テオフィリンの血中濃度の測定頻度についてみると、「その他」が 33.9%と最も多く、次いで「随時」(22.6%)、「3~6 か月に 1 回程度」(12.7%) と多かった。

【Q10-2】ジゴキシンの血中濃度の測定頻度 n = 770



【Q10-3】テオフィリンの血中濃度の測定頻度 n = 770

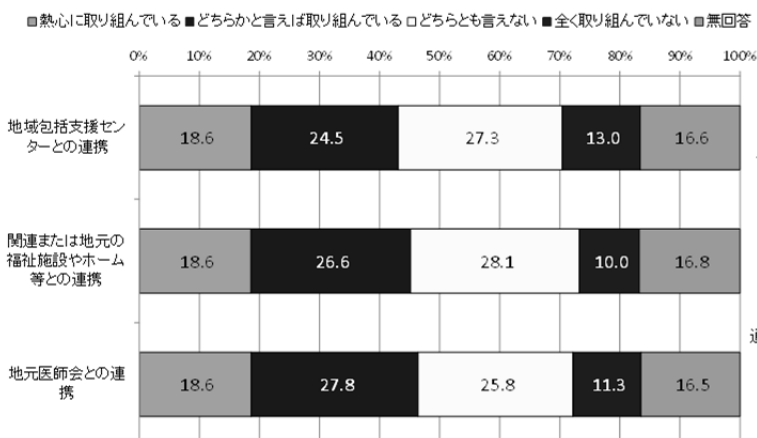


(4) 管理医師等について

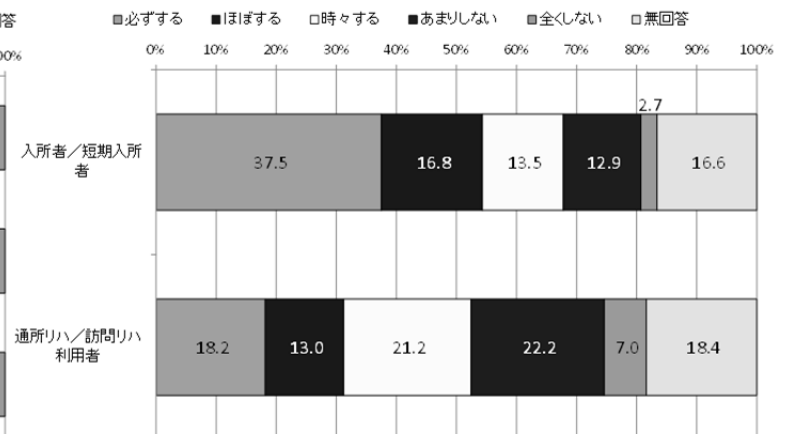
地域との連携状況についてみると、『地域包括支援センターとの連携』および『関連または地元の福祉施設やホーム等との連携』においては「どちらとも言えない」の割合が最も高く、次いで「どちらかと言えば取り組んでいる」の割合が高かった。『地元の医師会との連携』においては、「どちらかと言えば取り組んでいる」の割合が最も高く、次いで「どちらとも言えない」の割合が高かった。

利用者の在宅復帰後の主治医との連携についてみると、『入所者／短期入所者』は「必ずする」が 37.5%と最も多く、『通所リハ／訪問リハ利用者』は「あまりしない」が 22.2%と最も多くなっている。

【Q11-1】地域との連携 n = 770



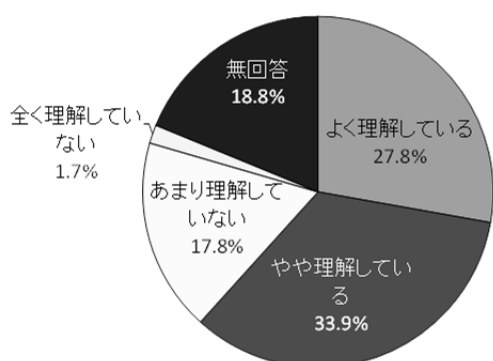
【Q11-2】主治医との連携 n = 770



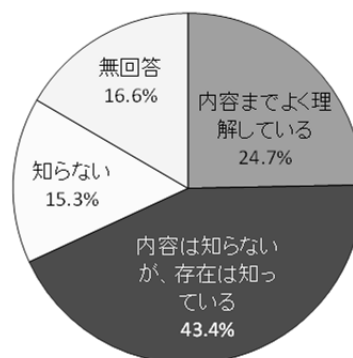
高齢者の薬剤に対する反応について、一般成人との違いを在宅復帰後の主治医が理解していると思うかについてみると、「やや理解している」が 33.9%と最も多く、「よく理解している」(27.8%)と合わせると 6 割以上が理解していると回答している。

日本老年医学会が作成した高齢者薬物治療ガイドラインの認知度についてみると、「内容は知らないが、存在は知っている」が 43.4%、「内容までよく理解している」が 24.7%、「知らない」が 15.3%であった。

【Q12-1】 高齢者の薬剤に対する反応について、一般成人との違いについて在宅復帰後の主治医の理解度 n = 770



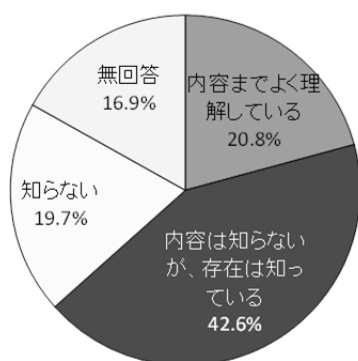
【Q12-2】 日本老年医学会が作成した、高齢者薬物治療ガイドライン n = 770



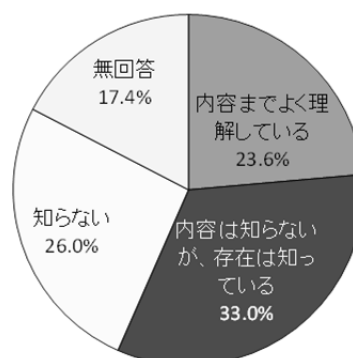
日本老年医学会が作成した高齢者に対する適切な医療提供の指針の認知度についてみると、「内容は知らないが、存在は知っている」が 42.6%、「内容までよく理解している」が 20.8%、「知らない」が 19.7%であった。

WHO の 3 段階の除痛ラダーの認知度についてみると、「内容は知らないが、存在は知っている」が 33.0%、「知らない」が 26.0%、「内容までよく理解している」が 23.6%であった。

【Q12-3】 日本老年医学会が作成した、高齢者に対する適切な医療提供の指針 n = 770



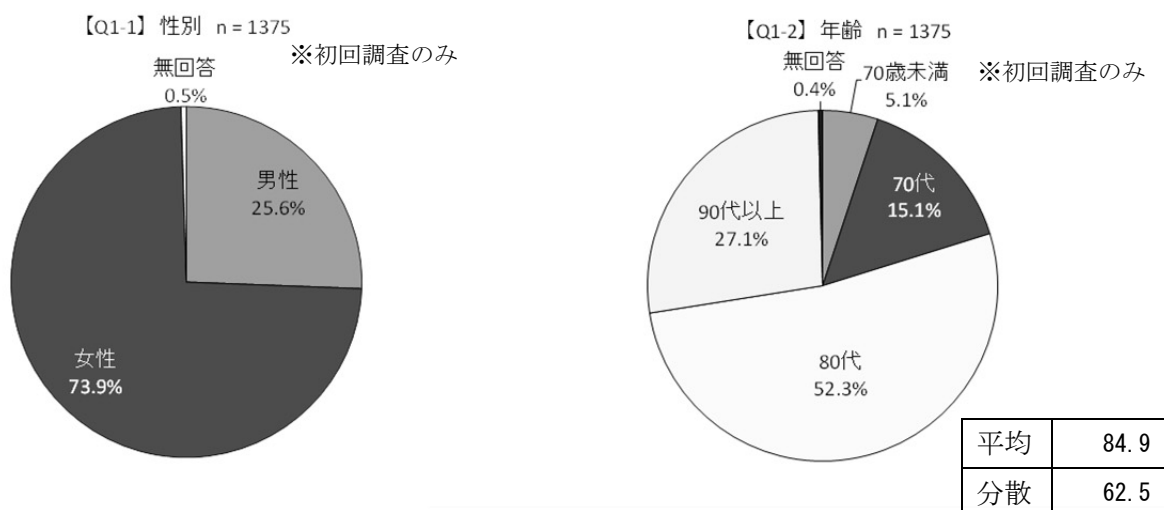
【Q12-4】 WHOの除痛ラダーについて n = 770



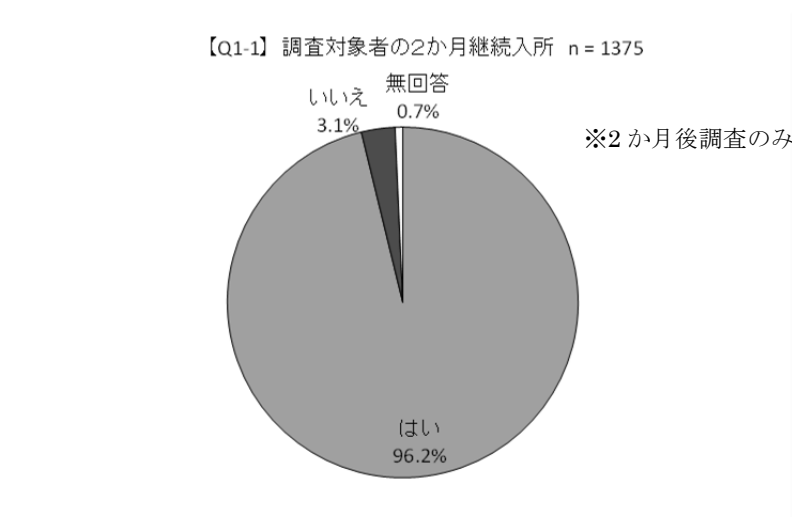
2. 利用者調査結果（初回・2か月後）

調査対象者の性別についてみると、「女性」が73.9%、「男性」が25.6%であった。

調査対象者の年齢についてみると、「80代」が52.3%と5割以上を占めており、次いで「90代以上」（27.1%）が多くなっている。



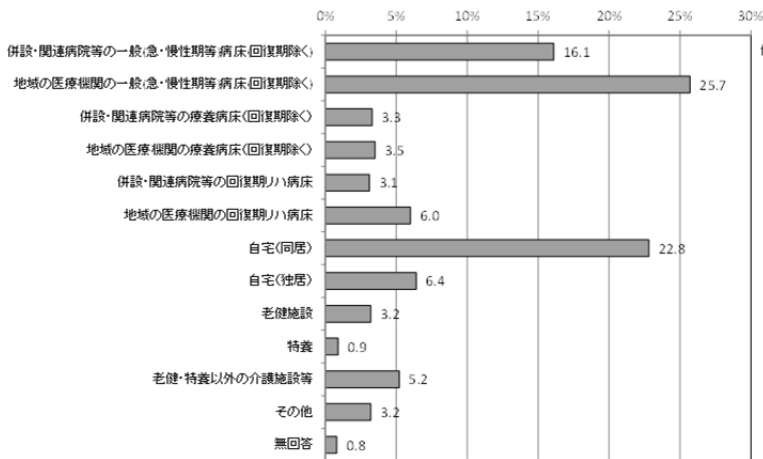
調査対象者の2か月間の継続入所の有無についてみると、「はい」が96.2%、「いいえ」が3.1%であった。



調査対象者の入所前の主な居場所についてみると、「地域の医療機関の一般（急・慢性期等）病床（回復期除く）」が 25.7%と最も多く、次いで「自宅（同居）」（22.8%）、「併設・関連病院等の一般（急・慢性期等）病床（回復期除く）」（16.1%）が多くなっている。

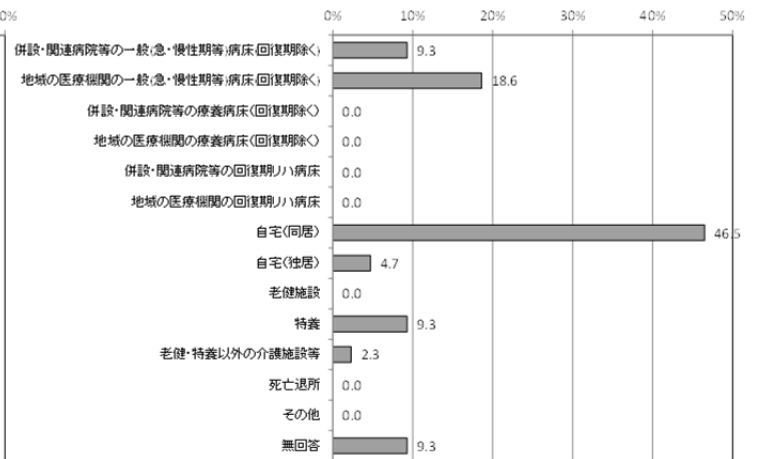
調査期間中に退所した調査対象者の退所予定先についてみると、「自宅（同居）」が 46.5%と最も多く、次いで「地域の医療機関の一般（急・慢性期等）病床（回復期除く）」（18.6%）が多くなっている。

【Q1-4】入所前の主な居場所 n = 1375



※初回調査のみ

【Q1-3】退所予定先 n = 43

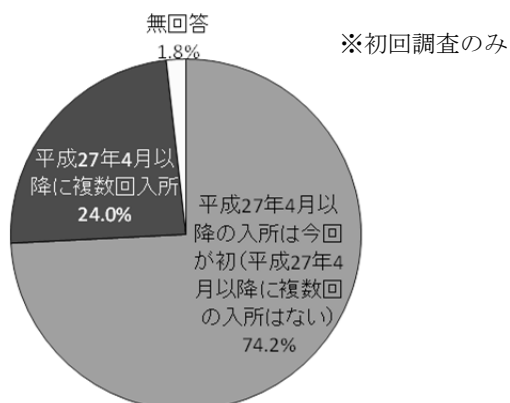


※2か月後調査のみ

平成 27 年 4 月以降の入所の利用状況についてみると、「平成 27 年 4 月以降の入所は今回が初(平成 27 年 4 月以降に複数回の入所はない)」が 74.2%と 7 割以上を占めていた。

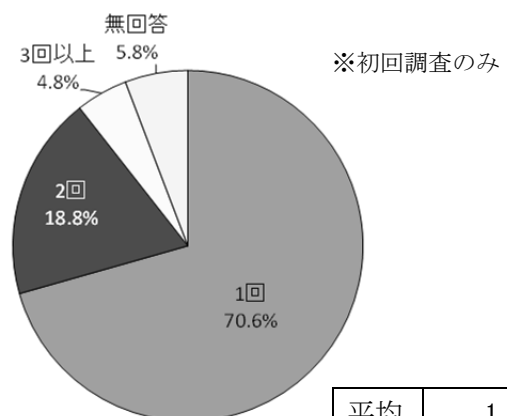
平成 27 年 4 月から現在までに複数回入所した入所者の入所回数についてみると、今回の入所は除くと「1 回」が 70.6%と 7 割以上を占めていた。

【Q1-5】平成27年4月以降の入所の利用状況 n = 1375



※初回調査のみ

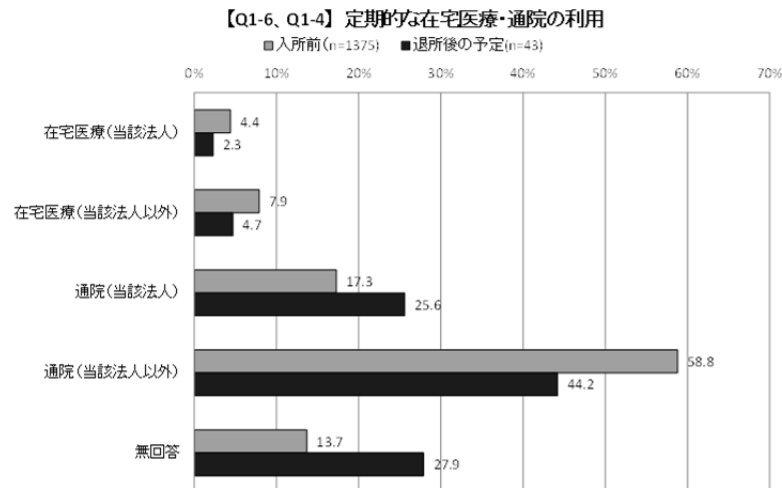
【Q1-5-2】平成27年4月から現在までに複数回入所した場合の入所回数 n = 330



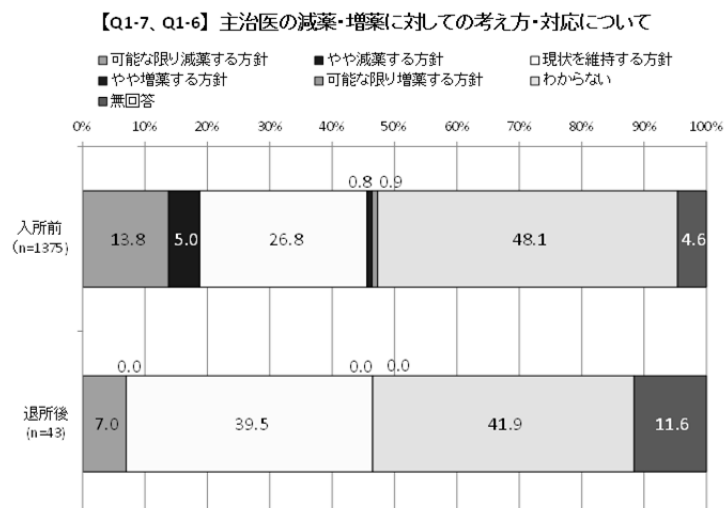
※初回調査のみ

平均	1.4
分散	1.0

入所前の定期的な在宅医療・通院の利用についてみると、入所前・退院後の予定共に「通院（当該法人以外）」が最も多く、次いで「通院（当該法人）」が多くなっている。入所前は「通院（当該法人以外）」が58.8%と約6割を占めていたが、退所後の予定では44.2%と約4割に減少している。

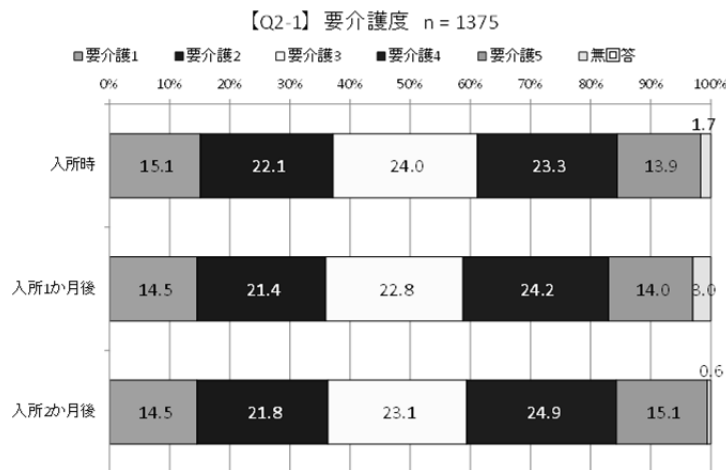
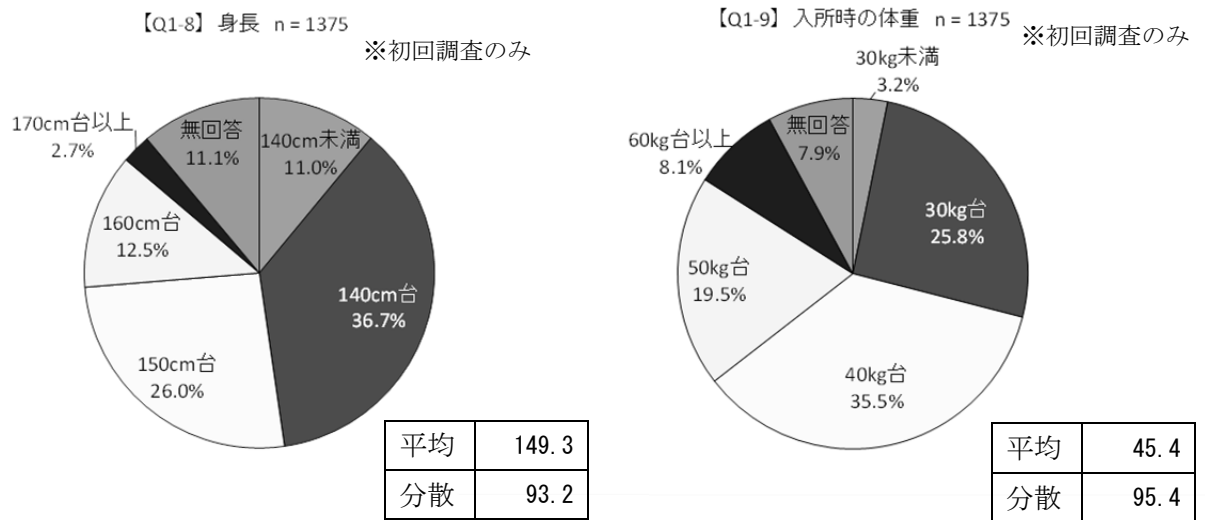


入所前の主治医の減薬・増薬に対する考え方・対応についてみると、入所前・退院後共に「わからない」が最も多く、次いで「現状を維持する方針」、「可能な限り減薬する方針」が多くなっている。入所前は「わからない」が48.1%と約5割を占めていたが、退所後だと41.9%と約4割となっている。同様に「可能な限り減薬する方針」も入所前は13.8%だったのに対し退所後は7.0%となっている。一方「現状を維持する方針」は入所前は26.8%だったのに対し退所後は39.5%となっている。



調査対象者の身長についてみると、「140cm 台」が 36.7%と最も多く、次いで「150cm 台」が 26.0%で平均は 149.3cm であった。調査対象者の入所時の体重についてみると、「40kg 台」が 35.5%と最も多く、次いで「30kg 台」は 25.8%で、平均は 45.4kg であった。

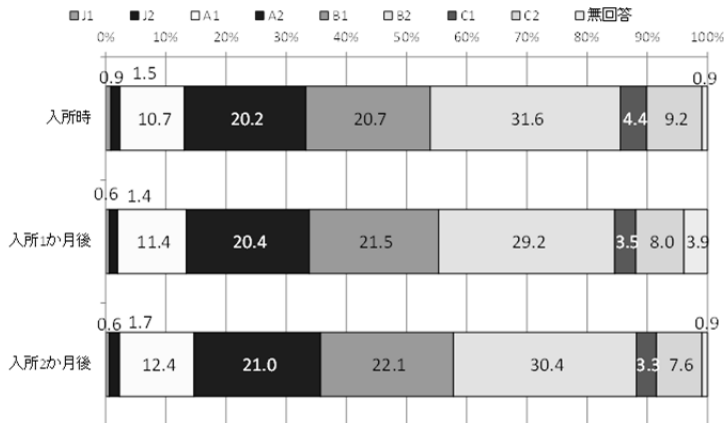
調査対象者の要介護度についてみると、『入所時』は「要介護 3」が 24.0%と最も高かったのに対し、『入所 1 か月後』『入所 2 か月後』では「要介護 4」および「要介護 5」の割合が微増している。



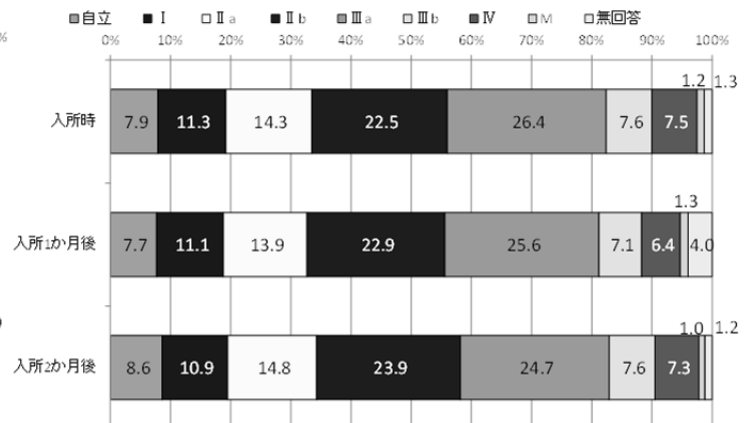
調査対象者の障害高齢者の日常生活自立度についてみると、入所時・入所1か月後・入所2か月後すべてにおいて「B2」が約3割と最も高い割合を占めている。

調査対象者の認知症自立度についてみると、入所時・入所1か月後・入所2か月後すべてにおいて「Ⅲa」が最も高い割合を占めており、次いで「Ⅱb」が高い割合を占めている。

【Q2-2】 障害高齢者の日常生活自立度 n = 1375



【Q2-3】 認知症自立度 n = 1375



胃瘻の有無についてみると、入所時・入所1か月後・入所2か月後すべてにおいて「なし」が9割以上を占めている。

経管栄養（胃瘻除く）の有無についてみると、入所時・入所1か月後・入所2か月後すべてにおいて「なし」が9割以上を占めている。

【Q2-4】 胃瘻の有無 n = 1375

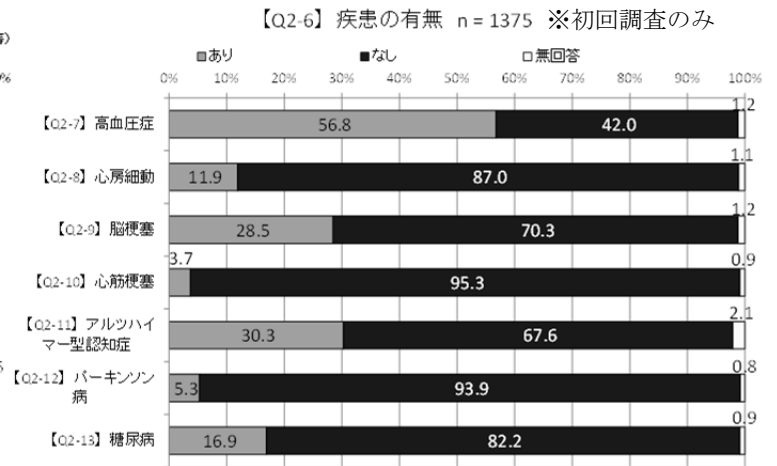
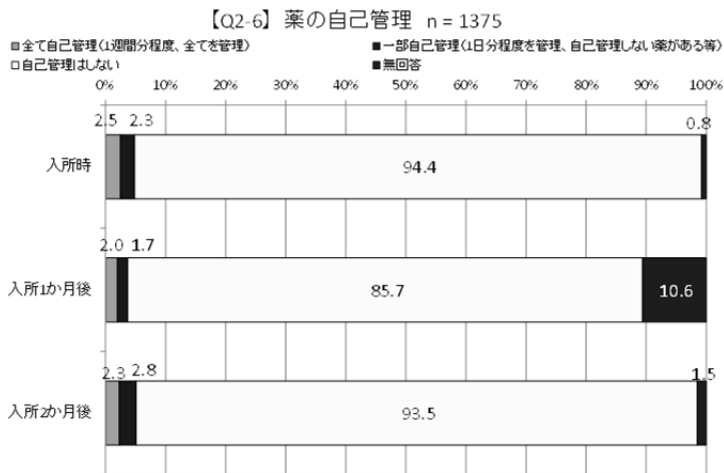


【Q2-5】 経管栄養（胃瘻除く）の有無 n = 1375



薬の自己管理方法についてみると、入所時・入所1か月後・入所2か月後すべてにおいて「自己管理はしない」が約9割を占めている。

疾患の有無についてみると、「あり」の回答が最も高いのは『高血圧症』の56.8%で5割以上を占めており、次いで『アルツハイマー型認知症』（30.3%）、『脳梗塞』（28.5%）が高くなっている。



ICFの状態認定は、基本的に数字の大きい方から小さい方に向かって難易度（高→低）を設定している。

ICFステージングの基本動作についてみると、入所時・入所1か月後・入所2か月後すべてにおいて「ステージ4」が約3割と最も多く、次いで「ステージ5」が2割以上と多くなっている。入所時から入所2か月後にかけて、徐々に低いステージの割合が減少し、高いステージの割合が増加している傾向がある。

ICFステージングの歩行・移動についてみると、入所時・入所1か月後・入所2か月後すべてにおいて「ステージ2」が約6割と最も多く、次いで「ステージ3」が約2割と多くなっている。入所時から入所2か月後にかけて、徐々に低いステージの割合が減少し、高いステージの割合が増加している。

ICFステージングの排泄動作についてみると、入所時・入所1か月後・入所2か月後すべてにおいて「ステージ4」が最も多く、次いで入所時は「ステージ2」、入所1か月後・入所2か月後は「ステージ3」「ステージ5」が多くなっている。入所時から入所2か月後にかけて、徐々に低いステージの割合が減少し、高いステージの割合が増加している傾向がある。

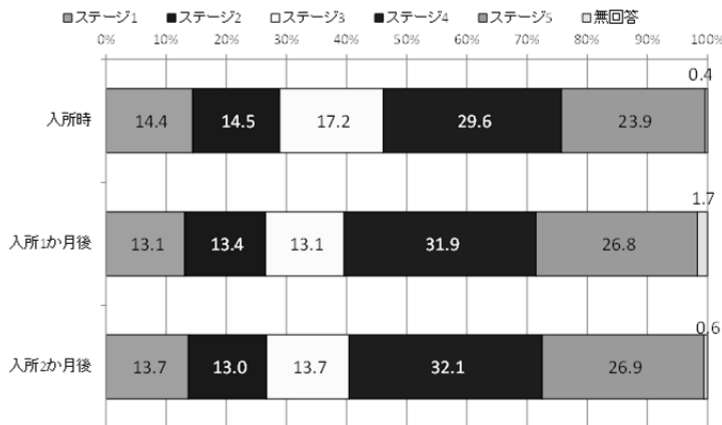
ICFステージングのオリエンテーションについてみると、入所時・入所1か月後・入所2か月後すべてにおいて「ステージ4」が最も多く、次いで「ステージ5」が多くなっている。入所時から入所2か月後にかけて、徐々に低いステージの割合が減少し、高いステージの割合が増加している。

ICFステージングのコミュニケーションについてみると、入所時・入所1か月後・入所2か月後すべてにおいて「ステージ2」が約3割と最も多く、次いで「ステージ5」が多くなっている。

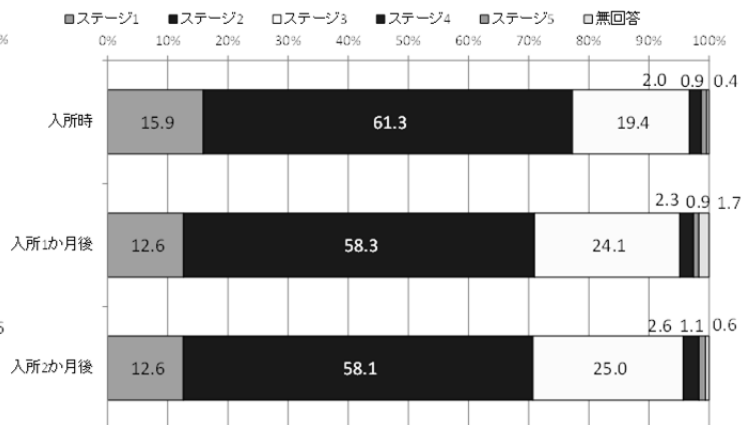
入所時から入所 2 か月後にかけて、徐々に低いステージの割合が減少し、高いステージの割合が増加している傾向がある。

ICF ステージングの精神活動についてみると、入所時・入所 1 か月後・入所 2 か月後すべてにおいて「ステージ 2」が約 3 割と最も多く、次いで「ステージ 3」が多くなっている。入所時から入所 2 か月後にかけて、徐々に低いステージの割合が減少し、高いステージの割合が増加している傾向がある。

【Q3-1】基本動作 n = 1375



【Q3-2】歩行・移動 n = 1375

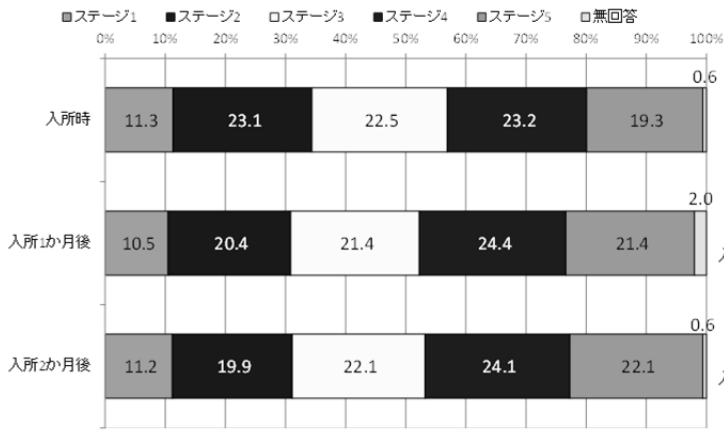


基本動作	ステージ 5	立位の保持(つかまらずに一定の時間立位を保つこと)
	ステージ 4	座位での乗り移り(車椅子からベッドへ移動するように、ある面に座った状態から同等あるいは異なる高さの他の座面へと移動する)
	ステージ 3	座位(端座位)の保持(ベッド等に、背もたれもなく“つかまらない”で、安定して座っている(端座位))
	ステージ 2	寝返りをする(つかまる、つかまらないにかかわらず)
	ステージ 1	寝返りを行っていない
歩行・移動	ステージ 5	外出状況(公共交通機関(バス・電車・飛行機等)を利用して外出する(杖等の補助具の使用の有無は問わない))
	ステージ 4	昇り降り(階段を 5 段以上手すりに頼らず昇り降りする)
	ステージ 3	安定した歩行(安定した歩行をする(杖と装具の双方を用いてもかまわない))
	ステージ 2	施設内での移動(施設内で居室から別の部屋へと移動すること(車椅子などの移動手段は問わない))
	ステージ 1	施設内の移動を行っていない

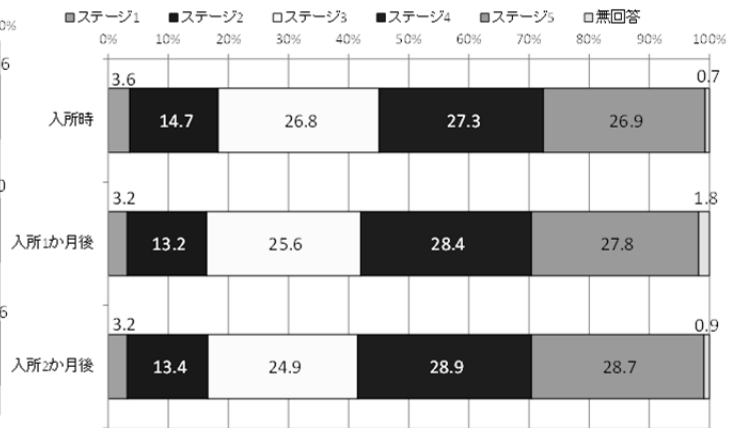
※ICF ステージングの詳細は全老健 HP (<http://www.roken.or.jp/>) に掲載

(全老健 HP → R4 システム → R4 システム電子化バージョンダウンロードページ → 「R4 システム版 ICF ステージングマニュアル」(PDF))

【Q3-3】排泄の動作 n = 1375

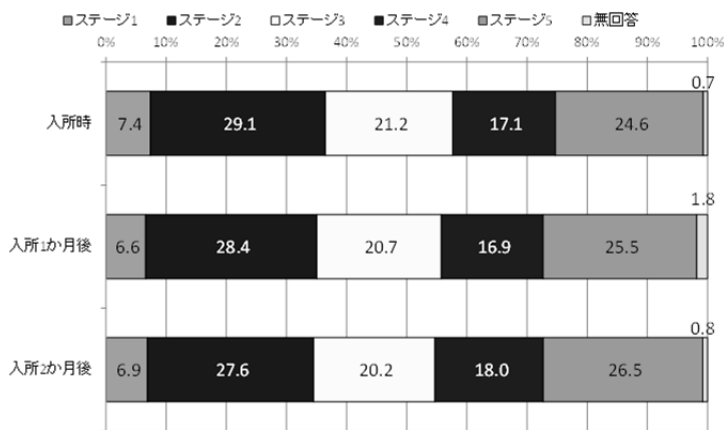


【Q3-4】オリエンテーション n = 1375

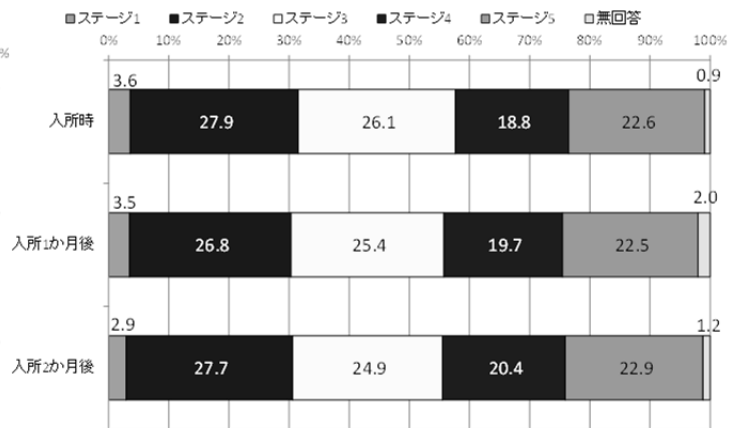


排泄の動作	ステージ5	排泄の後始末(排泄の後に種々の後始末をする。排泄後に拭く、流す等。ポータブルトイレの処理、尿器の処理等を含む)
	ステージ4	排泄の際、ズボン・パンツ等の上げ下ろしを自分でする
	ステージ3	洋式便器への移乗 (洋式便器への移乗と、洋式便器からの移乗をする) ※トイレ内の移動の際、姿勢の保持を自分で行っていない場合は行っていないと判断
	ステージ2	床上での排泄 (洋式トイレの移乗が自分で出来ないため、介助が必要。または、普段から床上で排泄を行っている)
	ステージ1	医療的な身体管理のため、人工肛門・尿カテーテル・おむつ等を使用している
オリエンテーション	ステージ5	年月日がわかる(±1日の誤差)
	ステージ4	現在いる場所の種類(家、老健等)がわかる
	ステージ3	他者に関する見当識(その場にいる人が誰だかわかる(例えば家族か、職員かがわかれば可))
	ステージ2	自分の名前がわかる
	ステージ1	自分の名前がわからない

【Q3-5】コミュニケーション n = 1375



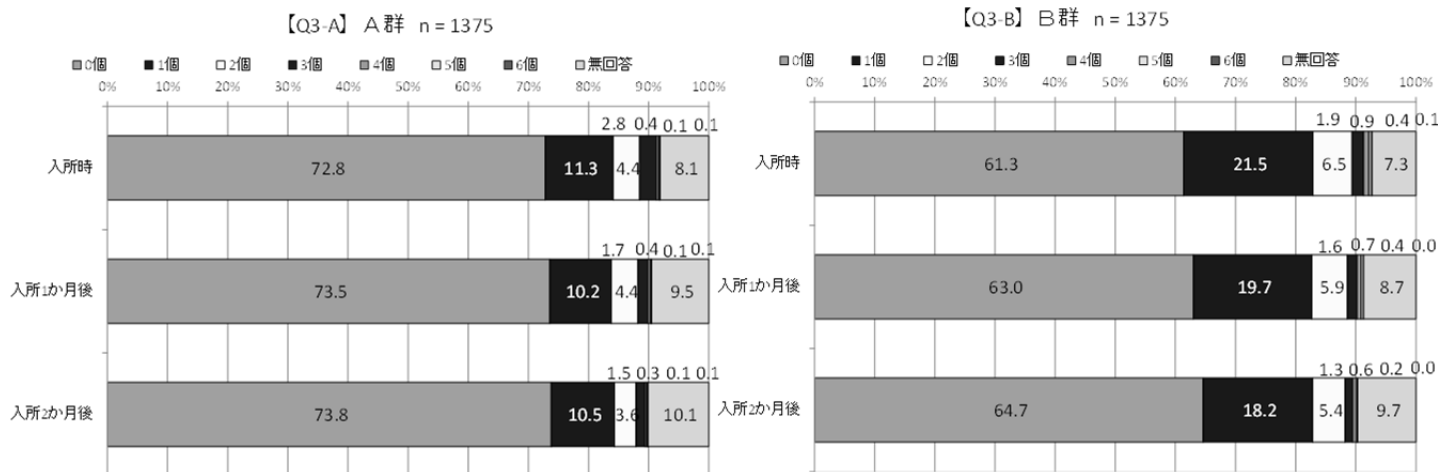
【Q3-6】精神活動 n = 1375



コミュニケーション	ステージ5	複雑な人間関係の保持(様々な状況で他者を理解し、他者が不快にならないように感情や衝動を抑え、常識に基づいて人間関係を保とうとする。(例)普通の人間関係)
	ステージ4	書き言葉の受容(書き言葉のメッセージを読み取り、理解している)
	ステージ3	日常会話(1対1で違和感のない(適切で辻褃の合った)対話や意見交換をしている。(例)日常会話、友人関係、日常生活、季節等)
	ステージ2	話し言葉の理解(スタッフや家族の話し言葉(音声言語)を理解している)
	ステージ1	話し言葉の理解はできない
精神活動	ステージ5	時間管理(現在の時刻がわかり、かつ一時間後に何を行うか理解し、普段から自分で時間管理している)
	ステージ4	簡単な算術計算(7+8、6+5などの一桁同士の単純な加算が出来るか。※おおむね7割程度正解すれば、出来ると判断する)
	ステージ3	長期記憶(過去の自伝的な記憶について正しく再生することが出来るか)
	ステージ2	意識状態(調査前24時間以内の起きていた時間帯に意識の混濁がなかった)
	ステージ1	意識の混濁があった

周辺症状のA群の該当項目数についてみると、入所時・入所1か月後・入所2か月後すべてにおいて「0個」が7割以上と最も多く、次いで「1個」が1割以上と多くなっている。入所時から入所2か月後にかけて「0個」の割合が増加している。

周辺症状のB群の該当項目数についてみると、入所時・入所1か月後・入所2か月後すべてにおいて「0個」が6割以上と最も多く、次いで「1個」が約2割と多くなっている。入所時から入所2か月後にかけて、「0個」の割合が増加、その他の割合は減少している。



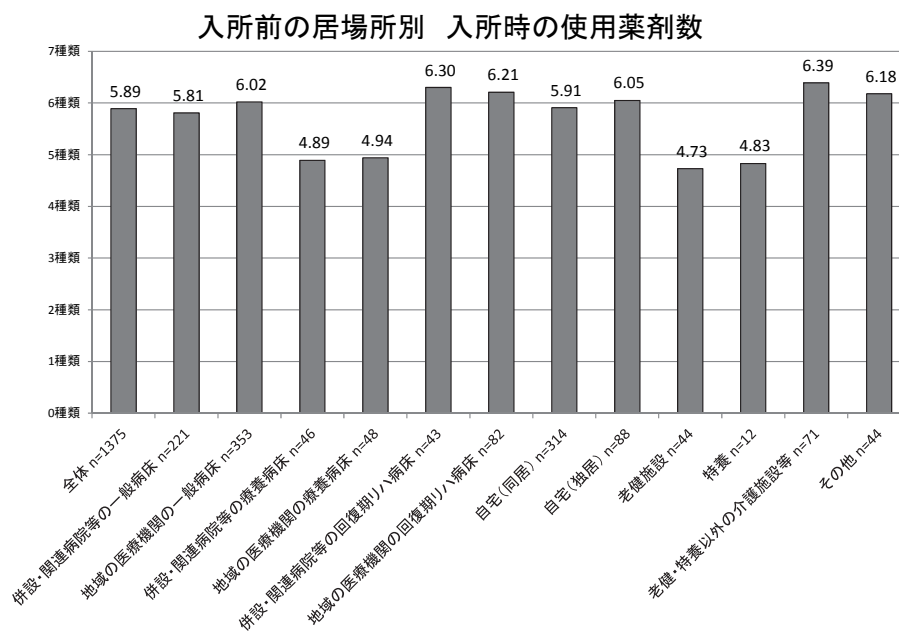
周辺症状の項目

A群	B群
世話を拒否する	食べ過ぎる
不適切に泣いたり笑ったりする	タンスの中身を全部出す
興奮して手足を動かす	日中屋外や屋内をうろつきまわる
理由なく金切り声をあげる	昼間、寝てばかりいる
衣服や器物を破壊する	同じことを何度も聞く
食物を投げる	不適切な場所での排尿

3. 服薬の実態について

(1) 薬剤の使用状況

入所前の居場所別に薬剤の使用状況をみると、「老健・特養以外の介護施設等」(6.39種類)、「併設・関連病院等の回復期リハ病床」(6.30種類)、「地域の医療機関の回復期リハ病床」(6.21種類)等にいた利用者は、使用している種類数が多くなっている。



入所時、入所1か月後、入所2か月後ごとに薬効別分類の薬剤数の使用件数についてみると、入所時においては、「23 消化器官用薬」が76.1%、「21 循環器官用薬」が69.5%、「11 中枢神経系用薬」は60.7%の利用者に使われている。さらに表の右側に入所時の使用件数に対しての、入所1か月後および入所2か月後の使用件数の割合を示した。「11 中枢神経系用薬」は、入所1か月後に使用されている件数は入所時の87.4%に減少し、2か月後は入所時の93.1%と、入所1か月後からは若干増えていることがわかる。薬効別分類による薬剤別の使用状況を見ると、一般的に入所時よりも1か月後の薬剤の使用割合は低くなり、2か月後には入所時ほどではないが、1か月後よりやや使用割合が高くなっている。ただし、「23 消化器官用薬」においては、入所1か月後には減少するが、2か月後には入所時より使用割合が高くなった。

■薬効別分類別 薬剤の使用件数

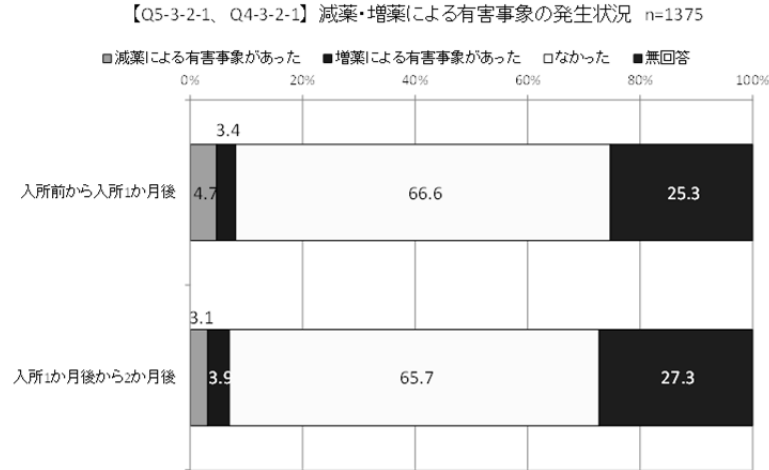
No.	カテゴリ	入所時		入所1か月後		入所2か月後		1か月後/ 入所時(%)	2か月後/ 入所時(%)
		件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%		
1	11中枢神経系用薬	835	60.7	730	53.1	777	56.5	87.4%	93.1%
2	12末梢神経系用薬	49	3.6	34	2.5	40	2.9	69.4%	81.6%
3	13感覚器官用薬	35	2.5	20	1.5	18	1.3	57.1%	51.4%
4	21循環器官用薬	955	69.5	870	63.3	921	67.0	91.1%	96.4%
5	22呼吸器官用薬	103	7.5	78	5.7	80	5.8	75.7%	77.7%
6	23消化器官用薬	1047	76.1	986	71.7	1051	76.4	94.2%	100.4%
7	24ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	93	6.8	87	6.3	93	6.8	93.5%	100.0%
8	25泌尿生殖器官及び肛門用薬	152	11.1	129	9.4	145	10.5	84.9%	95.4%
9	26外用薬	3	0.2	3	0.2	3	0.2	100.0%	100.0%
10	27歯科口腔用薬	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-	-
11	29その他の個々の器官系用医薬品	1	0.1	2	0.1	2	0.1	200.0%	200.0%
12	31ビタミン剤	235	17.1	191	13.9	192	14.0	81.3%	81.7%
13	32滋養強壮薬	131	9.5	105	7.6	105	7.6	80.2%	80.2%
14	33血液・体液用薬	488	35.5	444	32.3	470	34.2	91.0%	96.3%
15	34人工透析用薬	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-	-
16	39その他の代謝性医薬品	333	24.2	271	19.7	289	21.0	81.4%	86.8%
17	41細胞賦活用薬	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-	-
18	42潰瘍用薬	13	0.9	13	0.9	13	0.9	100.0%	100.0%
19	43放射性医薬品	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-	-
20	44アレルギー用薬	90	6.5	61	4.4	76	5.5	67.8%	84.4%
21	51生薬	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-	-
22	52漢方製剤	107	7.8	74	5.4	77	5.6	69.2%	72.0%
23	59その他の生薬及び漢方処方に基づく医薬品	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-	-
24	61抗生物質製剤	24	1.7	14	1.0	18	1.3	58.3%	75.0%
25	62化学療法剤	12	0.9	8	0.6	10	0.7	66.7%	83.3%
26	63生物学的製剤	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-	-
27	64寄生動物用薬	0	0.0	0	0.0	3	0.2	-	-
28	71調剤用薬	13	0.9	12	0.9	10	0.7	92.3%	76.9%
29	72診断用薬(体外診断用医薬品を除く)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-	-
30	73公衆衛生用薬	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-	-
31	74体外診断用医薬品	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-	-
32	79その他の治療を主目的としない医薬品	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-	-
33	81アルカロイド系麻薬(天然麻薬)	0	0.0	0	0.0	1	0.1	-	-
34	82非アルカロイド系麻薬	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-	-
	無回答	49	3.6	132	9.6	54	3.9	-	-
	N (%ベース)	1375	100	1375	100	1375	100	-	-

※「無回答」については、薬剤を1剤も使用していないケース42件と記載されたすべての薬剤名のマッチングができなかったため薬剤がカテゴリ化されず「無回答」扱いとなっている7件が相当する。

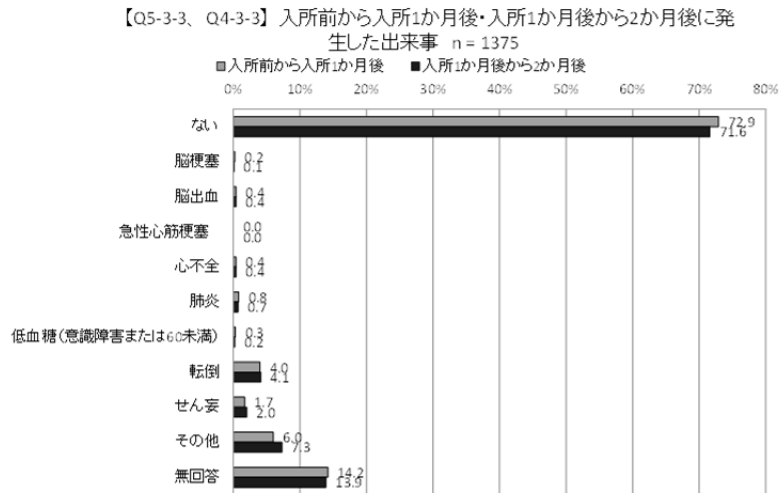
※薬効別分類：薬価基準点数早見表平成27年4月版(社会保険研究所)による分類に準拠している。薬価基準点数早見表の薬効別分類表は日本標準商品分類に拠っているが、使用実態に合わせて一部4桁分類に修正されている。

(2) 減薬・増薬による有害事象の状況

減薬・増薬による有害事象の状況について、入所前から入所1か月後と、入所1か月後から2か月後の状況を見ると、いずれも有害事象は3～5%の割合で起きている。



入所前から入所1か月後と、入所1か月後から2か月後に発生した出来事を見ると、いずれも7割以上が何も発生していない。また、いずれも「転倒」が約4%、せん妄が約2%となった。



入所前から入所1か月後までの間に減薬・増薬による有害事象の有無について、利用者の疾患別（高血圧症、心房細動、脳梗塞、アルツハイマー型認知症、パーキンソン病、糖尿病の各疾患を罹患している利用者）にみた。なお、各疾患別にさらに入所前から入所1か月後までの間に使用した薬剤の増減（減少・同・増加）別にみた。右表では同様に入所1か月後から2か月後までの間の減薬・増薬による有害事象についてみた。

入所時から1か月後において、『心房細動』の疾患がある利用者は他の疾患の利用者と比較して増薬して有害事象が「あった」割合が21.7%と最も高かった。一方、『アルツハイマー型認知症』の疾患がある利用者は、減薬して有害事象が「あった」割合が14.8%と他の疾患の利用者と比較して高かった。入所1か月から2か月後においても『心房細動』の疾患がある利用者は他の疾患の利用者と比較して増薬して有害事象が「あった」割合が13.5%と最も高かった。一方、『糖尿病』の疾患がある利用者は他の疾患の利用者と比較して減薬して有害事象が「あった」割合が12.0%と最も高かった。

■入所時から入所1か月後までの減薬・増薬による有害事象の有無

【Q5-3-2-1】入所前から入所1か月後までの間に減薬・増薬による有害事象の有無 × 薬の種類を増減(入所-1か月後)

入所時の状態(症状) × 薬の種類 の増減(入所-1か月後)	上段:度数 下段:%	【Q5-3-2-1】入所前から入所1か月後までの間に減薬・増薬による有害事象の有無			
		合計	あった	なかった	無回答
全体	1375 100.0	111 8.1	916 66.6	348 25.3	
小計	781 100.0	61 7.8	531 68.0	189 24.2	
【Q2-7】高血圧症					
減	326 100.0	38 11.7	238 73.0	50 15.3	
同	384 100.0	13 3.6	232 63.7	119 32.7	
増	91 100.0	10 11.0	61 67.0	20 22.0	
小計	164 100.0	17 10.4	124 75.6	23 14.0	
【Q2-8】心房細動					
減	65 100.0	7 10.8	48 73.8	10 15.4	
同	76 100.0	5 6.6	61 80.3	10 13.2	
増	23 100.0	5 21.7	15 65.2	3 13.0	
小計	392 100.0	26 6.6	283 72.2	83 21.2	
【Q2-9】脳梗塞					
減	147 100.0	14 9.5	116 78.9	17 11.6	
同	188 100.0	8 4.3	123 65.4	57 30.3	
増	57 100.0	4 7.0	44 77.2	9 15.8	
小計	417 100.0	34 8.2	283 67.9	100 24.0	
【Q2-11】アルツハイマー型認知症					
減	176 100.0	26 14.8	119 67.6	31 17.6	
同	187 100.0	3 1.6	123 65.8	61 32.6	
増	54 100.0	5 9.3	41 75.9	8 14.8	
小計	73 100.0	6 8.2	45 61.6	22 30.1	
【Q2-12】パーキンソン病					
減	30 100.0	4 13.3	18 60.0	8 26.7	
同	33 100.0	1 3.0	22 66.7	10 30.3	
増	10 100.0	1 10.0	5 50.0	4 40.0	
小計	232 100.0	21 9.1	153 65.9	58 25.0	
【Q2-13】糖尿病					
減	98 100.0	13 13.3	70 71.4	15 15.3	
同	110 100.0	4 3.6	70 63.6	36 32.7	
増	24 100.0	4 16.7	13 54.2	7 29.2	
小計	222 100.0	23 10.4	140 63.1	59 26.6	
いずれもなし					
減	70 100.0	11 15.7	45 64.3	14 20.0	
同	113 100.0	7 6.2	72 63.7	34 30.1	
増	39 100.0	5 12.8	23 59.0	11 28.2	

■入所1か月後から2か月後までの減薬・増薬による有害事象の有無

【Q4-3-2-1】入所1か月後から2か月後までの間の減薬・増薬による有害事象の有無の項目 × 薬の種類を増減(1か月後-2か月後)

入所時の状態(症状) × 薬の種類 の増減(1か月後-2か月後)	上段:度数 下段:%	【Q4-3-2-1】入所1か月後から2か月後までの間の減薬・増薬による有害事象の有無			
		合計	あった	なかった	無回答
全体	1375 100.0	97 7.1	903 65.7	375 27.3	
小計	781 100.0	65 8.3	513 65.7	203 26.0	
【Q2-7】高血圧症					
減	233 100.0	26 11.2	148 63.5	59 25.3	
同	316 100.0	12 3.8	229 72.5	75 23.7	
増	232 100.0	27 11.6	136 58.6	69 29.7	
小計	164 100.0	17 10.4	109 66.5	38 23.2	
【Q2-8】心房細動					
減	48 100.0	5 10.4	32 66.7	11 22.9	
同	64 100.0	5 7.8	45 70.3	14 21.9	
増	52 100.0	7 13.5	32 61.5	13 25.0	
小計	392 100.0	32 8.2	265 67.6	95 24.2	
【Q2-9】脳梗塞					
減	117 100.0	12 10.3	77 65.8	28 23.9	
同	151 100.0	6 4.0	107 70.9	38 25.2	
増	124 100.0	14 11.3	81 65.3	29 23.4	
小計	417 100.0	28 6.7	287 64.0	122 29.3	
【Q2-11】アルツハイマー型認知症					
減	121 100.0	6 5.0	82 67.8	33 27.3	
同	151 100.0	4 2.6	103 68.2	44 29.1	
増	145 100.0	18 12.4	82 56.6	45 31.0	
小計	73 100.0	4 5.5	47 64.4	22 30.1	
【Q2-12】パーキンソン病					
減	23 100.0	1 4.3	12 52.2	10 43.5	
同	28 100.0	1 3.6	20 71.4	7 25.0	
増	22 100.0	2 9.1	15 68.2	5 22.7	
小計	232 100.0	21 9.1	142 61.2	69 29.7	
【Q2-13】糖尿病					
減	83 100.0	10 12.0	55 66.3	18 21.7	
同	88 100.0	4 4.5	61 69.3	23 26.1	
増	61 100.0	7 11.5	26 42.6	28 45.9	
小計	222 100.0	12 5.4	151 68.0	59 26.6	
いずれもなし					
減	60 100.0	2 3.3	41 68.3	17 28.3	
同	82 100.0	2 2.4	61 74.4	19 23.2	
増	80 100.0	8 10.0	49 61.3	23 28.8	

(3) 疼痛管理が必要になった利用者の状況

入所から1か月間および1か月後から2か月後に、疼痛管理が必要になったケースの臨時処方薬剤をみた。

入所から1か月間には50人に対して合計58の薬剤が使われている。使用された薬剤は「1140 解熱鎮痛消炎剤」が64.0%と最も多かった。入所1か月後から2か月後においては、41人に対して53の薬剤が使用されている。入所1か月と同様、「1140 解熱鎮痛消炎剤」が75.6%と最も多かった。

入所時から1か月後までの1か月間の臨時処方薬として疼痛管理に使用した薬剤

	薬 剤	件数	%
1140	解熱鎮痛消炎剤	32	55.2%
1190	その他の中枢神経系用薬	2	3.4%
2320	消化性潰瘍剤	2	3.4%
2640	鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤、外皮用薬	4	6.9%
2690	その他の外皮用剤	1	1.7%
6240	合成抗菌剤	1	1.7%
5200	漢方製剤	1	1.7%
6130	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	1	1.7%
	上記分類に含まれないもの	14	24.1%
	使用薬剤の合計	58	
	利用者数	50	100.0%

入所1か月後から2か月後までの1か月間の臨時処方薬として疼痛管理に使用した薬剤

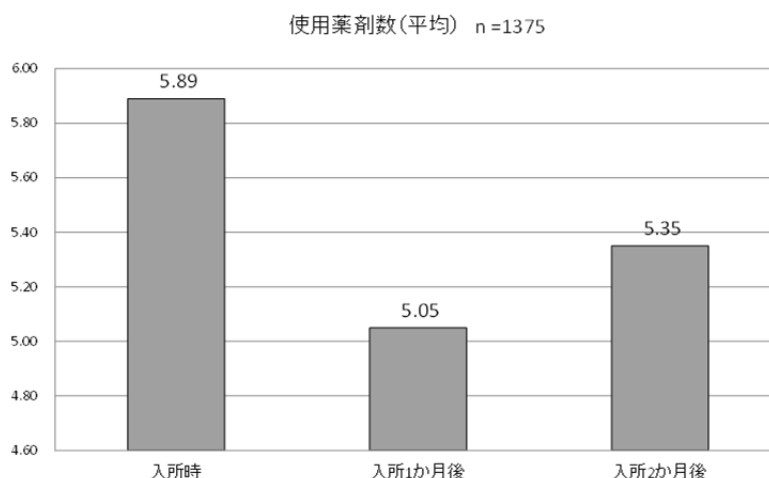
	薬 剤	件数	%
1140	解熱鎮痛消炎剤	31	58.5%
1180	総合感冒剤	1	1.9%
1190	その他の中枢神経系用薬	2	3.8%
2320	消化性潰瘍剤	5	9.4%
2520	生殖器官用剤(性病予防剤を含む)	1	1.9%
2640	鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤、外皮用薬	1	1.9%
3990	他に分類されない代謝性医薬品	1	1.9%
6130	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	1	1.9%
6250	抗ウイルス剤	1	1.9%
	上記分類に含まれないもの	9	17.0%
	使用薬剤の合計	53	
	利用者数	41	100.0%

IV. 時系列による服薬状況について

1. 薬剤別の服薬の変化について

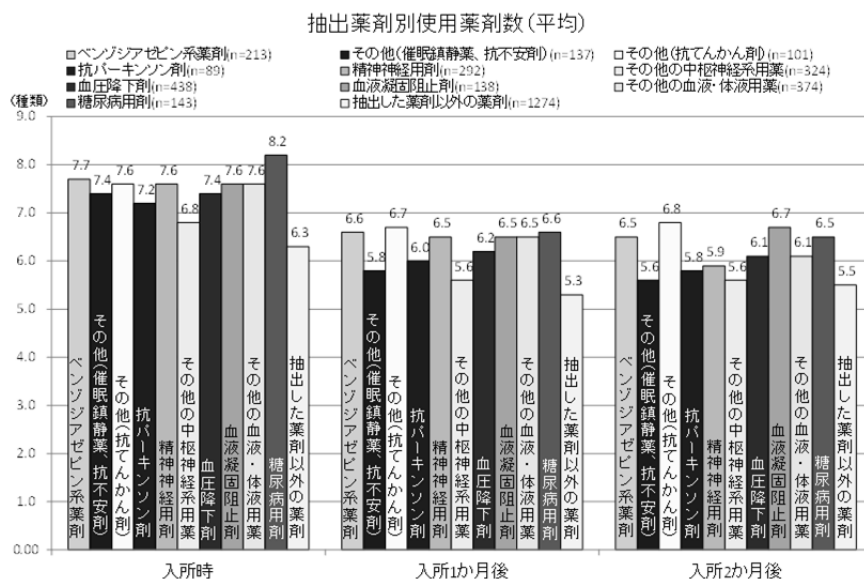
(1) 服薬数の変化について

入所時から入所1か月後、入所2か月後における使用薬剤数（服薬の種類数）をみると、全体としては、入所時の平均は5.89種類、入所1か月後では5.05種類、入所2か月後では5.35種類と、服用した薬剤の種類数は入所時から1か月後に一旦下がった後、2か月後に若干増加した。ただし、入所時と比較すると、2か月後の薬剤数は減少した。



さらに、薬剤の服薬状況については、特に高血圧症、心房細動、脳梗塞、アルツハイマー型認知症、パーキンソン病、糖尿病の薬剤に着目して分析を行った。

利用者が服用している薬剤のカテゴリー別にみると、入所時には「糖尿病用剤」を服用している利用者の服用数（種類）が8.2種類、同様に「ベンゾジアゼピン系薬剤」を服用している利用者の服用数（種類）が7.7種類と多くなった。なお、服用薬については多重回答となるため、注意を要する。



入所時点薬剤数(内服) × 薬剤(入所時)

	上段度数		入所時点薬剤数(内服)												平均(種類)	
	下段%	全体	0種類	1種類	2種類	3種類	4種類	5種類	6種類	7種類	8種類	9種類	10種類	11種類		12種類
全体	1375	42	1375	57	102	136	159	160	164	144	125	85	64	54	83	5.89
1124ベンゾジアゼピン系	213	3.1	213	4.1	7.4	9.9	11.6	11.6	11.9	10.5	9.1	6.2	4.7	3.9	6.0	7.69
薬剤	100.0	-	100.0	-	1.9	1.4	6.1	5.2	10.8	12.7	14.1	6.6	8.9	7.5	9.4	15.5
1129その他(催眠鎮静薬、抗不安剤)	137	-	137	-	1	3	6	11	14	24	17	15	9	8	13	7.43
1139その他(抗てんかん剤)	101	-	101	-	7	3	8	8	19	8	6	5	10	7	11	7.57
1160抗パーキンソン剤	89	-	89	-	1	2	11	5	9	13	7	7	11	9	5	7.17
1170精神神経用剤	292	-	292	-	5	5	11	19	34	37	34	32	32	24	23	7.61
1190その他の中枢神経系用薬	324	-	324	-	1.7	1.7	3.8	6.5	11.6	12.7	11.6	11.0	11.0	8.2	7.9	12.3
2140血圧降下剤	438	-	438	-	2.5	4.3	7.7	13.3	10.8	11.4	9.9	11.4	6.2	6.5	7.1	6.76
3330血液凝固阻剤	138	-	138	-	11	28	35	35	61	63	51	41	37	32	44	7.43
3390その他の血液・体液用薬	374	-	374	-	2	2	5	11	15	16	20	16	7	14	13	7.64
3960糖尿病用剤	143	-	143	-	2	2	11	10	14	14	28	13	16	9	24	8.21
抽出した薬剤以外の薬剤	1274	-	1274	-	31	89	127	153	156	163	144	125	85	64	54	6.25
	100.0	-	100.0	-	2.4	7.0	10.0	12.0	12.2	12.8	11.3	9.8	6.7	5.0	4.2	6.5

1か月後薬剤数(内服) × 薬剤(入所時)

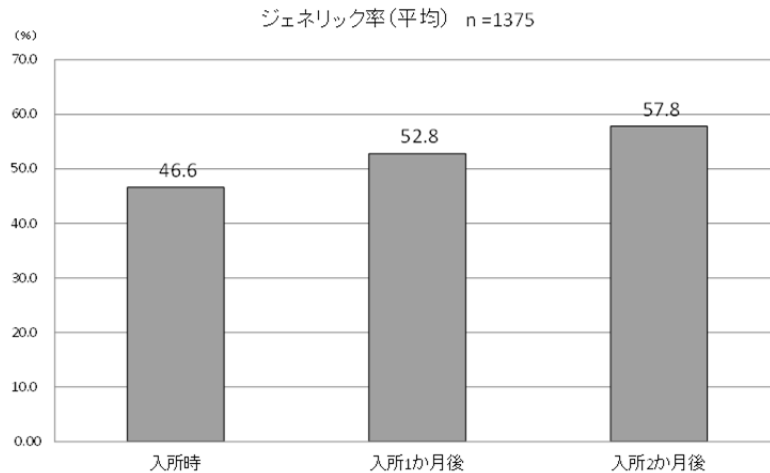
	上段度数		1か月後薬剤数(内服)												平均(種類)	
	下段%	全体	0種類	1種類	2種類	3種類	4種類	5種類	6種類	7種類	8種類	9種類	10種類	11種類		12種類
全体	1375	124	1375	74	109	140	165	169	165	133	105	76	32	35	48	5.05
1124ベンゾジアゼピン系	213	11	213	4	7	12	20	22	34	31	15	16	4	16	21	6.56
薬剤	100.0	5.2	100.0	1.9	3.3	5.6	9.4	10.3	16.0	14.6	7.0	7.5	1.9	7.5	9.9	5.78
1129その他(催眠鎮静薬、抗不安剤)	137	12	137	2	5	6	19	21	23	12	11	11	-	8	7	6.68
1139その他(抗てんかん剤)	101	7	101	1	5	4	10	14	12	7	9	5	6	8	13	6.01
1160抗パーキンソン剤	89	9	89	1	3	5	8	12	9	13	9	10	2	2	6	6.54
1170精神神経用剤	292	18	292	6	5	16	28	34	35	39	26	34	13	19	19	5.85
1190その他の中枢神経系用薬	324	22	324	16	23	26	34	32	38	38	36	21	9	15	14	6.24
2140血圧降下剤	438	27	438	11	16	25	42	57	58	57	45	30	17	23	30	6.46
3330血液凝固阻剤	138	13	138	1	2	6	14	17	17	16	16	8	6	10	12	6.48
3390その他の血液・体液用薬	374	22	374	3	6	23	40	41	53	48	50	31	11	20	26	6.55
3960糖尿病用剤	143	16	143	-	6	3	11	11	15	21	20	11	10	7	12	5.30
抽出した薬剤以外の薬剤	1274	94	1274	45	97	128	158	163	165	132	103	75	31	35	48	5.30
	100.0	7.4	100.0	3.5	7.6	10.0	12.4	12.8	13.0	10.4	8.1	5.9	2.4	2.7	3.8	5.30

2か月後薬剤数(内服) × 薬剤(入所時)

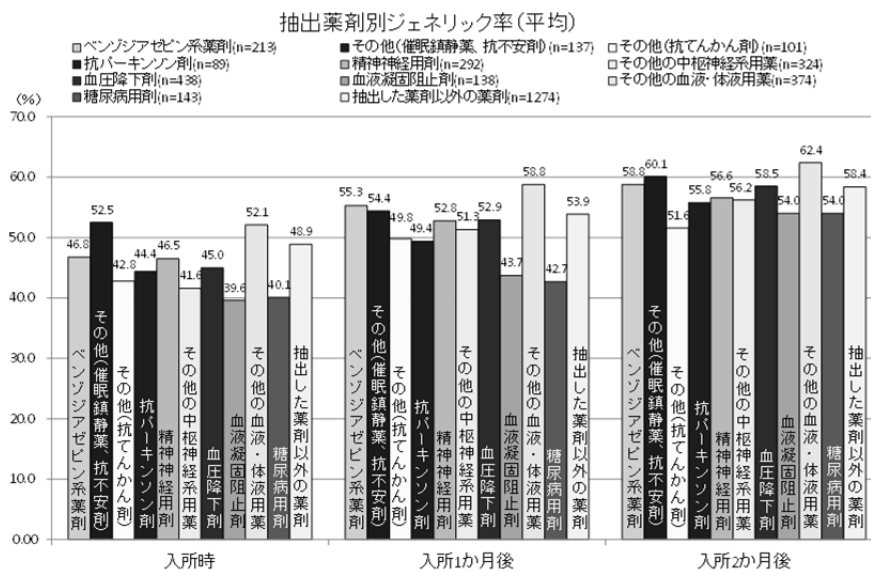
	上段度数		2か月後薬剤数(内服)												平均(種類)	
	下段%	全体	0種類	1種類	2種類	3種類	4種類	5種類	6種類	7種類	8種類	9種類	10種類	11種類		12種類
全体	1375	48	1375	70	113	172	165	191	161	145	107	69	48	36	50	5.35
1124ベンゾジアゼピン系	213	3	213	7	7	19	21	26	36	25	17	12	10	12	18	6.46
薬剤	100.0	1.4	100.0	3.3	3.3	8.9	9.9	12.2	16.9	11.7	8.0	5.6	4.7	5.6	8.5	6.46
1129その他(催眠鎮静薬、抗不安剤)	137	4	137	8	11	17	22	19	15	12	7	4	4	4	6	5.61
1139その他(抗てんかん剤)	101	3	101	2	4	9	5	10	12	18	8	9	4	5	12	6.82
1160抗パーキンソン剤	89	3	89	4	6	13	6	12	10	10	6	8	2	2	7	5.79
1170精神神経用剤	292	10	292	7	16	30	32	43	36	37	30	16	14	11	10	5.86
1190その他の中枢神経系用薬	324	10	324	15	27	36	39	39	43	26	29	22	9	10	19	5.64
2140血圧降下剤	438	9	438	16	29	36	47	58	55	51	45	32	19	18	23	6.07
3330血液凝固阻剤	138	3	138	3	1	10	12	23	21	15	16	6	5	14	9	6.69
3390その他の血液・体液用薬	374	8	374	12	16	36	46	50	42	50	40	24	19	11	20	6.08
3960糖尿病用剤	143	4	143	5	4	10	17	15	15	24	13	11	9	6	10	6.45
抽出した薬剤以外の薬剤	1274	37	1274	58	98	159	152	182	150	138	103	67	45	36	49	5.48
	100.0	2.9	100.0	4.6	7.7	12.5	11.9	14.3	11.8	10.8	8.1	5.3	3.5	2.8	3.8	5.48

(2) ジェネリック薬の利用状況について

入所時から入所1か月後、入所2か月後における全薬剤の内のジェネリック薬の利用割合（以下、ジェネリック率）をみると、入所時の平均は46.6%、入所1か月後では52.8%、入所2か月後では57.8%と、ジェネリック率は時期を追って増加した。



薬剤のカテゴリ別にみると、「その他（抗てんかん剤）」、「糖尿病用剤」「血液凝固阻止剤」等のジェネリック率が全体と比較してやや低いが、いずれの薬剤のジェネリック率も増加傾向にあり、2か月後には抽出した薬剤のジェネリック率はすべて5割を超えた。



入所時点ジェネリック率(内服) × 薬剤(入所時)

上段:度数 下段:%	入所時点ジェネリック率(内服)									平均(%)
	全体	0%	10%未満	10%以上 25%未満	25%以上 50%未満	50%以上 75%未満	75%以上 100%未満	100%		
全体	1375 100.0	186 13.5	9 0.7	120 8.7	342 24.9	445 32.4	144 10.5	129 9.4	46.6	
1124ベンゾジアゼピン系 薬剤	213 100.0	18 8.5	4 1.9	28 13.1	61 28.6	64 30.0	27 12.7	11 5.2	46.8	
1129その他(催眠鎮静 薬、抗不安剤)	137 100.0	7 5.1	-	15 10.9	37 27.0	42 30.7	27 19.7	9 6.6	52.5	
1139その他(抗てんかん 剤)	101 100.0	6 5.9	1 1.0	12 11.9	38 37.6	35 34.7	6 5.9	3 3.0	42.8	
1160抗パーキンソン剤	89 100.0	4 4.5	3 3.4	16 18.0	27 30.3	24 27.0	10 11.2	5 5.6	44.4	
1170精神神経用剤	292 100.0	22 7.5	4 1.4	33 11.3	88 30.1	98 33.6	31 10.6	16 5.5	46.5	
1190その他の中枢神経 系用薬	324 100.0	46 14.2	6 1.9	39 12.0	88 27.2	94 29.0	37 11.4	14 4.3	41.6	
2140血圧降下剤	438 100.0	40 9.1	4 0.9	56 12.8	124 28.3	148 33.8	50 11.4	16 3.7	45.0	
3330血液凝固阻防止剤	138 100.0	10 7.2	2 1.4	21 15.2	51 37.0	47 34.1	7 5.1	-	39.6	
3390その他の血液・体液 用薬	374 100.0	14 3.7	4 1.1	37 9.9	98 26.2	140 37.4	52 13.9	29 7.8	52.1	
3960糖尿病用剤	143 100.0	13 9.1	2 1.4	20 14.0	49 34.3	47 32.9	11 7.7	1 0.7	40.1	
抽出した薬剤以外の薬剤	1274 100.0	112 8.8	9 0.7	118 9.3	337 26.5	436 34.2	143 11.2	119 9.3	48.9	

1か月後ジェネリック率(内服) × 薬剤(入所時)

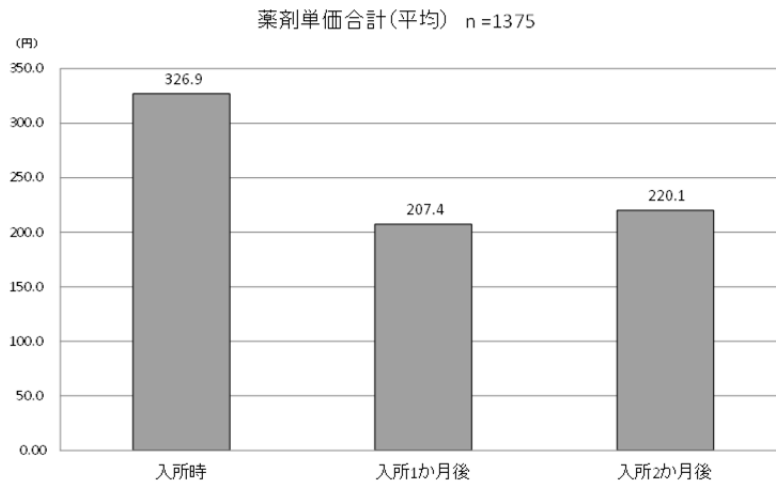
上段:度数 下段:%	1か月後ジェネリック率(内服)									平均(%)
	全体	0%	10%未満	10%以上 25%未満	25%以上 50%未満	50%以上 75%未満	75%以上 100%未満	100%		
全体	1375 100.0	222 16.1	1 0.1	72 5.2	225 16.4	434 31.6	213 15.5	208 15.1	52.8	
1124ベンゾジアゼピン系 薬剤	213 100.0	22 10.3	-	15 7.0	40 18.8	71 33.3	41 19.2	24 11.3	55.3	
1129その他(催眠鎮静 薬、抗不安剤)	137 100.0	16 11.7	-	9 6.6	25 18.2	42 30.7	29 21.2	16 11.7	54.4	
1139その他(抗てんかん 剤)	101 100.0	11 10.9	-	8 7.9	22 21.8	37 36.6	17 16.8	6 5.9	49.8	
1160抗パーキンソン剤	89 100.0	11 12.4	1 1.1	5 5.6	22 24.7	29 32.6	16 18.0	5 5.6	49.4	
1170精神神経用剤	292 100.0	32 11.0	-	23 7.9	56 19.2	105 36.0	48 16.4	28 9.6	52.8	
1190その他の中枢神経 系用薬	324 100.0	46 14.2	1 0.3	22 6.8	65 20.1	101 31.2	48 14.8	41 12.7	51.3	
2140血圧降下剤	438 100.0	56 12.8	1 0.2	37 8.4	66 15.1	152 34.7	78 17.8	48 11.0	52.9	
3330血液凝固阻防止剤	138 100.0	22 15.9	-	12 8.7	34 24.6	46 33.3	23 16.7	1 0.7	43.7	
3390その他の血液・体液 用薬	374 100.0	31 8.3	1 0.3	22 5.9	62 16.6	119 31.8	87 23.3	52 13.9	58.8	
3960糖尿病用剤	143 100.0	27 18.9	-	14 9.8	32 22.4	45 31.5	19 13.3	6 4.2	42.7	
抽出した薬剤以外の薬剤	1274 100.0	173 13.6	1 0.1	71 5.6	216 17.0	424 33.3	206 16.2	183 14.4	53.9	

2か月後ジェネリック率(内服) × 薬剤(入所時)

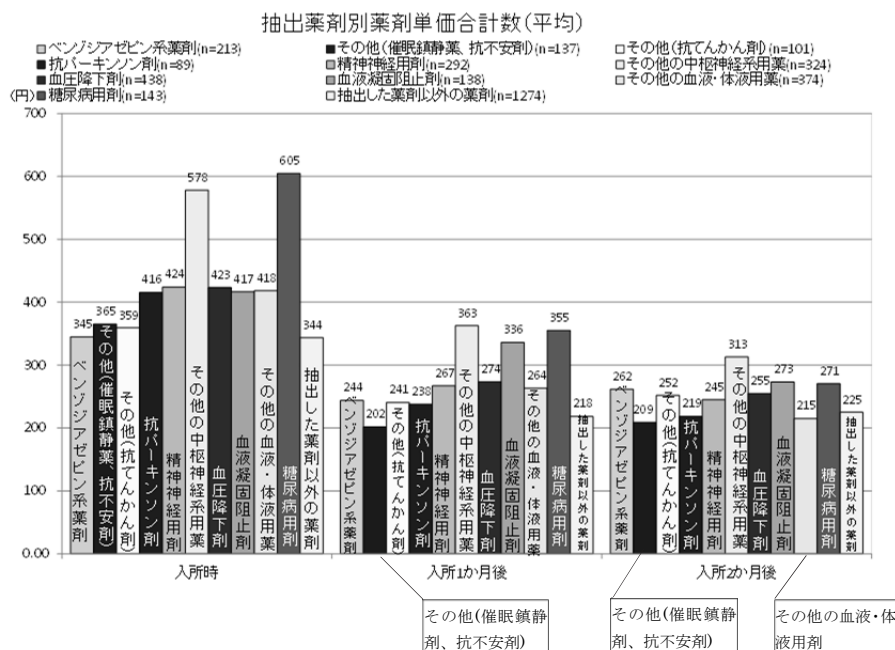
上段:度数 下段:%	2か月後ジェネリック率(内服)									平均(%)
	全体	0%	10%未満	10%以上 25%未満	25%以上 50%未満	50%以上 75%未満	75%以上 100%未満	100%		
全体	1375 100.0	143 10.4	3 0.2	64 4.7	217 15.8	465 33.8	247 18.0	236 17.2	57.8	
1124ベンゾジアゼピン系 薬剤	213 100.0	15 7.0	2 0.9	12 5.6	36 16.9	73 34.3	47 22.1	28 13.1	58.8	
1129その他(催眠鎮静 薬、抗不安剤)	137 100.0	10 7.3	-	10 7.3	26 19.0	37 27.0	26 19.0	28 20.4	60.1	
1139その他(抗てんかん 剤)	101 100.0	9 8.9	-	6 5.9	24 23.8	38 37.6	20 19.8	4 4.0	51.6	
1160抗パーキンソン剤	89 100.0	5 5.6	1 1.1	5 5.6	22 24.7	31 34.8	13 14.6	12 13.5	55.8	
1170精神神経用剤	292 100.0	26 8.9	-	20 6.8	45 15.4	113 38.7	48 16.4	40 13.7	56.6	
1190その他の中枢神経 系用薬	324 100.0	39 12.0	2 0.6	10 3.1	50 15.4	119 36.7	58 17.9	46 14.2	56.2	
2140血圧降下剤	438 100.0	39 8.9	1 0.2	23 5.3	67 15.3	154 35.2	86 19.6	68 15.5	58.5	
3330血液凝固阻防止剤	138 100.0	13 9.4	-	9 6.5	30 21.7	45 32.6	32 23.2	9 6.5	54.0	
3390その他の血液・体液 用薬	374 100.0	25 6.7	1 0.3	17 4.5	55 14.7	124 33.2	82 21.9	70 18.7	62.4	
3960糖尿病用剤	143 100.0	15 10.5	-	10 7.0	22 15.4	58 40.6	26 18.2	12 8.4	54.0	
抽出した薬剤以外の薬剤	1274 100.0	118 9.3	3 0.2	62 4.9	203 15.9	440 34.5	229 18.0	219 17.2	58.4	

(3) 薬価について

入所時から入所1か月後、入所2か月後における利用者一人あたりの薬価(服用薬剤の単価の合計)をみると、入所時の平均は326.9円、入所1か月後では207.4円、入所2か月後では220.1円と、薬価は入所時から1か月後に一旦下がった後、2か月後に若干増加した。



薬剤のカテゴリー別にみると、入所時に服薬していた薬剤が「糖尿病用剤」(605円)、と「その他の中枢神経系用薬」(578円)の利用者の薬価が他の薬剤利用者と比較して高いが、1か月後、2か月後との減少の幅は他と比較して大きくなった。なお、利用者一人あたりの薬価は、全体としては1か月後に大きく減少し、2か月後に若干増える傾向がみられたが、「ベンゾジアゼピン系薬剤」、「その他(催眠鎮静薬、抗不安剤)」、「その他(抗てんかん剤)」、「抽出した薬剤以外の薬剤」以外は、1か月後、2か月後とも薬価が減少した。



入所時点単価合計(内服) × 薬剤(入所時)

上段:度数		入所時点単価合計(内服)								平均(円)
下段:%	全体	0円	100円未満	100円以上 300円未満	300円以上 500円未満	500円以上 800円未満	800円以上 1000円未満	1000円以上		
薬剤(入所時)	全体	1375 100.0	50 3.6	380 27.6	444 32.3	271 19.7	126 9.2	41 3.0	63 4.6	326.9
	1124ベンゾジアゼピン系 薬剤	213 100.0	-	48 22.5	70 32.9	46 21.6	31 14.6	7 3.3	11 5.2	345.0
	1129その他(催眠鎮静 薬、抗不安剤)	137 100.0	-	20 14.6	55 40.1	35 25.5	12 8.8	10 7.3	5 3.6	365.1
	1139その他(抗てんかん 剤)	101 100.0	-	24 23.8	36 35.6	21 20.8	14 13.9	3 3.0	3 3.0	359.2
	1160抗パーキンソン剤	89 100.0	-	17 19.1	32 36.0	16 18.0	15 16.9	2 2.2	7 7.9	415.5
	1170精神神経用剤	292 100.0	-	45 15.4	92 31.5	83 28.4	39 13.4	16 5.5	17 5.8	424.1
	1190その他の中枢神経 系用薬	324 100.0	-	14 4.3	80 24.7	105 32.4	71 21.9	21 6.5	33 10.2	578.2
	2140血圧降下剤	438 100.0	-	58 13.2	148 33.8	126 28.8	64 14.6	19 4.3	23 5.3	423.4
	3330血液凝固阻剤	138 100.0	-	24 17.4	48 34.8	29 21.0	17 12.3	12 8.7	8 5.8	417.0
	3390その他の血液・体液 用薬	374 100.0	-	64 17.1	122 32.6	95 25.4	54 14.4	16 4.3	23 6.1	418.4
	3960糖尿病用剤	143 100.0	-	7 4.9	42 29.4	42 29.4	28 19.6	11 7.7	13 9.1	604.7
	抽出した薬剤以外の薬剤	1274 100.0	1 0.1	356 27.9	430 33.8	263 20.6	124 9.7	39 3.1	61 4.8	343.9

1か月後単価合計(内服) × 薬剤(入所時)

上段:度数		1か月後単価合計(内服)								平均(円)
下段:%	全体	0円	100円未満	100円以上 300円未満	300円以上 500円未満	500円以上 800円未満	800円以上 1000円未満	1000円以上		
薬剤(入所時)	全体	1375 100.0	135 9.8	543 39.5	404 29.4	168 12.2	76 5.5	25 1.8	24 1.7	207.4
	1124ベンゾジアゼピン系 薬剤	213 100.0	11 5.2	76 35.7	70 32.9	30 14.1	16 7.5	6 2.8	4 1.9	243.9
	1129その他(催眠鎮静 薬、抗不安剤)	137 100.0	13 9.5	43 31.4	52 38.0	16 11.7	6 4.4	6 4.4	1 0.7	201.9
	1139その他(抗てんかん 剤)	101 100.0	7 6.9	34 33.7	35 34.7	14 13.9	8 7.9	2 2.0	1 1.0	240.6
	1160抗パーキンソン剤	89 100.0	9 10.1	28 31.5	28 31.5	10 11.2	9 10.1	2 2.2	3 3.4	238.0
	1170精神神経用剤	292 100.0	18 6.2	87 29.8	95 32.5	49 16.8	26 8.9	12 4.1	5 1.7	267.0
	1190その他の中枢神経 系用薬	324 100.0	25 7.7	72 22.2	96 29.6	65 20.1	39 12.0	12 3.7	15 4.6	362.6
	2140血圧降下剤	438 100.0	29 6.6	124 28.3	153 34.9	79 18.0	36 8.2	10 2.3	7 1.6	273.6
	3330血液凝固阻剤	138 100.0	13 9.4	42 30.4	43 31.2	16 11.6	11 8.0	8 5.8	5 3.6	336.1
	3390その他の血液・体液 用薬	374 100.0	22 5.9	118 31.6	128 34.2	58 15.5	30 8.0	10 2.7	8 2.1	263.5
	3960糖尿病用剤	143 100.0	16 11.2	17 11.9	53 37.1	28 19.6	19 13.3	6 4.2	4 2.8	355.4
	抽出した薬剤以外の薬剤	1274 100.0	98 7.7	505 39.6	381 29.9	167 13.1	75 5.9	25 2.0	23 1.8	218.4

2か月後単価合計(内服) × 薬剤(入所時)

上段:度数		2か月後単価合計(内服)								平均(円)
下段:%	全体	0円	100円未満	100円以上 300円未満	300円以上 500円未満	500円以上 800円未満	800円以上 1000円未満	1000円以上		
薬剤(入所時)	全体	1375 100.0	58 4.2	592 43.1	410 29.8	179 13.0	85 6.2	22 1.6	29 2.1	220.1
	1124ベンゾジアゼピン系 薬剤	213 100.0	4 1.9	80 37.6	66 31.0	32 15.0	18 8.5	9 4.2	4 1.9	261.5
	1129その他(催眠鎮静 薬、抗不安剤)	137 100.0	5 3.6	56 40.9	48 35.0	18 13.1	6 4.4	1 0.7	3 2.2	209.0
	1139その他(抗てんかん 剤)	101 100.0	3 3.0	40 39.6	27 26.7	17 16.8	10 9.9	1 1.0	3 3.0	252.1
	1160抗パーキンソン剤	89 100.0	3 3.4	36 40.4	27 30.3	13 14.6	6 6.7	2 2.2	2 2.2	218.6
	1170精神神経用剤	292 100.0	10 3.4	115 39.4	89 30.5	40 13.7	23 7.9	8 2.7	7 2.4	244.9
	1190その他の中枢神経 系用薬	324 100.0	12 3.7	104 32.1	100 30.9	56 17.3	30 9.3	9 2.8	13 4.0	313.1
	2140血圧降下剤	438 100.0	12 2.7	148 33.8	150 34.2	74 16.9	38 8.7	8 1.8	8 1.8	255.2
	3330血液凝固阻剤	138 100.0	4 2.9	50 36.2	39 28.3	23 16.7	15 10.9	5 3.6	2 1.4	273.3
	3390その他の血液・体液 用薬	374 100.0	10 2.7	152 40.6	119 31.8	50 13.4	33 8.8	4 1.1	6 1.6	215.1
	3960糖尿病用剤	143 100.0	5 3.5	36 25.2	54 37.8	28 19.6	17 11.9	2 1.4	1 0.7	270.8
	抽出した薬剤以外の薬剤	1274 100.0	44 3.5	541 42.5	388 30.5	170 13.3	83 6.5	21 1.6	27 2.1	225.0

※薬価については、同一の薬剤で容量・用法が共通でも、製薬会社によって異なる場合がある。そのため、今回の調査のマッチングにおいては、最安値の価格で分析した。

※なお、今回の分析においては、薬価についてはあくまでも単価ベースで分析しており、薬の種別による減薬効果についてはある程度把握できたが、投与数(3錠を2錠に減らす等)や用法等による変化をみることはできていない。そのため、実際の1日薬価とは異なる。

2.利用者の疾患による服薬状況について

(1) 利用者の疾患別薬剤別の服薬数の変化について

利用者の入所時の疾患別に疾患に応じた薬剤の服薬の状況を見ると、アルツハイマー型認知症の利用者について、疾患に応じた薬剤である「1124 ベンゾジアゼピン系薬剤」、「1129 その他（催眠鎮静薬、抗不安剤）」、「1139 その他（抗てんかん剤）」「1170 精神神経用剤」の使用割合は、入所時から1か月後に減少し、2か月後に増加している（「1190 その他の中枢神経系用薬」は2か月連続で減少）。一方、パーキンソン病の利用者に対する「1160 抗パーキンソン剤」、高血圧症の利用者に対する「2140 血圧降下剤」、糖尿病の利用者に対する「3960 糖尿病用剤」については、入所時から1か月後、2か月後連続で服薬している割合が減少した。なお、「3390 その他の血液・体液用薬」については、脳梗塞の疾患がある利用者においては2か月連続で減少しているが、心房細動の利用者においては、1か月後に減少し、2か月後に増加して、入所時よりも服用割合が高くなった。なお、利用者の疾患については、多重回答となるため、注意を要する。

入所時抽出薬剤の項目 × 入所時の疾患

上段:度数		入所時抽出薬剤の項目												
下段:%	全体	1124ベンゾジアゼピン系薬剤	1129その他(催眠鎮静薬、抗不安剤)	1139その他(抗てんかん剤)	1160抗パーキンソン剤	1170精神神経用剤	1190その他の中枢神経系用薬	2140血圧降下剤	3330血液凝固阻剤	3390その他の血液・体液用薬	3960糖尿病用剤	抽出した薬剤以外の薬剤	無回答	
入所時の疾患	全体	1375 100.0	213 15.5	137 10.0	101 7.3	89 6.5	292 21.2	324 23.6	438 31.9	138 10.0	374 27.2	143 10.4	1274 92.7	49 3.6
	[Q2-7]高血圧症	781 100.0	121 15.5	79 10.1	41 5.2	29 3.7	161 20.6	188 24.1	363 46.5	84 10.8	235 30.1	96 12.3	750 96.0	19 2.4
	[Q2-8]心房細動	164 100.0	21 12.8	15 9.1	12 7.3	10 6.1	30 18.3	31 18.9	72 43.9	88 53.7	45 27.4	24 14.6	159 97.0	1 0.6
	[Q2-9]脳梗塞	392 100.0	47 12.0	44 11.2	34 8.7	30 7.7	63 16.1	63 16.1	140 35.7	69 17.6	196 50.0	53 13.5	374 95.4	12 3.1
	[Q2-11]アルツハイマー型認知症	417 100.0	54 12.9	31 7.4	21 5.0	23 5.5	95 22.8	180 43.2	125 30.0	32 7.7	100 24.0	34 8.2	363 87.1	22 5.3
	[Q2-12]パーキンソン病	73 100.0	11 15.1	8 11.0	7 9.6	42 57.5	17 23.3	15 20.5	15 2.7	2 2.7	19 26.0	7 9.6	69 94.5	2 2.7
	[Q2-13]糖尿病	232 100.0	34 14.7	24 10.3	15 6.5	16 6.9	44 19.0	52 22.4	112 48.3	32 13.8	91 39.2	141 60.8	222 95.7	5 2.2
	いずれもなし	222 100.0	41 18.5	30 13.5	22 9.9	8 3.6	55 24.8	38 17.1	25 11.3	9 4.1	29 13.1	1 0.5	201 90.5	10 4.5

1か月後抽出薬剤の項目 × 入所時の疾患

上段:度数		1か月後抽出薬剤の項目												
下段:%	全体	1124ベンゾジアゼピン系薬剤	1129その他(催眠鎮静薬、抗不安剤)	1139その他(抗てんかん剤)	1160抗パーキンソン剤	1170精神神経用剤	1190その他の中枢神経系用薬	2140血圧降下剤	3330血液凝固阻剤	3390その他の血液・体液用薬	3960糖尿病用剤	抽出した薬剤以外の薬剤	無回答	
入所時の疾患	全体	1375 100.0	194 14.1	107 7.8	101 7.3	81 5.9	282 20.5	246 17.9	381 27.7	119 8.7	346 25.2	126 9.2	1190 86.5	132 9.6
	[Q2-7]高血圧症	781 100.0	102 13.1	65 8.3	46 5.9	27 3.5	153 19.6	143 18.3	319 40.8	80 10.2	218 27.9	84 10.8	700 89.6	58 7.4
	[Q2-8]心房細動	164 100.0	19 11.6	13 7.9	11 6.7	10 6.1	30 18.3	22 13.4	64 39.0	71 43.3	43 26.2	19 11.6	145 88.4	13 7.9
	[Q2-9]脳梗塞	392 100.0	39 9.9	40 10.2	34 8.7	26 6.6	61 15.6	46 11.7	122 31.1	60 15.3	183 46.7	48 12.2	349 89.0	33 8.4
	[Q2-11]アルツハイマー型認知症	417 100.0	43 10.3	23 5.5	20 4.8	18 4.3	87 20.9	131 31.4	98 23.5	28 6.7	89 21.3	26 6.2	340 81.5	50 12.0
	[Q2-12]パーキンソン病	73 100.0	12 16.4	6 8.2	7 9.6	41 56.2	21 28.8	9 12.3	10 13.7	1 1.4	17 23.3	7 9.6	65 89.0	5 6.8
	[Q2-13]糖尿病	232 100.0	28 12.1	16 6.9	16 6.9	15 6.5	41 17.7	44 19.0	100 43.1	25 10.8	83 35.8	124 53.4	204 87.9	23 9.9
	いずれもなし	222 100.0	41 18.5	21 9.5	22 9.9	8 3.6	52 23.4	31 14.0	21 9.5	8 3.6	27 12.2	1 0.5	188 84.7	24 10.8

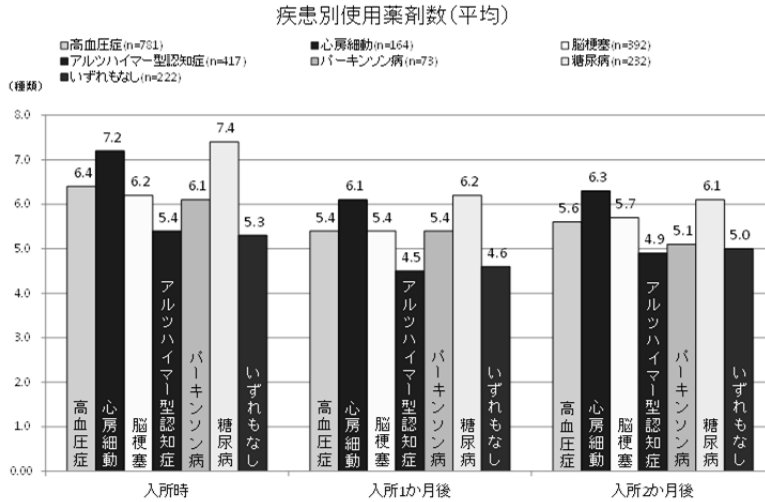
2か月後抽出薬剤の項目 × 入所時の疾患

上段:度数		2か月後抽出薬剤の項目												
下段:%	全体	1124ベンゾジアゼピン系薬剤	1129その他(催眠鎮静薬、抗不安剤)	1139その他(抗てんかん剤)	1160抗パーキンソン剤	1170精神神経用剤	1190その他の中枢神経系用薬	2140血圧降下剤	3330血液凝固阻剤	3390その他の血液・体液用薬	3960糖尿病用剤	抽出した薬剤以外の薬剤	無回答	
入所時の疾患	全体	1375 100.0	198 14.4	120 8.7	108 7.9	85 6.2	289 21.0	254 18.5	402 29.2	136 9.9	357 26.0	139 10.1	1269 92.3	54 3.9
	[Q2-7]高血圧症	781 100.0	99 12.7	73 9.3	51 6.5	35 4.5	161 20.6	146 18.7	296 37.9	77 9.9	211 27.0	88 11.3	732 93.7	22 2.8
	[Q2-8]心房細動	164 100.0	25 15.2	11 6.7	12 7.3	10 6.1	40 24.4	26 15.9	66 40.2	46 28.0	52 31.7	27 16.5	152 92.7	7 4.3
	[Q2-9]脳梗塞	392 100.0	47 12.0	49 12.5	34 8.7	30 7.7	89 22.7	70 17.9	129 32.9	51 13.0	145 37.0	41 10.5	368 93.9	14 3.6
	[Q2-11]アルツハイマー型認知症	417 100.0	54 12.9	30 7.2	24 5.8	22 5.3	88 21.1	110 26.4	109 26.1	40 9.6	97 23.3	36 8.6	372 89.2	17 4.1
	[Q2-12]パーキンソン病	73 100.0	13 17.8	2 2.7	7 9.6	29 39.7	16 21.9	12 16.4	11 15.1	5 6.8	18 24.7	8 11.0	66 90.4	4 5.5
	[Q2-13]糖尿病	232 100.0	29 12.5	22 9.5	13 5.6	18 7.8	47 20.3	44 19.0	87 37.5	30 12.9	79 34.1	92 39.7	215 92.7	7 3.0
	いずれもなし	222 100.0	39 17.6	19 8.6	19 8.6	10 4.5	41 18.5	29 13.1	36 16.2	14 6.3	39 17.6	7 3.2	201 90.5	16 7.2

※ は症状に対して有効な薬剤

(2) 利用者の疾患別服薬数の変化について

利用者の疾患別に服薬数（種類数）をみると、「心房細動」と「糖尿病」の利用者の服薬する種類数が、抽出した疾患の中で比較的多く、入所から1か月後の服薬種類数、2か月後の服薬種類数とも他の疾患と比較して多かった。



疾患	上段:度数 下段:%	入所時薬剤数(内服)												平均
		全体	0種類	1種類	2種類	3種類	4種類	5種類	6種類	7種類	8種類	9種類	10種類	
全体	1375 100.0	42 3.1	57 4.1	102 7.4	136 9.9	159 11.6	160 11.6	164 11.9	144 10.5	125 9.1	85 6.2	64 4.7	54 3.9	83 6.0
[Q2-7]高血圧症	781 100.0	17 2.2	14 1.8	44 5.6	70 9.0	81 10.4	85 10.9	101 12.9	96 12.3	89 11.4	50 6.4	49 6.3	30 3.8	55 7.0
[Q2-8]心房細動	164 100.0	1 0.6	3 1.8	5 3.0	9 5.5	11 6.7	22 13.4	21 12.8	23 14.0	14 8.5	10 6.1	14 8.5	13 7.9	18 11.0
[Q2-9]脳梗塞	392 100.0	9 2.3	13 3.3	21 5.4	33 8.4	41 10.5	58 14.8	42 10.7	48 12.2	40 10.2	24 6.1	24 6.1	15 3.8	24 6.1
[Q2-11]アルツハイマー型認知症	417 100.0	19 4.6	26 6.2	33 7.9	52 12.5	51 12.2	41 9.8	47 11.3	33 7.9	40 9.6	27 6.5	23 5.5	12 2.9	13 3.1
[Q2-12]パーキンソン病	73 100.0	2 2.7	1 1.4	5 6.8	12 16.4	6 8.2	9 12.3	7 9.6	8 10.8	7 9.6	6 8.2	3 4.1	5 6.8	4 5.5
[Q2-13]糖尿病	232 100.0	4 1.7	3 1.3	8 3.4	13 5.6	15 6.5	21 9.1	20 8.6	27 11.6	38 16.4	19 8.2	20 8.6	13 5.6	31 13.4
いずれもなし	222 100.0	9 4.1	17 7.7	25 11.3	23 10.4	26 11.7	27 12.2	26 11.7	20 9.0	13 5.9	7 3.2	4 1.8	9 4.1	16 7.2

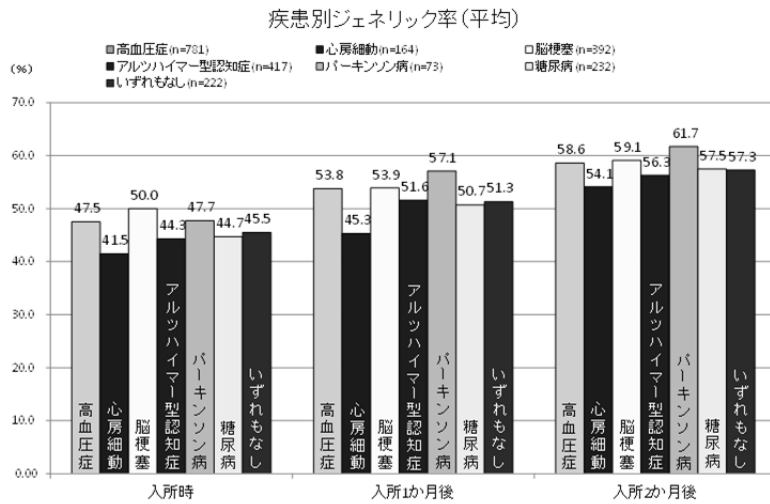
疾患	上段:度数 下段:%	1か月後薬剤数(内服)												平均
		全体	0種類	1種類	2種類	3種類	4種類	5種類	6種類	7種類	8種類	9種類	10種類	
全体	1375 100.0	124 9.0	74 5.4	109 7.9	140 10.2	165 12.0	169 12.3	165 12.0	133 9.7	105 7.6	76 5.5	32 2.3	35 2.5	48 3.5
[Q2-7]高血圧症	781 100.0	55 7.0	27 3.5	52 6.7	74 9.5	94 12.0	100 12.8	108 13.8	79 10.1	72 9.2	43 5.5	25 3.2	22 2.8	30 3.8
[Q2-8]心房細動	164 100.0	13 7.9	3 1.8	6 3.7	11 6.7	15 9.1	23 14.0	24 14.6	16 9.8	12 7.3	13 7.9	6 3.7	8 4.9	14 8.5
[Q2-9]脳梗塞	392 100.0	32 8.2	13 3.3	22 5.6	34 8.7	50 12.8	57 14.5	56 14.3	36 9.2	33 8.4	20 5.1	10 2.6	11 2.8	18 4.6
[Q2-11]アルツハイマー型認知症	417 100.0	46 11.0	37 8.9	37 8.9	49 11.8	48 11.5	47 11.3	44 10.6	36 8.6	30 7.2	26 6.2	7 1.7	5 1.2	5 1.2
[Q2-12]パーキンソン病	73 100.0	4 5.5	3 4.1	5 6.8	9 12.3	9 12.3	11 15.1	6 8.2	8 11.0	4 5.5	6 8.2	4 5.5	2 2.7	2 2.7
[Q2-13]糖尿病	232 100.0	23 9.9	5 2.2	12 5.2	9 3.9	17 7.3	22 9.5	25 10.8	30 12.9	31 13.4	15 6.5	16 6.9	13 5.6	14 6.0
いずれもなし	222 100.0	22 9.9	18 8.1	29 13.1	24 10.8	25 11.3	23 10.4	18 8.1	22 9.9	13 5.9	12 5.4	2 0.9	6 2.7	8 3.6

疾患	上段:度数 下段:%	2か月後薬剤数(内服)												平均
		全体	0種類	1種類	2種類	3種類	4種類	5種類	6種類	7種類	8種類	9種類	10種類	
全体	1375 100.0	48 3.5	70 5.1	113 8.2	172 12.5	165 12.0	191 13.9	161 11.7	145 10.5	107 7.8	69 5.0	48 3.5	36 2.6	50 3.6
[Q2-7]高血圧症	781 100.0	20 2.6	31 4.0	57 7.3	98 12.5	91 11.7	112 14.3	96 12.3	90 11.5	66 8.5	43 5.5	23 2.9	25 3.2	29 3.7
[Q2-8]心房細動	164 100.0	6 3.7	5 3.0	13 7.9	13 8.5	14 17.7	29 17.7	24 14.6	17 10.4	15 9.1	9 5.5	8 4.9	12 7.3	9 5.5
[Q2-9]脳梗塞	392 100.0	13 3.3	15 3.8	23 5.9	39 9.9	49 12.5	63 16.1	45 11.5	51 13.0	30 7.7	21 5.4	15 3.8	14 3.6	14 3.6
[Q2-11]アルツハイマー型認知症	417 100.0	14 3.4	31 7.4	47 11.3	52 12.5	55 13.2	54 12.9	46 11.0	44 10.6	28 6.7	19 4.6	9 2.2	5 1.2	13 3.1
[Q2-12]パーキンソン病	73 100.0	4 5.5	2 2.7	7 9.6	14 19.2	7 9.6	10 13.7	6 8.2	7 9.6	4 5.5	4 5.5	4 5.5	2 2.7	2 2.7
[Q2-13]糖尿病	232 100.0	7 3.0	6 2.6	11 4.7	18 7.8	34 14.7	26 11.2	26 11.2	32 13.8	22 9.5	15 6.5	14 6.0	8 3.4	13 5.6
いずれもなし	222 100.0	15 6.8	14 6.3	26 11.7	29 13.1	22 9.9	28 12.6	25 11.3	17 7.7	15 6.8	6 2.7	9 4.1	7 3.2	9 4.1

(3) 利用者の疾患別ジェネリック率の変化について

利用者の疾患別にジェネリック率をみると、利用者の疾患によって多少の差異はあるものの、傾向としては、入所時から1か月後、2か月後とジェネリック率は増加傾向がみられた。

なお、「パーキンソン病」の疾患がある利用者における入所2か月後ジェネリック率が他と比較して最も高かった。



入所時点ジェネリック率(内服) × 入所時の疾患

上段:度数 下段:%	入所時点ジェネリック率(内服)								平均	
	全体	0%	10%未満	10%以上 25%未満	25%以上 50%未満	50%以上 75%未満	75%以上 100%未満	100%		
全体	1375 100.0	222 13.5	186 0.7	9 0.7	120 8.7	342 24.9	445 32.4	144 10.5	129 9.4	46.6
【Q2-7】高血圧症	781 100.0	91 11.7	6 0.8	75 9.6	196 25.1	254 32.5	96 12.3	63 8.1	47.5	
【Q2-8】心房細動	164 100.0	19 11.6	2 1.2	18 11.0	58 35.4	51 31.1	8 4.9	8 4.9	41.5	
【Q2-9】脳梗塞	392 100.0	36 9.2	2 0.5	34 8.7	103 26.3	131 33.4	42 10.7	44 11.2	50.0	
【Q2-11】アルツハイマー型認知症	417 100.0	75 18.0	3 0.7	34 8.2	96 23.0	124 29.7	49 11.8	36 8.6	44.3	
【Q2-12】パーキンソン病	73 100.0	6 8.2	1 1.4	6 8.2	25 34.2	19 26.0	8 11.0	8 11.0	47.7	
【Q2-13】糖尿病	232 100.0	19 8.2	4 1.7	29 12.5	68 29.3	76 32.8	28 12.1	8 3.4	44.7	
いずれもなし	222 100.0	38 17.1	1 0.5	19 8.6	45 20.3	78 35.1	16 7.2	25 11.3	45.5	

1か月後ジェネリック率(内服) × 入所時の疾患

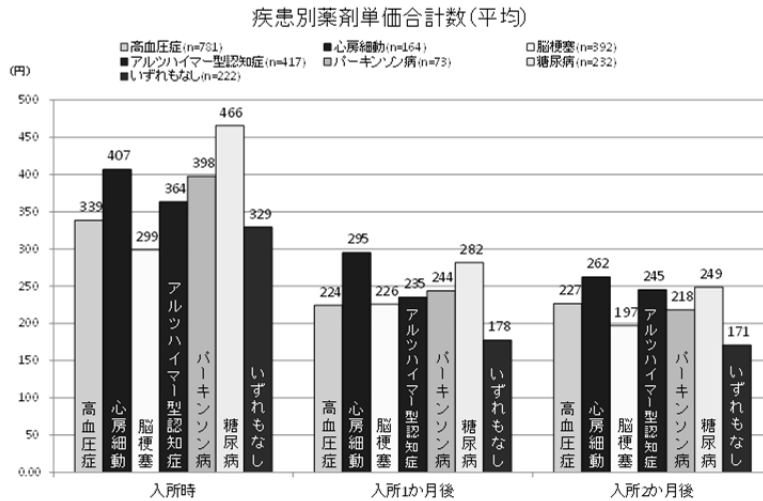
上段:度数 下段:%	1か月後ジェネリック率(内服)								平均
	全体	0%	10%未満	10%以上 25%未満	25%以上 50%未満	50%以上 75%未満	75%以上 100%未満	100%	
全体	1375 100.0	222 16.1	1 0.1	72 5.2	225 16.4	434 31.6	213 15.5	208 15.1	52.8
【Q2-7】高血圧症	781 100.0	108 13.8	1 0.1	52 6.7	126 16.1	252 32.3	129 16.5	113 14.5	53.8
【Q2-8】心房細動	164 100.0	29 17.7	-	13 7.9	35 21.3	56 34.1	23 14.0	8 4.9	45.3
【Q2-9】脳梗塞	392 100.0	60 15.3	1 0.3	21 5.4	58 14.8	123 31.4	71 18.1	58 14.8	53.9
【Q2-11】アルツハイマー型認知症	417 100.0	82 19.7	-	18 4.3	68 16.3	120 28.8	57 13.7	72 17.3	51.6
【Q2-12】パーキンソン病	73 100.0	7 9.6	-	1 1.4	14 19.2	28 38.4	15 20.5	8 11.0	57.1
【Q2-13】糖尿病	232 100.0	36 15.5	-	18 7.8	43 18.5	69 29.7	40 17.2	26 11.2	50.7
いずれもなし	222 100.0	42 18.9	-	9 4.1	35 15.8	73 32.9	25 11.3	38 17.1	51.3

2か月後ジェネリック率(内服) × 入所時の疾患

上段:度数		2か月後ジェネリック率(内服)								平均
下段:%		全体	0%	10%未満	10%以上 25%未満	25%以上 50%未満	50%以上 75%未満	75%以上 100%未満	100%	
入所時の疾患	全体	1375	143	3	64	217	465	247	236	57.8
	【Q2-7】高血圧症	781	77	2	36	127	254	146	139	58.6
	【Q2-8】心房細動	164	16	-	17	31	50	32	18	54.1
	【Q2-9】脳梗塞	392	36	1	16	60	134	84	61	59.1
	【Q2-11】アルツハイマー型認知症	417	57	1	14	68	132	67	78	56.3
	【Q2-12】パーキンソン病	73	5	-	-	15	25	14	14	61.7
	【Q2-13】糖尿病	232	20	-	14	35	87	46	30	57.5
	いずれもなし	222	28	-	10	27	80	36	41	57.3
		100.0	12.6	-	4.5	12.2	36.0	16.2	18.5	

(4) 利用者の疾患別薬価の変化について

全体としては、入所1か月後に減少し、2か月後に若干増加する傾向がみられる中で、利用者の疾患別にみると、高血圧症とアルツハイマー型認知症の疾患がある利用者以外の疾患の利用者においては、入所時から1か月後、2か月後と連続で薬価が減少した。



入所時点単価合計(内服) × 入所時の疾患

上段:度数		入所時点単価合計(内服)								平均
下段:%		全体	0円	100円未満	100円以上 300円未満	300円以上 500円未満	500円以上 800円未満	800円以上 1000円未満	1000円以上	
入所時の疾患	全体	1375	50	380	444	271	126	41	63	326.9
	【Q2-7】高血圧症	781	19	197	262	162	85	21	35	338.5
	【Q2-8】心房細動	164	1	31	60	31	19	11	11	407.0
	【Q2-9】脳梗塞	392	12	107	130	75	40	15	13	298.9
	【Q2-11】アルツハイマー型認知症	417	22	103	104	101	49	13	25	363.5
	【Q2-12】パーキンソン病	73	2	23	17	10	11	4	6	397.8
	【Q2-13】糖尿病	232	5	39	67	57	36	13	15	465.6
	いずれもなし	222	11	78	70	36	8	6	13	329.3
		100.0	5.0	35.1	31.5	16.2	3.6	2.7	5.9	

1か月後単価合計(内服) × 入所時の疾患

上段:度数	1か月後単価合計(内服)									平均
	下段:%	全体	0円	100円未満	100円以上 300円未満	300円以上 500円未満	500円以上 800円未満	800円以上 1000円未 満	1000円以 上	
入所時の疾患	全体	1375 100.0	135 9.8	543 39.5	404 29.4	168 12.2	76 5.5	25 1.8	24 1.7	207.4
	【Q2-7】高血圧症	781 100.0	60 7.7	300 38.4	236 30.2	113 14.5	46 5.9	12 1.5	14 1.8	224.4
	【Q2-8】心房細動	164 100.0	13 7.9	53 32.3	56 34.1	19 11.6	10 6.1	8 4.9	5 3.0	295.2
	【Q2-9】脳梗塞	392 100.0	33 8.4	157 40.1	111 28.3	49 12.5	25 6.4	11 2.8	6 1.5	225.7
	【Q2-11】アルツハイマー型認知症	417 100.0	52 12.5	155 37.2	114 27.3	47 11.3	30 7.2	6 1.4	13 3.1	235.3
	【Q2-12】パーキンソン病	73 100.0	5 6.8	33 45.2	16 21.9	6 8.2	6 8.2	3 4.1	4 5.5	243.7
	【Q2-13】糖尿病	232 100.0	23 9.9	58 25.0	79 34.1	36 15.5	24 10.3	8 3.4	4 1.7	281.8
	いずれもなし	222 100.0	25 11.3	101 45.5	59 26.6	20 9.0	10 4.5	4 1.8	3 1.4	177.6

2か月後単価合計(内服) × 入所時の疾患

上段:度数	2か月後単価合計(内服)									平均
	下段:%	全体	0円	100円未満	100円以上 300円未満	300円以上 500円未満	500円以上 800円未満	800円以上 1000円未 満	1000円以 上	
入所時の疾患	全体	1375 100.0	58 4.2	592 43.1	410 29.8	179 13.0	85 6.2	22 1.6	29 2.1	220.1
	【Q2-7】高血圧症	781 100.0	25 3.2	338 43.3	233 29.8	106 13.6	54 6.9	10 1.3	15 1.9	226.5
	【Q2-8】心房細動	164 100.0	7 4.3	56 34.1	55 33.5	23 14.0	17 10.4	3 1.8	3 1.8	262.3
	【Q2-9】脳梗塞	392 100.0	16 4.1	171 43.6	111 28.3	58 14.8	27 6.9	5 1.3	4 1.0	197.0
	【Q2-11】アルツハイマー型認知症	417 100.0	19 4.6	181 43.4	119 28.5	51 12.2	31 7.4	3 0.7	13 3.1	245.2
	【Q2-12】パーキンソン病	73 100.0	4 5.5	34 46.6	19 26.0	4 5.5	8 11.0	1 1.4	3 4.1	218.4
	【Q2-13】糖尿病	232 100.0	8 3.4	82 35.3	75 32.3	37 15.9	24 10.3	2 0.9	4 1.7	248.9
	いずれもなし	222 100.0	16 7.2	96 43.2	69 31.1	22 9.9	11 5.0	5 2.3	3 1.4	170.9

※薬価については、同一の薬剤で容量・用法が共通でも、製薬会社によって異なる場合がある。そのため、今回の調査のマッチングにおいては、最安値の価格で分析した。

※なお、今回の分析においては、薬価についてはあくまでも単価ベースで分析しており、薬の種別による減薬効果についてはある程度把握できたが、投与数（3錠を2錠に減らす等）や用法等による変化をみることはできていない。そのため、実際の1日薬価とは異なる。

(5) 利用者の入所前の居場所別の変化について

利用者の入所前の居場所別の服薬数、ジェネリック率、薬価をみると、服薬数においては、特に際立った差異がみられないが、薬価について、併設・関連病院等の回復期リハ病床が高い一方、併設・関連病院等の療養病床（回復期除く）が他と比較して特に低かった。

入所時点薬剤数(内服) × 【Q1-4】入所前の主な居場所

上段:度数 下段:%	入所時点薬剤数(内服)													平均	
	全体	0種類	1種類	2種類	3種類	4種類	5種類	6種類	7種類	8種類	9種類	10種類	11種類		12種類
全体	1375	42	57	102	136	159	160	164	144	125	85	64	54	83	5.89
併設・関連病院等の一般(急・慢性期等)病床(回復期除)	221	5	5	21	26	28	29	30	20	13	8	9	8	19	5.81
地域の医療機関の一般(急・慢性期等)病床(回復期除)	353	11	15	27	32	37	37	40	41	34	22	17	20	20	6.02
併設・関連病院等の療養病床(回復期除)	46	2	4	5	6	4	5	7	5	3	2	1	1	1	4.89
地域の医療機関の療養病床(回復期除)	48	-	7	3	6	4	8	7	5	3	3	1	-	1	4.94
併設・関連病院等の回復期リハ病床	43	1	1	2	4	5	5	5	6	4	3	3	-	4	6.30
地域の医療機関の回復期リハ病床	82	1	3	4	9	10	12	6	8	9	7	4	4	5	6.21
自宅(同居)	314	12	13	22	30	36	32	35	35	33	21	17	10	18	5.91
自宅(独居)	88	4	6	3	5	11	11	13	6	8	5	5	5	6	6.05
老健施設	44	2	1	7	7	3	6	6	5	6	-	-	1	-	4.73
特養	12	-	-	3	2	3	1	-	1	-	-	-	2	-	4.83
老健・特養以外の介護施設等	71	3	1	4	6	11	7	5	8	6	5	4	3	8	6.39
その他	44	1	1	1	2	5	7	9	3	5	7	3	-	-	6.18

1か月後薬剤数(内服) × 【Q1-4】入所前の主な居場所

上段:度数 下段:%	1か月後薬剤数(内服)													平均	
	全体	0種類	1種類	2種類	3種類	4種類	5種類	6種類	7種類	8種類	9種類	10種類	11種類		12種類
全体	1375	124	74	109	140	165	169	165	133	105	76	32	35	48	5.05
併設・関連病院等の一般(急・慢性期等)病床(回復期除)	221	20	9	15	29	24	40	20	12	15	6	10	5	16	5.19
地域の医療機関の一般(急・慢性期等)病床(回復期除)	353	30	17	26	32	48	43	45	41	25	24	5	11	6	5.07
併設・関連病院等の療養病床(回復期除)	46	3	6	4	6	4	7	6	4	5	1	-	-	-	4.26
地域の医療機関の療養病床(回復期除)	48	3	6	5	5	3	7	7	7	-	3	1	1	-	4.52
併設・関連病院等の回復期リハ病床	43	4	1	4	1	6	5	7	1	5	4	-	1	4	5.70
地域の医療機関の回復期リハ病床	82	5	2	10	7	9	13	12	8	8	3	1	2	2	5.11
自宅(同居)	314	35	18	25	30	37	26	34	35	27	21	11	4	11	5.02
自宅(独居)	88	8	8	2	7	11	11	12	7	5	7	1	5	4	5.33
老健施設	44	6	1	8	6	5	2	6	5	4	-	-	1	-	4.07
特養	12	1	1	1	4	1	2	1	-	-	-	-	-	1	3.92
老健・特養以外の介護施設等	71	7	3	4	8	10	9	5	9	6	2	1	3	4	5.21
その他	44	2	1	5	3	5	5	9	4	3	4	2	1	-	5.41

2か月後薬剤数(内服) × 【Q1-4】入所前の主な居場所

上段:度数 下段:%	2か月後薬剤数(内服)													平均	
	全体	0種類	1種類	2種類	3種類	4種類	5種類	6種類	7種類	8種類	9種類	10種類	11種類		12種類
全体	1375	48	70	113	172	165	191	161	145	107	69	48	36	50	5.35
併設・関連病院等の一般(急・慢性期等)病床(回復期除)	221	9	8	15	29	24	39	28	21	12	7	11	6	12	5.48
地域の医療機関の一般(急・慢性期等)病床(回復期除)	353	13	23	26	45	42	51	42	38	28	20	12	6	7	5.17
併設・関連病院等の療養病床(回復期除)	46	1	2	3	6	5	6	5	8	4	-	1	2	1	5.39
地域の医療機関の療養病床(回復期除)	48	2	6	5	5	3	6	10	7	2	-	2	-	-	4.54
併設・関連病院等の回復期リハ病床	43	2	-	4	4	3	7	8	2	2	5	2	1	3	5.98
地域の医療機関の回復期リハ病床	82	3	5	6	8	9	15	12	3	9	4	2	3	3	5.39
自宅(同居)	314	10	14	31	42	40	33	30	40	27	19	13	5	10	5.35
自宅(独居)	88	4	6	6	6	14	9	9	10	7	8	-	5	4	5.59
老健施設	44	2	1	8	7	3	6	7	4	3	1	1	3	-	5.05
特養	12	-	-	-	4	2	2	-	1	1	-	-	1	1	5.67
老健・特養以外の介護施設等	71	1	4	4	10	14	9	3	7	6	2	2	2	7	5.66
その他	44	1	1	6	4	5	6	6	3	4	3	2	1	2	5.59

入所時点ジェネリック率(内服) × 【Q1-4】入所前の主な居場所

上段:度数 下段:%	入所時点									平均
	全体	0%	10%未満	10%以上 25%未満	25%以上 50%未満	50%以上 75%未満	75%以上 100%未満	100%		
全体	1375 100.0	186 13.5	9 0.7	120 8.7	342 24.9	445 32.4	144 10.5	129 9.4	46.7	
併設・関連病院等の一般(急・慢性期等)病床(回復期除く)	221 100.0	20 9.0	1 0.5	18 8.1	47 21.3	91 41.2	25 11.3	19 8.6	50.1	
地域の医療機関の一般(急・慢性期等)病床(回復期除く)	353 100.0	49 13.9	1 0.3	34 9.6	98 27.8	96 27.2	38 10.8	37 10.5	46.5	
併設・関連病院等の療養病床(回復期除く)	46 100.0	5 10.9	-	4 8.7	14 30.4	12 26.1	3 6.5	8 17.4	50.3	
地域の医療機関の療養病床(回復期除く)	48 100.0	8 16.7	-	4 8.3	6 12.5	17 35.4	6 12.5	7 14.6	50.3	
併設・関連病院等の回復期リハ病床	43 100.0	6 14.0	1 2.3	1 2.3	6 14.0	19 44.2	7 16.3	3 7.0	51.7	
地域の医療機関の回復期リハ病床	82 100.0	8 9.8	-	4 4.9	21 25.6	36 43.9	6 7.3	7 8.5	49.6	
自宅(同居)	314 100.0	49 15.6	2 0.6	30 9.6	81 25.8	97 30.9	30 9.6	25 8.0	43.7	
自宅(独居)	88 100.0	19 21.6	3 3.4	9 10.2	19 21.6	25 28.4	9 10.2	4 4.5	39.1	
老健施設	44 100.0	4 9.1	-	4 9.1	13 29.5	12 27.3	3 6.8	8 18.2	51.4	
特養	12 100.0	3 25.0	-	-	2 16.7	5 41.7	1 8.3	1 8.3	44.9	
老健・特養以外の介護施設等	71 100.0	11 15.5	1 1.4	8 11.3	17 23.9	19 26.8	7 9.9	8 11.3	44.5	
その他	44 100.0	4 9.1	-	4 9.1	14 31.8	11 25.0	8 18.2	3 6.8	48.7	

1か月後ジェネリック率(内服) × 【Q1-4】入所前の主な居場所

上段:度数 下段:%	1か月後									平均
	全体	0%	10%未満	10%以上 25%未満	25%以上 50%未満	50%以上 75%未満	75%以上 100%未満	100%		
全体	1375 100.0	222 16.1	1 0.1	72 5.2	225 16.4	434 31.6	213 15.5	208 15.1	52.8	
併設・関連病院等の一般(急・慢性期等)病床(回復期除く)	221 100.0	31 14.0	-	12 5.4	49 22.2	67 30.3	35 15.8	27 12.2	51.4	
地域の医療機関の一般(急・慢性期等)病床(回復期除く)	353 100.0	49 13.9	-	24 6.8	52 14.7	116 32.9	53 15.0	59 16.7	54.5	
併設・関連病院等の療養病床(回復期除く)	46 100.0	5 10.9	-	1 2.2	12 26.1	13 28.3	5 10.9	10 21.7	56.9	
地域の医療機関の療養病床(回復期除く)	48 100.0	13 27.1	-	2 4.2	7 14.6	14 29.2	6 12.5	6 12.5	45.7	
併設・関連病院等の回復期リハ病床	43 100.0	8 18.6	1 2.3	-	4 9.3	14 32.6	8 18.6	8 18.6	56.9	
地域の医療機関の回復期リハ病床	82 100.0	9 11.0	-	-	13 15.9	33 40.2	14 17.1	13 15.9	59.1	
自宅(同居)	314 100.0	63 20.1	-	20 6.4	47 15.0	93 29.6	47 15.0	44 14.0	49.6	
自宅(独居)	88 100.0	17 19.3	-	4 4.5	15 17.0	30 34.1	11 12.5	11 12.5	49.3	
老健施設	44 100.0	9 20.5	-	2 4.5	5 11.4	14 31.8	5 11.4	9 20.5	52.5	
特養	12 100.0	4 33.3	-	-	3 25.0	2 16.7	2 16.7	1 8.3	38.8	
老健・特養以外の介護施設等	71 100.0	11 15.5	-	5 7.0	11 15.5	20 28.2	14 19.7	10 14.1	53.2	
その他	44 100.0	3 6.8	-	2 4.5	7 15.9	13 29.5	10 22.7	9 20.5	63.4	

2か月後ジェネリック率(内服) × 【Q1-4】入所前の主な居場所

上段:度数 下段:%	2か月後									平均
	全体	0%	10%未満	10%以上 25%未満	25%以上 50%未満	50%以上 75%未満	75%以上 100%未満	100%		
全体	1375 100.0	143 10.4	3 0.2	64 4.7	217 15.8	465 33.8	247 18.0	236 17.2	57.8	
併設・関連病院等の一般(急・慢性期等)病床(回復期除く)	221 100.0	23 10.4	-	13 5.9	39 17.6	80 36.2	39 17.6	27 12.2	54.6	
地域の医療機関の一般(急・慢性期等)病床(回復期除く)	353 100.0	36 10.2	1 0.3	16 4.5	46 13.0	123 34.8	65 18.4	66 18.7	59.2	
併設・関連病院等の療養病床(回復期除く)	46 100.0	2 4.3	-	1 2.2	16 34.8	13 28.3	7 15.2	7 15.2	57.9	
地域の医療機関の療養病床(回復期除く)	48 100.0	12 25.0	-	2 4.2	8 16.7	14 29.2	4 8.3	8 16.7	47.2	
併設・関連病院等の回復期リハ病床	43 100.0	5 11.6	1 2.3	4 9.3	6 14.0	12 27.9	9 20.9	6 14.0	53.9	
地域の医療機関の回復期リハ病床	82 100.0	9 11.0	-	2 2.4	8 9.8	30 36.6	12 14.6	21 25.6	63.1	
自宅(同居)	314 100.0	35 11.1	-	10 3.2	47 15.0	107 34.1	58 18.5	57 18.2	59.0	
自宅(独居)	88 100.0	10 11.4	1 1.1	1 1.1	18 20.5	28 31.8	17 19.3	13 14.8	56.1	
老健施設	44 100.0	6 13.6	-	7 15.9	8 18.2	12 27.3	4 9.1	7 15.9	48.8	
特養	12 100.0	1 8.3	-	-	3 25.0	2 16.7	5 41.7	1 8.3	57.7	
老健・特養以外の介護施設等	71 100.0	2 2.8	-	6 8.5	13 18.3	22 31.0	17 23.9	11 15.5	61.0	
その他	44 100.0	2 4.5	-	2 4.5	5 11.4	17 38.6	8 18.2	10 22.7	65.1	

入所時点単価合計(服薬) × 【Q1-4】入所前の主な居場所

上段: 度数		入所時点								
下段: %	全体	0円	100円未満	100円以上 300円未満	300円以上 500円未満	500円以上 800円未満	800円以上 1000円未満	1000円以上	平均	
【Q1-4】入所前の主な居場所	全体	1375 100.0	50 3.6	380 27.6	444 32.3	271 19.7	126 9.2	41 3.0	63 4.6	326.9
	併設・関連病院等の一般(急・慢性期等)病床(回復期除く)	221 100.0	6 2.7	69 31.2	76 34.4	39 17.6	14 6.3	7 3.2	10 4.5	284.3
	地域の医療機関の一般(急・慢性期等)病床(回復期除く)	353 100.0	14 4.0	101 28.6	115 32.6	67 19.0	30 8.5	8 2.3	18 5.1	321.9
	併設・関連病院等の療養病床(回復期除く)	46 100.0	3 6.5	28 60.9	9 19.6	3 6.5	1 2.2	1 2.2	1 2.2	207.0
	地域の医療機関の療養病床(回復期除く)	48 100.0	2 4.2	16 33.3	16 33.3	10 20.8	3 6.3	-	1 2.1	208.7
	併設・関連病院等の回復期リハ病床	43 100.0	1 2.3	7 16.3	18 41.9	9 20.9	2 4.7	4 9.3	2 4.7	437.4
	地域の医療機関の回復期リハ病床	82 100.0	1 1.2	21 25.6	29 35.4	15 18.3	11 13.4	3 3.7	2 2.4	294.5
	自宅(同居)	314 100.0	12 3.8	71 22.6	90 28.7	78 24.8	40 12.7	9 2.9	14 4.5	379.5
	自宅(独居)	88 100.0	4 4.5	17 19.3	27 30.7	23 26.1	7 8.0	2 2.3	8 9.1	435.3
	老健施設	44 100.0	3 6.8	22 50.0	13 29.5	4 9.1	2 4.5	-	-	149.6
	特養	12 100.0	-	4 33.3	6 50.0	1 8.3	1 8.3	-	-	191.1
	老健・特養以外の介護施設等	71 100.0	3 4.2	12 16.9	24 33.8	11 15.5	12 16.9	4 5.6	5 7.0	400.4
	その他	44 100.0	1 2.3	10 22.7	20 45.5	7 15.9	2 4.5	3 6.8	1 2.3	272.2

1か月後単価合計(服薬) × 【Q1-4】入所前の主な居場所

上段: 度数		1か月後単								
下段: %	全体	0円	100円未満	100円以上 300円未満	300円以上 500円未満	500円以上 800円未満	800円以上 1000円未満	1000円以上	平均	
【Q1-4】入所前の主な居場所	全体	1375 100.0	135 9.8	543 39.5	404 29.4	168 12.2	76 5.5	25 1.8	24 1.7	207.5
	併設・関連病院等の一般(急・慢性期等)病床(回復期除く)	221 100.0	23 10.4	83 37.6	67 30.3	31 14.0	6 2.7	4 1.8	7 3.2	233.0
	地域の医療機関の一般(急・慢性期等)病床(回復期除く)	353 100.0	32 9.1	151 42.8	102 28.9	36 10.2	22 6.2	6 1.7	4 1.1	193.7
	併設・関連病院等の療養病床(回復期除く)	46 100.0	4 8.7	29 63.0	11 23.9	2 4.3	-	-	-	82.8
	地域の医療機関の療養病床(回復期除く)	48 100.0	5 10.4	19 39.6	15 31.3	7 14.6	1 2.1	-	1 2.1	162.7
	併設・関連病院等の回復期リハ病床	43 100.0	4 9.3	13 30.2	16 37.2	3 7.0	4 9.3	1 2.3	2 4.7	283.5
	地域の医療機関の回復期リハ病床	82 100.0	5 6.1	40 48.8	20 24.4	11 13.4	4 4.9	2 2.4	1 1.1	172.6
	自宅(同居)	314 100.0	38 12.1	96 30.6	101 32.2	43 13.7	22 7.0	8 2.5	6 1.9	235.6
	自宅(独居)	88 100.0	8 9.1	29 33.0	25 28.4	16 18.2	7 8.0	1 1.1	2 2.3	225.2
	老健施設	44 100.0	6 13.6	25 56.8	9 20.5	3 6.8	1 2.3	-	-	111.2
	特養	12 100.0	1 8.3	7 58.3	3 25.0	-	1 8.3	-	-	107.7
	老健・特養以外の介護施設等	71 100.0	7 9.9	27 38.0	18 25.4	9 12.7	8 11.3	1 1.4	1 1.4	242.4
	その他	44 100.0	2 4.5	21 47.7	14 31.8	5 11.4	-	2 4.5	-	170.1

2か月後単価合計(服薬) × 【Q1-4】入所前の主な居場所

上段: 度数		2か月後単								
下段: %	全体	0円	100円未満	100円以上 300円未満	300円以上 500円未満	500円以上 800円未満	800円以上 1000円未満	1000円以上	平均	
【Q1-4】入所前の主な居場所	全体	1375 100.0	58 4.2	592 43.1	410 29.8	179 13.0	85 6.2	22 1.6	29 2.1	220.1
	併設・関連病院等の一般(急・慢性期等)病床(回復期除く)	221 100.0	11 5.0	92 41.6	65 29.4	29 13.1	10 4.5	6 2.7	8 3.6	227.9
	地域の医療機関の一般(急・慢性期等)病床(回復期除く)	353 100.0	15 4.2	159 45.0	98 27.8	42 11.9	32 9.1	3 0.8	4 1.1	201.8
	併設・関連病院等の療養病床(回復期除く)	46 100.0	1 2.2	24 52.2	15 32.6	5 10.9	-	-	1 2.2	186.1
	地域の医療機関の療養病床(回復期除く)	48 100.0	4 8.3	19 39.6	16 33.3	5 10.4	2 4.2	-	2 4.2	266.4
	併設・関連病院等の回復期リハ病床	43 100.0	2 4.7	18 41.9	13 30.2	2 4.7	4 9.3	1 2.3	3 7.0	317.2
	地域の医療機関の回復期リハ病床	82 100.0	4 4.9	40 48.8	20 24.4	12 14.6	4 4.9	1 1.2	1 1.2	206.3
	自宅(同居)	314 100.0	13 4.1	131 41.7	101 32.2	44 14.0	14 4.5	6 1.9	5 1.6	199.2
	自宅(独居)	88 100.0	4 4.5	29 33.0	29 33.0	15 17.0	6 6.8	3 3.4	2 2.3	300.9
	老健施設	44 100.0	2 4.5	23 52.3	11 25.0	5 11.4	2 4.5	1 2.3	-	175.1
	特養	12 100.0	-	6 50.0	4 33.3	1 8.3	1 8.3	-	-	154.4
	老健・特養以外の介護施設等	71 100.0	1 1.4	27 38.0	18 25.4	13 18.3	8 11.3	1 1.4	3 4.2	313.5
	その他	44 100.0	1 2.3	21 47.7	18 40.9	4 9.1	-	-	-	131.4

V. まとめ

本調査では、入所時および退所時の服薬内容を把握するために、利用者が服用している薬剤名について、特定多数の医師による手書きの回答とレセプト等のコピー等により回答を得た。記載内容を統計処理するためには、調査票に記載された、あるいはレセプト等のコピーにある医薬品名を一致させる必要があるため、入力結果を統計処理するために独自のシステムを構築した。具体的には、アンケート回答の入力結果を、薬価基準点数早見表をもとにしたデータベース（医薬品マスター）に複数の検索方法で検索をかけ、その結果をアンケート結果データベースに書き出し、統計処理が可能となるデータを作成した。

調査結果より、入所時、入所から1か月後、入所から2か月後における薬剤服用の傾向をみると、薬剤の服用量（服用した薬剤の種類数）は、入所時に全体で平均5.89種類服用しているが、1か月後には平均5.05種類に減少。2か月後には5.35種類に上昇する。同様に服用薬剤のジェネリック率（ジェネリック薬の種類数／服用薬剤の種類数）をみると、入所時に全体で平均46.6%となっているが、1か月後には平均52.8%。さらに2か月後には57.8%と2か月連続で上昇している。また、薬価（服用した薬剤の単価の合計）の平均値をみると、入所時に全体で平均326.9円となっているが、1か月後には平均207.4円に減少。2か月後には220.1円に上昇した。

利用者の疾患別にみると、パーキンソン病の利用者に対する抗パーキンソン剤、高血圧症の利用者に対する血圧降下剤、糖尿病の利用者に対する糖尿病用剤については、入所時から1か月後、2か月後連続で服薬している割合が減少した。一方でその他の血液・体液用薬については、脳梗塞の疾患がある利用者においては2か月連続で減少したが、心房細動の利用者においては、1か月後に減少し、2か月後に増加して、入所時よりも服用割合が高くなっており、疾患に応じて薬剤の投与が管理されていることが推察される。なお、ジェネリック率はいずれの疾患の利用者においてもほぼ同様に2か月連続で上昇している。

これらのことから、老健施設においては、利用者が入所1か月で多剤投与が回避され、さらに2か月後には投与が適正に管理された結果として薬剤の種類数および薬価の合計（単価の合計、実際の1日薬価とは異なる）が上昇するともと考えられる。つまり、老健施設において、利用者個々の状態に応じた適正な投薬管理がなされることにより、服薬の量が減少し、且つジェネリック薬への転換が進行することにより、個々の利用者における薬価の低下につながったと考えられる。結果として、老健施設に入所することによる効果として、投薬量が適切に管理され薬価の低下の効果をあげることができ、さらにマクロ的な視点からみると、要介護高齢者が老健施設に入所することが、薬剤における医療費削減につながることを期待できると考えられる。

医療費削減と老健施設の経営的な側面は課題を共有する部分が多いと考えられ、経済的な観点からの投薬管理というテーマについては、今回収集したデータには薬剤ごとに単価が付されている。しかし、1日の服用回数、1回の用量、服用頻度についての記載内容が回答者によってばらつきがあり、正確な金額の把握が困難であったため、今回の集計においては単価のみで比較分析している。したがって、実際に服用された量、価格による初回の結果と、1か月後、2

か月後の差異はさらに大きいものとなることが推察されるが、それを算出するためにはデータ取得方法も含めたさらなる検討が必要となる。

また、薬剤の多剤投与から適正な管理の元の投与に移行することにより、利用者の状態の改善につながり、さらに在宅復帰へ向け入所が短期化することも期待されるが、今回の調査では在宅復帰後までは追跡していないため、老健施設における利用者の薬剤管理による在宅復帰への関連について、あるいはかかりつけ医との連携等による在宅復帰後の利用者へのフォロー等については今後の課題となる。

さらに、老健施設利用者の疾患に応じた薬剤の状況の分析にあたっては、今回、老健施設で使用されている薬剤について把握するために、薬剤名称を元に統計処理が可能となるデータを作成したが、現状では、薬価基準の薬効別分類コードの4桁のレベルで分析しており、各薬剤をあくまでも大枠でくくった分析結果となっている。

今回、大枠のくくりの中でも老健施設における服薬数の減少、ジェネリック薬への転換、薬価の減少への効果が確認できたが、今後老健施設における投薬管理による利用者の状態の改善および在宅復帰までの入所期間の短期化、利用者の在宅復帰後の投薬管理（かかりつけ医との連携も含めた）の方策の検討、投薬管理によるコスト削減等についても検討することが必要と考えられるため、これらを今後の研究課題とした。その際には薬剤のカテゴリの細分化を加えた分析が必要となるため、既存データの分析方法の検討と、新たに実施する場合はデータ取得の方法についても検討したうえで分析を行うことを要するため、分析方法の検討も今後の課題とした。

VI. 資料編

1. 単純集計表

(1) 管理医師調査

【Q0-1】都道府県		(SA)		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	北海道	27	3.5	3.7
2	青森県	11	1.4	1.5
3	岩手県	18	2.3	2.4
4	宮城県	8	1.0	1.1
5	秋田県	13	1.7	1.8
6	山形県	14	1.8	1.9
7	福島県	11	1.4	1.5
8	茨城県	17	2.2	2.3
9	栃木県	4	0.5	0.5
10	群馬県	23	3.0	3.1
11	埼玉県	26	3.4	3.5
12	千葉県	22	2.9	3.0
13	東京都	28	3.6	3.8
14	神奈川県	24	3.1	3.3
15	新潟県	19	2.5	2.6
16	富山県	12	1.6	1.6
17	石川県	7	0.9	0.9
18	福井県	7	0.9	0.9
19	山梨県	9	1.2	1.2
20	長野県	16	2.1	2.2
21	岐阜県	20	2.6	2.7
22	静岡県	18	2.3	2.4
23	愛知県	31	4.0	4.2
24	三重県	17	2.2	2.3
25	滋賀県	8	1.0	1.1
26	京都府	22	2.9	3.0
27	大阪府	38	4.9	5.2
28	兵庫県	37	4.8	5.0
29	奈良県	9	1.2	1.2
30	和歌山県	4	0.5	0.5
31	鳥取県	5	0.6	0.7
32	島根県	12	1.6	1.6
33	岡山県	11	1.4	1.5
34	広島県	23	3.0	3.1
35	山口県	11	1.4	1.5
36	徳島県	5	0.6	0.7
37	香川県	12	1.6	1.6
38	愛媛県	17	2.2	2.3
39	高知県	1	0.1	0.1
40	福岡県	35	4.5	4.7
41	佐賀県	6	0.8	0.8
42	長崎県	9	1.2	1.2
43	熊本県	26	3.4	3.5
44	大分県	11	1.4	1.5
45	宮崎県	10	1.3	1.4
46	鹿児島県	17	2.2	2.3
47	沖縄県	6	0.8	0.8
	無回答	33	4.3	
	N (%へ入)	770	100	737

【Q1-1】年齢

(数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	30代未満	13	1.7	1.7
2	40代	48	6.2	6.3
3	50代	103	13.4	13.5
4	60代	217	28.2	28.5
5	70代	253	32.9	33.2
6	80代以上	128	16.6	16.8
	無回答	8	1.0	
	N (%ベース)	770	100	762

【Q1-2】老健勤続年数

(数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	0年	54	7.0	7.1
2	1年以上3年未満	145	18.8	19.2
3	3年以上5年未満	113	14.7	14.9
4	5年以上10年未満	192	24.9	25.4
5	10年以上15年未満	109	14.2	14.4
6	15年以上20年未満	89	11.6	11.8
7	20年以上	54	7.0	7.1
	無回答	14	1.8	
	N (%ベース)	770	100	756

【Q1-3】性別

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	男性	680	88.3	89.0
2	女性	84	10.9	11.0
	無回答	6	0.8	
	N (%ベース)	770	100	764

【Q1-4】専門

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	あらゆる内科(神経内科除く)	390	50.6	50.8
2	あらゆる外科(脳神経・整形・形成外科除く)	171	22.2	22.3
3	脳神経外科	29	3.8	3.8
4	整形外科、形成外科	36	4.7	4.7
5	産婦人科	44	5.7	5.7
6	泌尿器科	27	3.5	3.5
7	老年科	31	4.0	4.0
8	リハビリ科	30	3.9	3.9
9	神経内科	29	3.8	3.8
10	精神科	40	5.2	5.2
11	公衆衛生	11	1.4	1.4
12	眼科	6	0.8	0.8
13	耳鼻咽喉科	16	2.1	2.1
14	皮膚科	22	2.9	2.9
15	基礎医学	14	1.8	1.8
16	その他	61	7.9	8.0
	無回答	3	0.4	
	N (%ベース)	770	100	767

【Q1-5】役職

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	オーナー	71	9.2	9.3
2	オーナーではないが経営に関する理事等である	428	55.6	56.2
3	いずれでもない	262	34.0	34.4
	無回答	9	1.2	
	N (%ベース)	770	100	761

【Q2-1】一日の勤務時間 (数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	5時間未満	26	3.4	3.5
2	5時間	11	1.4	1.5
3	6時間	33	4.3	4.5
4	7時間	114	14.8	15.4
5	8時間	490	63.6	66.2
6	9時間以上	66	8.6	8.9
	無回答	30	3.9	
	N (%ベース)	770	100	740

【Q2-2】オンコール体制 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	あり	584	75.8	76.7
2	なし	177	23.0	23.3
	無回答	9	1.2	
	N (%ベース)	770	100	761

【Q2-3】当直 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	あり	54	7.0	7.0
2	なし	715	92.9	93.0
	無回答	1	0.1	
	N (%ベース)	770	100	769

【Q3-1】主な応援体制について (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	特定の医師が応援している	312	40.5	41.1
2	特定ではないが、隣接病院・診療所の医師が応援している	318	41.3	41.8
3	単独でおこなっている	130	16.9	17.1
	無回答	10	1.3	
	N (%ベース)	770	100	760

【Q3-2】年齢 (数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	30代未満	18	5.8	6.8
2	40代	37	11.9	13.9
3	50代	67	21.5	25.2
4	60代	55	17.6	20.7
5	70代	59	18.9	22.2
6	80代以上	30	9.6	11.3
	無回答	46	14.7	
	N (%ベース)	312	100	266

【Q3-3】老健勤務年数 (数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	0年	25	8.0	9.3
2	1年以上3年未満	59	18.9	22.0
3	3年以上5年未満	32	10.3	11.9
4	5年以上10年未満	47	15.1	17.5
5	10年以上15年未満	42	13.5	15.7
6	15年以上20年未満	42	13.5	15.7
7	20年以上	21	6.7	7.8
	無回答	44	14.1	
	N (%ベース)	312	100	268

【Q3-4】性別

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	男性	245	78.5	85.1
2	女性	43	13.8	14.9
	無回答	24	7.7	
	N (%ベース)	312	100	288

【Q3-5】専門

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	あらゆる内科(神経内科除く)	181	58.0	58.6
2	あらゆる外科(脳神経・整形・形成外科除く)	53	17.0	17.2
3	脳神経外科	11	3.5	3.6
4	整形外科、形成外科	24	7.7	7.8
5	産婦人科	9	2.9	2.9
6	泌尿器科	8	2.6	2.6
7	老年科	8	2.6	2.6
8	リハビリ科	5	1.6	1.6
9	神経内科	19	6.1	6.1
10	精神科	28	9.0	9.1
11	公衆衛生	1	0.3	0.3
12	眼科	2	0.6	0.6
13	耳鼻咽喉科	2	0.6	0.6
14	皮膚科	15	4.8	4.9
15	歯科	4	1.3	1.3
16	基礎医学	5	1.6	1.6
17	その他	18	5.8	5.8
	無回答	3	1.0	
	N (%ベース)	312	100	309

【Q4】往診をお願いしている診療科

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	あらゆる内科(神経内科除く)	110	14.3	16.1
2	あらゆる外科(脳神経・整形・形成外科除く)	49	6.4	7.2
3	脳神経外科	29	3.8	4.3
4	整形外科、形成外科	66	8.6	9.7
5	産婦人科	20	2.6	2.9
6	泌尿器科	42	5.5	6.2
7	老年科	6	0.8	0.9
8	リハビリ科	14	1.8	2.1
9	神経内科	27	3.5	4.0
10	精神科	97	12.6	14.2
11	公衆衛生	1	0.1	0.1
12	眼科	48	6.2	7.0
13	耳鼻咽喉科	25	3.2	3.7
14	皮膚科	138	17.9	20.2
15	歯科	552	71.7	80.9
16	その他	19	2.5	2.8
	無回答	88	11.4	
	N (%ベース)	770	100	682

【Q5-1】管理医師研修会

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	過去に参加(またはH27年に参加している)	162	21.0	26.2
2	参加したことがない	456	59.2	73.8
	無回答	152	19.7	
	N (%ベース)	770	100	618

【Q5-2】全老健主催の医師研修会(2日間の研修) (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	複数回参加	68	8.8	10.8
2	1回は参加	198	25.7	31.4
3	一度も参加したことがない	364	47.3	57.8
	無回答	140	18.2	
	N (%ベース)	770	100	630

【Q5-3】老健医療研究会 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	複数回参加	68	8.8	10.8
2	1回は参加	94	12.2	15.0
3	一度も参加したことがない	466	60.5	74.2
	無回答	142	18.4	
	N (%ベース)	770	100	628

【Q5-4】認知症短期集中リハビリテーション実施加算を算定するための研修会 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	複数回参加	54	7.0	8.5
2	1回は参加	351	45.6	54.9
3	一度も参加したことがない	234	30.4	36.6
	無回答	131	17.0	
	N (%ベース)	770	100	639

【Q5-5】認知症サポート医研修 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	複数回参加	72	9.4	11.5
2	1回は参加	124	16.1	19.8
3	一度も参加したことがない	430	55.8	68.7
	無回答	144	18.7	
	N (%ベース)	770	100	626

【Q5-6】かかりつけ医認知症対応力向上研修 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	複数回参加	101	13.1	16.1
2	1回は参加	112	14.5	17.9
3	一度も参加したことがない	414	53.8	66.0
	無回答	143	18.6	
	N (%ベース)	770	100	627

【Q6】日本老年医学会への加盟 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	加盟し、関連雑誌に論文を投稿している	9	1.2	1.4
2	加盟し、年次学術集会にも参加している	38	4.9	6.0
3	加盟しているが年次学術集会には参加していない	55	7.1	8.7
4	加盟していない	529	68.7	83.8
	無回答	139	18.1	
	N (%ベース)	770	100	631

【Q7-1】利用開始時に医師は利用者を診察する (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	必ず診察する	511	66.4	79.8
2	症状によっては診察する	125	16.2	19.5
3	診察しない	4	0.5	0.6
	無回答	130	16.9	
	N (%ベース)	770	100	640

【Q7-2】利用開始時の利用者の状態の診療録への記入 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	必ず記入する	520	67.5	81.0
2	症状によっては記入する	120	15.6	18.7
3	記入しない	2	0.3	0.3
	無回答	128	16.6	
	N (%ベース)	770	100	642

【Q7-3】利用開始時の利用者の診断名の診療録への記載 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	医師が記載	523	67.9	82.4
2	医師の診断に基づいて代理人が記載	83	10.8	13.1
3	記載していない	29	3.8	4.6
	無回答	135	17.5	
	N (%ベース)	770	100	635

【Q7-4】回診等、利用者への定期的な診察(悪化時を除く) (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	1週に1回以上の頻度	228	29.6	35.5
2	1週に1回程度	131	17.0	20.4
3	2~3週に1回程度	89	11.6	13.9
4	1か月に1回程度	130	16.9	20.2
5	2~3か月に1回程度	26	3.4	4.0
6	行っていない	38	4.9	5.9
	無回答	128	16.6	
	N (%ベース)	770	100	642

【Q7-5】攝瘻保有者に対する定期的な診察 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	1週に1回以上の頻度	210	27.3	33.1
2	1週に1回程度	170	22.1	26.8
3	2~3週に1回程度	103	13.4	16.2
4	1か月に1回程度	78	10.1	12.3
5	2~3か月に1回程度	16	2.1	2.5
6	行っていない	57	7.4	9.0
	無回答	136	17.7	
	N (%ベース)	770	100	634

【Q7-6】専門医との連携 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	必要に応じて医師以外のスタッフが専門医の往診や対診を依頼	127	16.5	20.2
2	必要に応じて専門医の往診や対診を医師が依頼	448	58.2	71.3
3	行っていない(施設内ですべて対応)	53	6.9	8.4
	無回答	142	18.4	
	N (%ベース)	770	100	628

【Q8-1】利用開始時の医師による(投薬がある場合)薬の見直し (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	ほぼ必ず見直す	324	42.1	50.2
2	場合によっては見直す	308	40.0	47.8
3	行わない	13	1.7	2.0
	無回答	125	16.2	
	N (%ベース)	770	100	645

【Q8-A】降圧剤 利用開始時における薬剤別の見直し等 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	必ずする	266	34.5	41.8
2	ほぼする	159	20.6	25.0
3	時々する	147	19.1	23.1
4	あまりしない	57	7.4	8.9
5	全くしない	8	1.0	1.3
	無回答	133	17.3	
	N (%ベース)	770	100	637

【Q8-A-1】降圧剤 血圧が低いとき (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	該当する	566	90.0	91.9
2	該当しない	50	7.9	8.1
	無回答	13	2.1	
	N (%ベース)	629	100	616

【Q8-A-2-1】降圧剤 血圧が十分コントロールされているとき (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	該当する	289	45.9	47.6
2	該当しない	318	50.6	52.4
	無回答	22	3.5	
	N (%ベース)	629	100	607

【Q8-A-3】降圧剤 同じ薬効の薬を複数使用しているとき (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	該当する	566	90.0	91.1
2	該当しない	55	8.7	8.9
	無回答	8	1.3	
	N (%ベース)	629	100	621

【Q8-A-4】降圧剤 高額な薬剤を使用しているとき (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	該当する	570	90.6	91.3
2	該当しない	54	8.6	8.7
	無回答	5	0.8	
	N (%ベース)	629	100	624

【Q8-A-5】降圧剤 施設・病院の薬局に該当する薬剤がないとき (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	該当する	583	92.7	93.6
2	該当しない	40	6.4	6.4
	無回答	6	1.0	
	N (%ベース)	629	100	623

【Q8-A-6】降圧剤 薬を持ち込んでいた場合、持参薬がなくなったとき (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	該当する	583	92.7	93.3
2	該当しない	42	6.7	6.7
	無回答	4	0.6	
	N (%ベース)	629	100	625

【Q8-A-7】降圧剤 副作用が出たとき (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	該当する	617	98.1	99.2
2	該当しない	5	0.8	0.8
	無回答	7	1.1	
	N (%ベース)	629	100	622

【Q8-B】睡眠薬 利用開始時における薬剤別の見直し等 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	必ずする	231	30.0	36.2
2	ほぼする	171	22.2	26.8
3	時々する	171	22.2	26.8
4	あまりしない	56	7.3	8.8
5	全くしない	10	1.3	1.6
	無回答	131	17.0	
	N (%ベース)	770	100	639

【Q8-B-1】睡眠薬 睡眠薬は原則中止又は減量しているため (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	該当する	303	48.2	48.9
2	該当しない	316	50.2	51.1
	無回答	10	1.6	
	N (%ベース)	629	100	619

【Q8-B-2】睡眠薬 主観的睡眠障害はあっても、客観的な睡眠障害はない場合 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	該当する	510	81.1	82.1
2	該当しない	111	17.6	17.9
	無回答	8	1.3	
	N (%ベース)	629	100	621

【Q8-B-3】睡眠薬 転倒の危険性が高いと考えられるため (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	該当する	596	94.8	95.5
2	該当しない	28	4.5	4.5
	無回答	5	0.8	
	N (%ベース)	629	100	624

【Q8-B-4】睡眠薬 同じ薬効の薬を複数使用しているとき (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	該当する	598	95.1	95.7
2	該当しない	27	4.3	4.3
	無回答	4	0.6	
	N (%ベース)	629	100	625

【Q8-B-5】睡眠薬 薬を持ち込んでいた場合、持参薬がなくなったとき (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	該当する	574	91.3	91.7
2	該当しない	52	8.3	8.3
	無回答	3	0.5	
	N (%ベース)	629	100	626

【Q8-B-6】睡眠薬 副作用が出たとき (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	該当する	621	98.7	99.2
2	該当しない	5	0.8	0.8
	無回答	3	0.5	
	N (%ベース)	629	100	626

【Q8-C】抗血小板薬 利用開始時における薬剤別の見直し等 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	必ずする	224	29.1	35.1
2	ほぼする	146	19.0	22.8
3	時々する	154	20.0	24.1
4	あまりしない	94	12.2	14.7
5	全くしない	21	2.7	3.3
	無回答	131	17.0	
	N (%ベース)	770	100	639

【Q8-C-1】抗血小板薬 同じ薬効の薬を複数使用しているとき (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	該当する	559	90.5	91.0
2	該当しない	55	8.9	9.0
	無回答	4	0.6	
	N (%ベース)	618	100	614

【Q8-C-2】抗血小板薬 高額な薬剤を使用しているとき (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	該当する	544	88.0	88.9
2	該当しない	68	11.0	11.1
	無回答	6	1.0	
	N (%ベース)	618	100	612

【Q8-C-3】抗血小板薬 転倒の危険性が高いとき (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	該当する	439	71.0	72.0
2	該当しない	171	27.7	28.0
	無回答	8	1.3	
	N (%ベース)	618	100	610

【Q8-C-4】抗血小板薬 薬を持ち込んでいた場合、持参薬がなくなったとき (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	該当する	551	89.2	89.7
2	該当しない	63	10.2	10.3
	無回答	4	0.6	
	N (%ベース)	618	100	614

【Q8-C-5】抗血小板薬 副作用が出たとき (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	該当する	608	98.4	99.2
2	該当しない	5	0.8	0.8
	無回答	5	0.8	
	N (%ベース)	618	100	613

【Q8-D】抗凝固薬 利用開始時における薬剤別の見直し等 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	必ずする	237	30.8	37.2
2	ほぼする	137	17.8	21.5
3	時々する	137	17.8	21.5
4	あまりしない	104	13.5	16.3
5	全くしない	22	2.9	3.5
	無回答	133	17.3	
	N (%ベース)	770	100	637

【Q8-D-1】抗凝固薬 同じ薬効の薬を複数使用しているとき (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	該当する	555	90.2	91.1
2	該当しない	54	8.8	8.9
	無回答	6	1.0	
	N (%ベース)	615	100	609

【Q8-D-2】抗凝固薬 高額な薬剤を使用しているとき (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	該当する	532	86.5	87.5
2	該当しない	76	12.4	12.5
	無回答	7	1.1	
	N (%ベース)	615	100	608

【Q8-D-3】抗凝固薬 転倒の危険性が高いとき (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	該当する	445	72.4	73.3
2	該当しない	162	26.3	26.7
	無回答	8	1.3	
	N (%ベース)	615	100	607

【Q8-D-4】抗凝固薬 薬を持ち込んでいた場合、持参薬がなくなったとき (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	該当する	548	89.1	89.7
2	該当しない	63	10.2	10.3
	無回答	4	0.7	
	N (%ベース)	615	100	611

【Q8-D-5】抗凝固薬 副作用が出たとき (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	該当する	598	97.2	98.5
2	該当しない	9	1.5	1.5
	無回答	8	1.3	
	N (%ベース)	615	100	607

【Q8-E】糖尿病薬 利用開始時における薬剤別の見直し等 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	必ずする	246	31.9	38.6
2	ほぼする	132	17.1	20.7
3	時々する	158	20.5	24.8
4	あまりしない	78	10.1	12.2
5	全くしない	23	3.0	3.6
	無回答	133	17.3	
	N (%ベース)	770	100	637

【Q8-E-1】糖尿病薬 同じ薬効の薬を複数使用しているとき (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	該当する	544	88.6	89.9
2	該当しない	61	9.9	10.1
	無回答	9	1.5	
	N (%ベース)	614	100	605

【Q8-E-2】糖尿病薬 高額な薬剤を使用しているとき (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	該当する	501	81.6	82.5
2	該当しない	106	17.3	17.5
	無回答	7	1.1	
	N (%ベース)	614	100	607

【Q8-E-3】糖尿病薬 低血糖を認めるとき (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	該当する	603	98.2	99.0
2	該当しない	6	1.0	1.0
	無回答	5	0.8	
	N (%ベース)	614	100	609

【Q8-E-4】糖尿病薬 HbA1c値が十分に低いとき (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	該当する	562	91.5	92.6
2	該当しない	45	7.3	7.4
	無回答	7	1.1	
	N (%ベース)	614	100	607

【Q8-E-5】糖尿病薬 薬を持ち込んでいた場合、持参薬がなくなったとき (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	該当する	547	89.1	89.8
2	該当しない	62	10.1	10.2
	無回答	5	0.8	
	N (%ベース)	614	100	609

【Q8-E-6】糖尿病薬 副作用(低血糖)が出たとき (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	該当する	602	98.0	98.9
2	該当しない	7	1.1	1.1
	無回答	5	0.8	
	N (%ベース)	614	100	609

【Q8-F】疼痛緩和薬 利用開始時における薬剤別の見直し等 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	必ずする	246	31.9	38.2
2	ほぼする	163	21.2	25.3
3	時々する	177	23.0	27.5
4	あまりしない	42	5.5	6.5
5	全くしない	16	2.1	2.5
	無回答	126	16.4	
	N (%ベース)	770	100	644

【Q8-F-1】疼痛緩和薬 同じ薬効の薬を複数使用しているとき (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	該当する	591	94.1	94.7
2	該当しない	33	5.3	5.3
	無回答	4	0.6	
	N (%ベース)	628	100	624

【Q8-F-2】疼痛緩和薬 疼痛が十分コントロールされているとき (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	該当する	563	89.6	89.9
2	該当しない	63	10.0	10.1
	無回答	2	0.3	
	N (%ベース)	628	100	626

【Q8-F-3】疼痛緩和薬 薬を持ち込んでいた場合、持参薬がなくなったとき (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	該当する	586	93.3	93.8
2	該当しない	39	6.2	6.2
	無回答	3	0.5	
	N (%ベース)	628	100	625

【Q8-F-4】疼痛緩和薬 副作用が出たとき (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	該当する	619	98.6	98.9
2	該当しない	7	1.1	1.1
	無回答	2	0.3	
	N (%ベース)	628	100	626

【Q8-G】高脂血症治療薬 利用開始時における薬剤別の見直し等 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	必ずする	248	32.2	38.6
2	ほぼする	157	20.4	24.5
3	時々する	133	17.3	20.7
4	あまりしない	79	10.3	12.3
5	全くしない	25	3.2	3.9
	無回答	128	16.6	
	N (%ベース)	770	100	642

【Q8-G-1】高脂血症治療薬 同じ薬効の薬を複数使用しているとき (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	該当する	574	93.0	93.5
2	該当しない	40	6.5	6.5
	無回答	3	0.5	
	N (%ベース)	617	100	614

【Q8-G-2】高脂血症治療薬 薬を持ち込んでいた場合、持参薬がなくなったとき (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	該当する	559	90.6	91.0
2	該当しない	55	8.9	9.0
	無回答	3	0.5	
	N (%ベース)	617	100	614

【Q8-G-3】高脂血症治療薬 副作用が出たとき (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	該当する	602	97.6	98.4
2	該当しない	10	1.6	1.6
	無回答	5	0.8	
	N (%ベース)	617	100	612

【Q8-3-A】退所時に、減らした薬について、その理由を診療情報提供書に記載の有無 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	必ずする	160	20.8	24.9
2	ほぼする	154	20.0	24.0
3	時々する	129	16.8	20.1
4	あまりしない	157	20.4	24.5
5	全くしない	42	5.5	6.5
	無回答	128	16.6	
	N (%ベース)	770	100	642

【Q8-3-B】減量したことを在宅の主治医から非難されたこと (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	ほぼ毎回	5	0.6	0.8
2	時々	60	7.8	9.3
3	ほとんど(全く)ない	578	75.1	89.9
	無回答	127	16.5	
	N (%ベース)	770	100	643

【Q8-3-C】減量したことを利用者から批判されたこと (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	ほぼ毎回	9	1.2	1.4
2	時々	155	20.1	24.1
3	ほとんど(全く)ない	478	62.1	74.5
	無回答	128	16.6	
	N (%ベース)	770	100	642

【Q8-3-D】減量したことを利用者の家族から批判されたこと (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	ほぼ毎回	7	0.9	1.1
2	時々	160	20.8	24.9
3	ほとんど(全く)ない	475	61.7	74.0
	無回答	128	16.6	
	N (%ベース)	770	100	642

【Q8-3-E】減量した薬が元にもどって利用者が再入所したという経験 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	ほぼ毎回	17	2.2	2.6
2	時々	224	29.1	34.9
3	ほとんど(全く)ない	401	52.1	62.5
	無回答	128	16.6	
	N (%ベース)	770	100	642

【Q9-1】施設の調査時点の入所者数 (数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	30人未満	13	1.7	2.1
2	30人以上50人未満	42	5.5	6.9
3	50人以上80人未満	151	19.6	24.8
4	80人以上100人未満	288	37.4	47.2
5	100人以上	116	15.1	19.0
	無回答	160	20.8	
	N (%ベース)	770	100	610

【Q9-2-1】入所者の薬の自己管理について 全て自己管理 (数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	0人	303	39.4	69.5
2	1人以上3人未満	68	8.8	15.6
3	3人以上5人未満	32	4.2	7.3
4	5人以上10人未満	16	2.1	3.7
5	10人以上	17	2.2	3.9
	無回答	334	43.4	
	N (%ベース)	770	100	436

【Q9-2-2】入所者の薬の自己管理について 一部自己管理 (数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	0人	307	39.9	70.3
2	1人以上3人未満	77	10.0	17.6
3	3人以上5人未満	21	2.7	4.8
4	5人以上10人未満	22	2.9	5.0
5	10人以上	10	1.3	2.3
	無回答	333	43.2	
	N (%ベース)	770	100	437

【Q9-2-3】入所者の薬の自己管理について 自己管理はしない (数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	0人	22	2.9	3.7
2	1人以上3人未満	3	0.4	0.5
3	3人以上5人未満	5	0.6	0.8
4	5人以上10人未満	1	0.1	0.2
5	10人以上	558	72.5	94.7
	無回答	181	23.5	
	N (%ベース)	770	100	589

【Q9-3-1】難病の入所者 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	いる	373	48.4	58.9
2	いない	260	33.8	41.1
	無回答	137	17.8	
	N (%ベース)	770	100	633

【Q9-3-2】難病の入所者 人数 (数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	1人以上3人未満	171	45.8	51.5
2	3人以上5人未満	83	22.3	25.0
3	5人以上10人未満	59	15.8	17.8
4	10人以上	19	5.1	5.7
	無回答	41	11.0	
	N (%ベース)	373	100	332

【Q9-4】難病の方がいる場合の高額薬剤での困りごと (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	困っている	207	55.5	57.0
2	困っていない	156	41.8	43.0
	無回答	10	2.7	
	N (%ベース)	373	100	363

【Q9-5-1】血糖定期測定の入所者 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	いる	582	75.6	91.2
2	いない	56	7.3	8.8
	無回答	132	17.1	
	N (%ベース)	770	100	638

【Q9-5-2】血糖定期測定の入所者 人数 (数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	1人以上3人未満	62	10.7	12.0
2	3人以上5人未満	84	14.4	16.2
3	5人以上10人未満	151	25.9	29.2
4	10人以上	221	38.0	42.7
	無回答	64	11.0	
	N (%ベース)	582	100	518

【Q9-6-1】インスリンを使用している入所者 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	いる	465	60.4	72.5
2	いない	176	22.9	27.5
	無回答	129	16.8	
	N (%ベース)	770	100	641

【Q9-6-2】インスリンを使用している入所者 人数 (数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	1人以上3人未満	246	52.9	57.6
2	3人以上5人未満	109	23.4	25.5
3	5人以上10人未満	55	11.8	12.9
4	10人以上	17	3.7	4.0
	無回答	38	8.2	
	N (%ベース)	465	100	427

【Q9-7】インスリン使用の受け入れ利用回数の上限 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	設けていない	317	68.2	68.5
2	1日4回まで	14	3.0	3.0
3	1日3回まで	42	9.0	9.1
4	1日2回まで	56	12.0	12.1
5	1日1回まで	25	5.4	5.4
6	その他	9	1.9	1.9
	無回答	2	0.4	
	N (%ベース)	465	100	463

【Q9-8】スライディング・スケールを利用の有無 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	している	159	34.2	34.7
2	していない	299	64.3	65.3
	無回答	7	1.5	
	N (%ベース)	465	100	458

【Q9-9】在宅復帰に向けて、インスリンの利用の削減 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	している	184	39.6	40.1
2	していない	275	59.1	59.9
	無回答	6	1.3	
	N (%ベース)	465	100	459

【Q9-10-1】ワーファリンを使用している入所者 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	いる	617	80.1	96.9
2	いない	20	2.6	3.1
	無回答	133	17.3	
	N (%ベース)	770	100	637

【Q9-10-2】ワーファリンを使用している入所者 人数 (数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	1人以上3人未満	86	13.9	16.6
2	3人以上5人未満	127	20.6	24.5
3	5人以上10人未満	212	34.4	40.9
4	10人以上	93	15.1	18.0
	無回答	99	16.0	
	N (%ベース)	617	100	518

【Q9-11-1】ワーファリン以外の抗凝固薬を使用している入所者 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	いる	474	61.6	74.8
2	いない	160	20.8	25.2
	無回答	136	17.7	
	N (%ベース)	770	100	634

【Q9-11-2】ワーファリン以外の抗凝固薬を使用している入所者 (数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	1人以上3人未満	112	23.6	27.1
2	3人以上5人未満	70	14.8	16.9
3	5人以上10人未満	78	16.5	18.9
4	10人以上	153	32.3	37.0
	無回答	61	12.9	
	N (%ベース)	474	100	413

【Q9-12-1】透析使用している入所者 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	いる	40	5.2	6.3
2	いない	599	77.8	93.7
	無回答	131	17.0	
	N (%ベース)	770	100	639

【Q9-12-2】透析使用している入所者 人数 (数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	1人以上3人未満	17	42.5	48.6
2	3人以上5人未満	9	22.5	25.7
3	5人以上10人未満	3	7.5	8.6
4	10人以上	6	15.0	17.1
	無回答	5	12.5	
	N (%ベース)	40	100	35

【Q9-13】平成27年10月1か月間の病原細菌培養の総検査数 (数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	0回	299	38.8	72.2
2	1回以上3回未満	68	8.8	16.4
3	3回以上5回未満	23	3.0	5.6
4	5回以上10回未満	15	1.9	3.6
5	10回以上	9	1.2	2.2
	無回答	356	46.2	
	N (%ベース)	770	100	414

【Q10-1】バルプロ酸ナトリウム 血中濃度の測定頻度 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	随時	178	23.1	28.6
2	3～6か月に1回程度	159	20.6	25.5
3	1年に1回程度	77	10.0	12.4
4	その他	209	27.1	33.5
	無回答	147	19.1	
	N (%ベース)	770	100	623

【Q10-2】ジゴキシン 血中濃度の測定頻度 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	随時	179	23.2	29.2
2	3～6か月に1回程度	147	19.1	24.0
3	1年に1回程度	64	8.3	10.5
4	その他	222	28.8	36.3
	無回答	158	20.5	
	N (%ベース)	770	100	612

【Q10-3】テオフィリン 血中濃度の測定頻度 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	随時	174	22.6	29.0
2	3～6か月に1回程度	98	12.7	16.3
3	1年に1回程度	68	8.8	11.3
4	その他	261	33.9	43.4
	無回答	169	21.9	
	N (%ベース)	770	100	601

【Q11-1A】地域包括支援センターとの連携 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	熱心に取り組んでいる	143	18.6	22.3
2	どちらかと言えば取り組んでいる	189	24.5	29.4
3	どちらとも言えない	210	27.3	32.7
4	全く取り組んでいない	100	13.0	15.6
	無回答	128	16.6	
	N (%ベース)	770	100	642

【Q11-1B】関連または地元の福祉施設やホーム等との連携 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	熱心に取り組んでいる	143	18.6	22.3
2	どちらかと言えば取り組んでいる	205	26.6	32.0
3	どちらとも言えない	216	28.1	33.7
4	全く取り組んでいない	77	10.0	12.0
	無回答	129	16.8	
	N (%ベース)	770	100	641

【Q11-1C】地元医師会との連携 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	熱心に取り組んでいる	143	18.6	22.2
2	どちらかと言えば取り組んでいる	214	27.8	33.3
3	どちらとも言えない	199	25.8	30.9
4	全く取り組んでいない	87	11.3	13.5
	無回答	127	16.5	
	N (%ベース)	770	100	643

【Q11-2A】入所者／短期入所者について 主治医との連携 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	必ずする	289	37.5	45.0
2	ほぼする	129	16.8	20.1
3	時々する	104	13.5	16.2
4	あまりしない	99	12.9	15.4
5	全くしない	21	2.7	3.3
	無回答	128	16.6	
	N (%ベース)	770	100	642

【Q11-2B】通所リハ／訪問リハ利用者について 主治医との連携 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	必ずする	140	18.2	22.3
2	ほぼする	100	13.0	15.9
3	時々する	163	21.2	26.0
4	あまりしない	171	22.2	27.2
5	全くしない	54	7.0	8.6
	無回答	142	18.4	
	N (%ベース)	770	100	628

【Q12-1】高齢者の薬剤に対する反応について、一般成人との違いについて在宅復帰後の主治医の理解度 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	よく理解している	214	27.8	34.2
2	やや理解している	261	33.9	41.8
3	あまり理解していない	137	17.8	21.9
4	全く理解していない	13	1.7	2.1
	無回答	145	18.8	
	N (%ベース)	770	100	625

【Q12-2】老年医学会が作成した、高齢者薬物治療ガイドライン (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	内容までよく理解している	190	24.7	29.6
2	内容は知らないが、存在は知っている	334	43.4	52.0
3	知らない	118	15.3	18.4
	無回答	128	16.6	
	N (%ベース)	770	100	642

【Q12-3】老年医学会が作成した、高齢者に対する適切な医療提供の指針 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	内容までよく理解している	160	20.8	25.0
2	内容は知らないが、存在は知っている	328	42.6	51.3
3	知らない	152	19.7	23.8
	無回答	130	16.9	
	N (%ベース)	770	100	640

【Q12-4】WHOの除痛ラダーについて (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	内容までよく理解している	182	23.6	28.6
2	内容は知らないが、存在は知っている	254	33.0	39.9
3	知らない	200	26.0	31.4
	無回答	134	17.4	
	N (%ベース)	770	100	636

(2) 利用者調査 (初回)

【Q-1】都道府県		(SA)		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	北海道	50	3.6	3.9
2	青森県	5	0.4	0.4
3	岩手県	18	1.3	1.4
4	宮城県	17	1.2	1.3
5	秋田県	23	1.7	1.8
6	山形県	28	2.0	2.2
7	福島県	11	0.8	0.9
8	茨城県	33	2.4	2.6
9	栃木県	10	0.7	0.8
10	群馬県	40	2.9	3.1
11	埼玉県	26	1.9	2.0
12	千葉県	38	2.8	3.0
13	東京都	42	3.1	3.3
14	神奈川県	44	3.2	3.5
15	新潟県	23	1.7	1.8
16	富山県	20	1.5	1.6
17	石川県	10	0.7	0.8
18	福井県	10	0.7	0.8
19	山梨県	13	0.9	1.0
20	長野県	21	1.5	1.7
21	岐阜県	22	1.6	1.7
22	静岡県	17	1.2	1.3
23	愛知県	58	4.2	4.6
24	三重県	48	3.5	3.8
25	滋賀県	22	1.6	1.7
26	京都府	49	3.6	3.9
27	大阪府	95	6.9	7.5
28	兵庫県	90	6.5	7.1
29	奈良県	10	0.7	0.8
30	和歌山県	11	0.8	0.9
31	鳥取県	5	0.4	0.4
32	島根県	20	1.5	1.6
33	岡山県	15	1.1	1.2
34	広島県	48	3.5	3.8
35	山口県	6	0.4	0.5
36	徳島県	1	0.1	0.1
37	香川県	23	1.7	1.8
38	愛媛県	36	2.6	2.8
39	高知県	5	0.4	0.4
40	福岡県	55	4.0	4.3
41	佐賀県	20	1.5	1.6
42	長崎県	20	1.5	1.6
43	熊本県	59	4.3	4.6
44	大分県	15	1.1	1.2
45	宮崎県	10	0.7	0.8
46	鹿児島県	23	1.7	1.8
47	沖縄県	5	0.4	0.4
	無回答	105	7.6	
	N (%ベース)	1375	100	1270

【Q1-1】性別		(SA)		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	男性	352	25.6	25.7
2	女性	1016	73.9	74.3
	無回答	7	0.5	
	N (%ベース)	1375	100	1368

【Q1-2】年齢 (数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	70歳未満	70	5.1	5.1
2	70代	208	15.1	15.2
3	80代	719	52.3	52.5
4	90代以上	372	27.1	27.2
	無回答	6	0.4	
	N (%ベース)	1375	100	1369

【Q1-4】入所前の主な居場所 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	併設・関連病院等の一般(急・慢性期等)病床(回復期除く)	221	16.1	16.2
2	地域の医療機関の一般(急・慢性期等)病床(回復期除く)	353	25.7	25.9
3	併設・関連病院等の療養病床(回復期除く)	46	3.3	3.4
4	地域の医療機関の療養病床(回復期除く)	48	3.5	3.5
5	併設・関連病院等の回復期リハ病床	43	3.1	3.2
6	地域の医療機関の回復期リハ病床	82	6.0	6.0
7	自宅(同居)	314	22.8	23.0
8	自宅(独居)	88	6.4	6.5
9	老健施設	44	3.2	3.2
10	特養	12	0.9	0.9
11	老健・特養以外の介護施設等	71	5.2	5.2
12	その他	44	3.2	3.2
	無回答	11	0.8	
	N (%ベース)	1375	100	1364

【Q1-5】平成27年4月以降の入所の利用状況 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	平成27年4月以降の入所は今回が初(平成27年4月以降に複数回の入所はない)	1020	74.2	75.6
2	平成27年4月以降に複数回入所(分かれば下に入所回数をご記入ください)	330	24.0	24.4
	無回答	25	1.8	
	N (%ベース)	1375	100	1350

【Q1-5-2】平成27年4月から現在までに複数回入所した場合の入所回数 (数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	1回	233	70.6	74.9
2	2回	62	18.8	19.9
3	3回以上	16	4.8	5.1
	無回答	19	5.8	
	N (%ベース)	330	100	311

【Q1-6】入所前の定期的な在宅医療・通院の利用 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	在宅医療(当該法人)	60	4.4	5.1
2	在宅医療(当該法人以外)	109	7.9	9.2
3	通院(当該法人)	238	17.3	20.1
4	通院(当該法人以外)	808	58.8	68.1
	無回答	189	13.7	
	N (%ベース)	1375	100	1186

【Q1-7】入所前の主治医の減薬・増薬に対する考え方・対応について (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	可能な限り減薬する方針	190	13.8	14.5
2	やや減薬する方針	69	5.0	5.3
3	現状を維持する方針	368	26.8	28.0
4	やや増薬する方針	11	0.8	0.8
5	可能な限り増薬する方針	13	0.9	1.0
6	わからない	661	48.1	50.4
	無回答	63	4.6	
	N (%ベース)	1375	100	1312

【Q1-8】身長

(数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	140cm未満	151	11.0	12.4
2	140cm台	504	36.7	41.2
3	150cm台	358	26.0	29.3
4	160cm台	172	12.5	14.1
5	170cm台以上	37	2.7	3.0
	無回答	153	11.1	
	N (%ベース)	1375	100	1222

【Q1-9】入所時の体重

(数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	30kg未満	44	3.2	3.5
2	30kg台	355	25.8	28.0
3	40kg台	488	35.5	38.5
4	50kg台	268	19.5	21.2
5	60kg台以上	111	8.1	8.8
	無回答	109	7.9	
	N (%ベース)	1375	100	1266

【Q2-1-1】要介護度【入所時】

(数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	要介護1	207	15.1	15.3
2	要介護2	304	22.1	22.5
3	要介護3	330	24.0	24.4
4	要介護4	320	23.3	23.7
5	要介護5	191	13.9	14.1
	無回答	23	1.7	
	N (%ベース)	1375	100	1352

【Q2-1-2】要介護度【入所1か月後】

(数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	要介護1	200	14.5	15.0
2	要介護2	294	21.4	22.0
3	要介護3	314	22.8	23.5
4	要介護4	333	24.2	25.0
5	要介護5	193	14.0	14.5
	無回答	41	3.0	
	N (%ベース)	1375	100	1334

【Q2-2-1】障害高齢者の日常生活自立度【入所時】

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	J1	13	0.9	1.0
2	J2	20	1.5	1.5
3	A1	147	10.7	10.8
4	A2	278	20.2	20.4
5	B1	285	20.7	20.9
6	B2	434	31.6	31.8
7	C1	60	4.4	4.4
8	C2	126	9.2	9.2
	無回答	12	0.9	
	N (%ベース)	1375	100	1363

【Q2-2-2】障害高齢者の日常生活自立度【入所1か月後】

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	J1	8	0.6	0.6
2	J2	19	1.4	1.4
3	A1	157	11.4	11.9
4	A2	281	20.4	21.3
5	B1	296	21.5	22.4
6	B2	402	29.2	30.4
7	C1	48	3.5	3.6
8	C2	110	8.0	8.3
	無回答	54	3.9	
	N (%ベース)	1375	100	1321

【Q2-3-1】認知症自立度【入所時】

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	自立	108	7.9	8.0
2	I	156	11.3	11.5
3	II a	196	14.3	14.4
4	II b	310	22.5	22.8
5	III a	363	26.4	26.8
6	III b	104	7.6	7.7
7	IV	103	7.5	7.6
8	M	17	1.2	1.3
	無回答	18	1.3	
	N (%ベース)	1375	100	1357

【Q2-3-2】認知症自立度【入所1か月後】

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	自立	106	7.7	8.0
2	I	152	11.1	11.5
3	II a	191	13.9	14.5
4	II b	315	22.9	23.9
5	III a	352	25.6	26.7
6	III b	98	7.1	7.4
7	IV	88	6.4	6.7
8	M	18	1.3	1.4
	無回答	55	4.0	
	N (%ベース)	1375	100	1320

【Q2-4-1】胃瘻の有無【入所時】

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	なし	1315	95.6	96.1
2	あり	53	3.9	3.9
	無回答	7	0.5	
	N (%ベース)	1375	100	1368

【Q2-4-2】胃瘻の有無【入所1か月後】

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	なし	1247	90.7	96.0
2	あり	52	3.8	4.0
	無回答	76	5.5	
	N (%ベース)	1375	100	1299

【Q2-5-1】経管栄養(胃瘻除く)の有無【入所時】

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	なし	1343	97.7	98.2
2	あり	25	1.8	1.8
	無回答	7	0.5	
	N (%ベース)	1375	100	1368

【Q2-5-2】経管栄養(胃瘻除く)の有無【入所1か月後】

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	なし	1271	92.4	98.2
2	あり	23	1.7	1.8
	無回答	81	5.9	
	N (%ベース)	1375	100	1294

【Q2-6-1】薬の自己管理【入所時】 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	全て自己管理(1週間分程度、全てを管理)	34	2.5	2.5
2	一部自己管理(1日分程度を管理、自己管理しない薬がある等)	32	2.3	2.3
3	自己管理はしない	1298	94.4	95.2
	無回答	11	0.8	
	N (%ベース)	1375	100	1364

【Q2-6-2】薬の自己管理【入所1か月後】 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	全て自己管理(1週間分程度、全てを管理)	28	2.0	2.3
2	一部自己管理(1日分程度を管理、自己管理しない薬がある等)	23	1.7	1.9
3	自己管理はしない	1178	85.7	95.9
	無回答	146	10.6	
	N (%ベース)	1375	100	1229

【Q2-7】高血圧症 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	なし	577	42.0	42.5
2	あり	781	56.8	57.5
	無回答	17	1.2	
	N (%ベース)	1375	100	1358

【Q2-8】心房細動 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	なし	1196	87.0	87.9
2	あり	164	11.9	12.1
	無回答	15	1.1	
	N (%ベース)	1375	100	1360

【Q2-9】脳梗塞 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	なし	967	70.3	71.2
2	あり	392	28.5	28.8
	無回答	16	1.2	
	N (%ベース)	1375	100	1359

【Q2-10】心筋梗塞 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	なし	1311	95.3	96.3
2	あり	51	3.7	3.7
	無回答	13	0.9	
	N (%ベース)	1375	100	1362

【Q2-11】アルツハイマー型認知症 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	なし	929	67.6	69.0
2	あり	417	30.3	31.0
	無回答	29	2.1	
	N (%ベース)	1375	100	1346

【Q2-12】パーキンソン病 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	なし	1291	93.9	94.6
2	あり	73	5.3	5.4
	無回答	11	0.8	
	N (%ベース)	1375	100	1364

【Q2-13】糖尿病

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	なし	1130	82.2	83.0
2	あり	232	16.9	17.0
	無回答	13	0.9	
	N (%ベース)	1375	100	1362

【Q2-14-1】前述以外の診断名リスト【入所時】

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	脳梗塞	44	3.2	3.6
2	脳出血	101	7.3	8.3
3	多発性脳梗塞	10	0.7	0.8
4	くも膜下出血	28	2.0	2.3
5	硬膜下血腫	25	1.8	2.1
6	硬膜下血腫および脳挫傷	11	0.8	0.9
7	その他の脳血管疾患	24	1.7	2.0
8	高血圧症(認知症や脳血管障害など他の病態を伴わない)	44	3.2	3.6
9	慢性心不全	161	11.7	13.2
10	心筋梗塞	5	0.4	0.4
11	狭心症	79	5.7	6.5
12	不整脈	37	2.7	3.0
13	心房細動	10	0.7	0.8
14	その他の心疾患	71	5.2	5.8
15	閉塞性動脈硬化症	16	1.2	1.3
16	その他の中枢または末梢血管の疾患	25	1.8	2.1
17	アルツハイマー型認知症	37	2.7	3.0
18	脳血管性認知症	76	5.5	6.2
19	レビー小体型認知症	15	1.1	1.2
20	下記以外の認知症(脳血管性・アルツハイマー型・混合型・レビー小体型・ピック病)	58	4.2	4.8
21	前頭・側頭葉型認知症(ピック病等)	4	0.3	0.3
22	混合型認知症	17	1.2	1.4
23	まだ確定診断のついていない認知症	85	6.2	7.0
24	うつ病	61	4.4	5.0
25	統合失調症	13	0.9	1.1
26	その他の精神疾患	32	2.3	2.6
27	パーキンソン病	9	0.7	0.7
28	パーキンソン病以外の脊髄小脳変性疾患	5	0.4	0.4
29	症候性てんかん、てんかん	43	3.1	3.5
30	その他の中枢神経疾患	3	0.2	0.2
31	末梢神経疾患	7	0.5	0.6
32	糖尿病(認知症や脳血管障害など他の病態を伴わない)	17	1.2	1.4
33	栄養障害	8	0.6	0.7
34	肥満	3	0.2	0.2
35	脂質異常症(高脂血症)	112	8.1	9.2
36	甲状腺機能障害	24	1.7	2.0
37	その他の代謝・内分泌疾患	11	0.8	0.9
38	脊髄損傷	4	0.3	0.3
39	脊柱管狭窄症	84	6.1	6.9
40	変形性脊椎症	47	3.4	3.9
41	下肢の変形性関節症(股関節・膝関節)	148	10.8	12.1
42	上肢の変形性関節症(肩関節・肘関節)	9	0.7	0.7
43	大腿骨の骨折(手術を行った)	156	11.3	12.8
44	大腿骨以外の骨折(手術を行った)	31	2.3	2.5
45	骨折(保存的治療のみ)	66	4.8	5.4
46	骨粗しょう症	168	12.2	13.8
47	圧迫骨折	137	10.0	11.2
48	後縦靭帯骨化症	3	0.2	0.2
49	その他の骨・脊椎疾患	52	3.8	4.3
50	関節リウマチ	39	2.8	3.2
51	関節リウマチ以外の全身性結合組織障害	4	0.3	0.3
52	筋、軟部組織の障害	13	0.9	1.1
53	気管支喘息	54	3.9	4.4

54	肺気腫等慢性閉塞性肺疾患	28	2.0	2.3
55	誤嚥性・吸引性(不顕性)肺炎などの慢性呼吸器感染症	41	3.0	3.4
56	急性呼吸器感染症	1	0.1	0.1
57	その他肺および胸膜など呼吸器の疾患	29	2.1	2.4
58	腎不全(慢性・急性を含む)	77	5.6	6.3
59	尿路結石症など尿路の疾患	15	1.1	1.2
60	尿路感染症(膀胱炎など)	36	2.6	3.0
61	乳房・女性生殖器・骨盤臓器の疾患	23	1.7	1.9
62	前立腺肥大症などの男性生殖器の疾患	75	5.5	6.2
63	胃・食道疾患	101	7.3	8.3
64	小腸・大腸の疾患	55	4.0	4.5
65	肝胆膵の疾患	57	4.1	4.7
66	ヘルニア	19	1.4	1.6
67	肛門の疾患	6	0.4	0.5
68	その他の消化器の疾患(腹膜、口腔、唾液腺、顎等を含む)	8	0.6	0.7
69	悪性新生物	83	6.0	6.8
70	良性新生物およびその他特定されない新生物	1	0.1	0.1
71	緑内障・白内障などの眼およびその付属器の疾患	130	9.5	10.7
72	耳および乳様突起の疾患	5	0.4	0.4
73	疥癬・蜂窩織炎・白癬等感染症	6	0.4	0.5
74	水疱症(天疱瘡・類天疱瘡等)	4	0.3	0.3
75	アレルギー性皮膚疾患	3	0.2	0.2
76	褥創	11	0.8	0.9
77	皮膚の外傷およびその他の皮膚疾患	22	1.6	1.8
78	感染症	3	0.2	0.2
79	貧血	62	4.5	5.1
80	貧血以外の血液・免疫および凝固系の疾患	6	0.4	0.5
81	周産期や小児期の疾患の後遺症(脳性麻痺、精神発達遅滞を含む)	5	0.4	0.4
82	先天奇形・変形および染色体異常	2	0.1	0.2
83	損傷、中毒及びその他の外因の影響	3	0.2	0.2
84	PTCA等心臓手術の既往	7	0.5	0.6
85	ペースメーカー装着者	29	2.1	2.4
86	気管切開状態	2	0.1	0.2
87	透析	1	0.1	0.1
88	尿道カテーテル留置や人工膀胱状態	28	2.0	2.3
89	経鼻胃管や胃瘻等経管栄養状態	18	1.3	1.5
90	HBVキャリア	8	0.6	0.7
91	HCVキャリア	20	1.5	1.6
92	褥創	6	0.4	0.5
93	片麻痺	47	3.4	3.9
94	失語	34	2.5	2.8
95	片麻痺・失語以外の高次機能障害	14	1.0	1.1
	無回答	156	11.3	
	N (%ベース)	1375	100	1219

【Q2-14-2】前述以外の診断名リスト【入所1か月後】

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	脳梗塞	37	2.7	3.5
2	脳出血	84	6.1	8.0
3	多発性脳梗塞	9	0.7	0.9
4	くも膜下出血	21	1.5	2.0
5	硬膜下血腫	20	1.5	1.9
6	硬膜下血腫および脳挫傷	11	0.8	1.1
7	その他の脳血管疾患	19	1.4	1.8
8	高血圧症(認知症や脳血管障害など他の病態を伴わない)	41	3.0	3.9
9	慢性心不全	144	10.5	13.8
10	心筋梗塞	4	0.3	0.4
11	狭心症	70	5.1	6.7
12	不整脈	32	2.3	3.1
13	心房細動	11	0.8	1.1
14	その他の心疾患	63	4.6	6.0
15	閉塞性動脈硬化症	11	0.8	1.1
16	その他の中枢または末梢血管の疾患	23	1.7	2.2
17	アルツハイマー型認知症	35	2.5	3.4
18	脳血管性認知症	70	5.1	6.7
19	レビー小体型認知症	15	1.1	1.4
20	下記以外の認知症(脳血管性・アルツハイマー型・混合型・レビー小体型・ピック病)	45	3.3	4.3
21	前頭・側頭葉型認知症(ピック病等)	3	0.2	0.3
22	混合型認知症	17	1.2	1.6
23	まだ確定診断のついていない認知症	74	5.4	7.1
24	うつ病	53	3.9	5.1
25	統合失調症	12	0.9	1.1
26	その他の精神疾患	30	2.2	2.9
27	パーキンソン病	7	0.5	0.7
28	パーキンソン病以外の脊髄小脳変性疾患	5	0.4	0.5
29	症候性てんかん、てんかん	37	2.7	3.5
30	その他の中枢神経疾患	3	0.2	0.3
31	末梢神経疾患	6	0.4	0.6
32	糖尿病(認知症や脳血管障害など他の病態を伴わない)	14	1.0	1.3
33	栄養障害	8	0.6	0.8
34	肥満	3	0.2	0.3
35	脂質異常症(高脂血症)	97	7.1	9.3
36	甲状腺機能障害	18	1.3	1.7
37	その他の代謝・内分泌疾患	11	0.8	1.1
38	脊髄損傷	4	0.3	0.4
39	脊柱管狭窄症	75	5.5	7.2
40	変形性脊椎症	38	2.8	3.6
41	下肢の変形性関節症(股関節・膝関節)	130	9.5	12.5
42	上肢の変形性関節症(肩関節・肘関節)	9	0.7	0.9
43	大腿骨の骨折(手術を行った)	120	8.7	11.5
44	大腿骨以外の骨折(手術を行った)	21	1.5	2.0
45	骨折(保存的治療のみ)	54	3.9	5.2
46	骨粗しょう症	150	10.9	14.4
47	圧迫骨折	104	7.6	10.0
48	後縦靭帯骨化症	2	0.1	0.2
49	その他の骨・脊椎疾患	45	3.3	4.3
50	関節リウマチ	34	2.5	3.3
51	関節リウマチ以外の全身性結合組織障害	4	0.3	0.4
52	筋、軟部組織の障害	9	0.7	0.9
53	気管支喘息	46	3.3	4.4
54	肺気腫等慢性閉塞性肺疾患	25	1.8	2.4
55	誤嚥性・吸引性(不顕性)肺炎などの慢性呼吸器感染症	23	1.7	2.2
56	急性呼吸器感染症	0	0.0	0.0
57	その他肺および胸膜など呼吸器の疾患	17	1.2	1.6
58	腎不全(慢性・急性を含む)	68	4.9	6.5
59	尿路結石症など尿路の疾患	13	0.9	1.2
60	尿路感染症(膀胱炎など)	27	2.0	2.6
61	乳房・女性生殖器・骨盤臓器の疾患	20	1.5	1.9
62	前立腺肥大症などの男性生殖器の疾患	67	4.9	6.4
63	胃・食道疾患	85	6.2	8.1
64	小腸・大腸の疾患	48	3.5	4.6
65	肝胆膵の疾患	45	3.3	4.3
66	ヘルニア	16	1.2	1.5
67	肛門の疾患	5	0.4	0.5

68	その他の消化器の疾患(腹膜、口腔、唾液腺、顎等を含む)	7	0.5	0.7
69	悪性新生物	70	5.1	6.7
70	良性新生物およびその他特定されない新生物	0	0.0	0.0
71	緑内障・白内障などの眼およびその付属器の疾患	107	7.8	10.2
72	耳および乳様突起の疾患	4	0.3	0.4
73	疥癬・蜂窩織炎・白癬等感染症	4	0.3	0.4
74	水疱症(天疱瘡・類天疱瘡等)	4	0.3	0.4
75	アレルギー性皮膚疾患	3	0.2	0.3
76	褥創	8	0.6	0.8
77	皮膚の外傷およびその他の皮膚疾患	18	1.3	1.7
78	感染症	3	0.2	0.3
79	貧血	44	3.2	4.2
80	貧血以外の血液・免疫および凝固系の疾患	6	0.4	0.6
81	周産期や小児期の疾患の後遺症(脳性麻痺、精神発達遅滞を含む)	4	0.3	0.4
82	先天奇形・変形および染色体異常	2	0.1	0.2
83	損傷、中毒及びその他の外因の影響	2	0.1	0.2
84	PTCA等心臓手術の既往	5	0.4	0.5
85	ペースメーカー装着者	27	2.0	2.6
86	気管切開状態	2	0.1	0.2
87	透析	1	0.1	0.1
88	尿道カテーテル留置や人工膀胱状態	26	1.9	2.5
89	経鼻胃管や胃瘻等経管栄養状態	17	1.2	1.6
90	HBVキャリア	7	0.5	0.7
91	HCVキャリア	19	1.4	1.8
92	褥創	2	0.1	0.2
93	片麻痺	44	3.2	4.2
94	失語	33	2.4	3.2
95	片麻痺・失語以外の高次機能障害	14	1.0	1.3
	無回答	331	24.1	
	N (%ベース)	1375	100	1044

【Q2-16-1】指定難病【入所時】

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
6	HTLV-1関連脊髄症	1	0.1	2.6
8	黄色靭帯骨化症	2	0.1	5.1
35	後縦靭帯骨化症	2	0.1	5.1
36	甲状腺ホルモン不応症	1	0.1	2.6
40	混合性結合組織病	1	0.1	2.6
45	シェーグレン症候群	3	0.2	7.7
47	自己免疫性肝炎	1	0.1	2.6
52	神経線維腫症	1	0.1	2.6
56	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	0.1	2.6
57	成人スチル病	1	0.1	2.6
58	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	1	0.1	2.6
63	全身性強皮症	1	0.1	2.6
69	多系統萎縮症	2	0.1	5.1
72	多発性嚢胞腎	1	0.1	2.6
81	特発性血小板減少性紫斑病	2	0.1	5.1
84	膿疱性乾癬(汎発型)	1	0.1	2.6
85	パーキンソン病	17	1.2	43.6
91	肥大型心筋症	1	0.1	2.6
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	1	0.1	2.6
270	慢性再発性多発性骨髄炎	1	0.1	2.6
	無回答	1336	97.2	
	N (%ベース)	1375	100	39

【Q2-16-2】指定難病【入所1か月後】

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
8	黄色靭帯骨化症	1	0.1	3.3
35	後縦靭帯骨化症	2	0.1	6.7
40	混合性結合組織病	1	0.1	3.3
45	シェーグレン症候群	1	0.1	3.3
47	自己免疫性肝炎	1	0.1	3.3
52	神経線維腫症	1	0.1	3.3
56	ステイーヴンス・ジョンソン症候群	1	0.1	3.3
57	成人スチル病	1	0.1	3.3
58	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	1	0.1	3.3
63	全身性強皮症	1	0.1	3.3
69	多系統萎縮症	2	0.1	6.7
72	多発性嚢胞腎	1	0.1	3.3
81	特発性血小板減少性紫斑病	2	0.1	6.7
84	膿疱性乾癬(汎発型)	1	0.1	3.3
85	パーキンソン病	13	0.9	43.3
91	肥大型心筋症	1	0.1	3.3
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	1	0.1	3.3
270	慢性再発性多発性骨髄炎	1	0.1	3.3
	無回答	1345	97.8	
	N (%ベース)	1375	100	30

【Q2-17-1】血清クレアチニン値【入所時】

(数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	0.5mg未満	118	8.6	13.7
2	0.5mg以上1mg未満	557	40.5	64.6
3	1mg以上1.5mg未満	138	10.0	16.0
4	1.5mg以上2mg未満	27	2.0	3.1
5	2mg以上	22	1.6	2.6
	無回答	513	37.3	
	N (%ベース)	1375	100	862

【Q2-17-2】血清クレアチニン値【入所1か月後】

(数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	0.5mg未満	27	2.0	13.2
2	0.5mg以上1mg未満	123	8.9	60.0
3	1mg以上1.5mg未満	35	2.5	17.1
4	1.5mg以上2mg未満	8	0.6	3.9
5	2mg以上	12	0.9	5.9
	無回答	1170	85.1	
	N (%ベース)	1375	100	205

【Q2-18-1】HbA1c【入所時】

(数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	5%未満	26	1.9	7.0
2	5%	203	14.8	54.4
3	6%	102	7.4	27.3
4	7%	21	1.5	5.6
5	8%以上	21	1.5	5.6
	無回答	1002	72.9	
	N (%ベース)	1375	100	373

【Q2-18-2】HbA1c【入所1か月後】

(数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	5%未満	3	0.2	3.2
2	5%	46	3.3	48.4
3	6%	29	2.1	30.5
4	7%	12	0.9	12.6
5	8%以上	5	0.4	5.3
	無回答	1280	93.1	
	N (%ベース)	1375	100	95

【Q3-1-1】基本動作【入所時】

(数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	ステージ5	328	23.9	24.0
2	ステージ4	407	29.6	29.7
3	ステージ3	236	17.2	17.2
4	ステージ2	200	14.5	14.6
5	ステージ1	198	14.4	14.5
	無回答	6	0.4	
	N (%ベース)	1375	100	1369

【Q3-1-2】基本動作【入所1か月後】

(数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	ステージ5	369	26.8	27.3
2	ステージ4	439	31.9	32.5
3	ステージ3	180	13.1	13.3
4	ステージ2	184	13.4	13.6
5	ステージ1	180	13.1	13.3
	無回答	23	1.7	
	N (%ベース)	1375	100	1352

【Q3-2-1】歩行・移動【入所時】

(数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	ステージ5	13	0.9	0.9
2	ステージ4	27	2.0	2.0
3	ステージ3	267	19.4	19.5
4	ステージ2	843	61.3	61.6
5	ステージ1	219	15.9	16.0
	無回答	6	0.4	
	N (%ベース)	1375	100	1369

【Q3-2-2】歩行・移動【入所1か月後】

(数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	ステージ5	13	0.9	1.0
2	ステージ4	32	2.3	2.4
3	ステージ3	332	24.1	24.6
4	ステージ2	801	58.3	59.3
5	ステージ1	173	12.6	12.8
	無回答	24	1.7	
	N (%ベース)	1375	100	1351

【Q3-3-1】排泄の動作【入所時】

(数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	ステージ5	265	19.3	19.4
2	ステージ4	319	23.2	23.3
3	ステージ3	310	22.5	22.7
4	ステージ2	317	23.1	23.2
5	ステージ1	156	11.3	11.4
	無回答	8	0.6	
	N (%ベース)	1375	100	1367

【Q3-3-2】排泄の動作【入所1か月後】

(数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	ステージ5	294	21.4	21.8
2	ステージ4	335	24.4	24.9
3	ステージ3	294	21.4	21.8
4	ステージ2	280	20.4	20.8
5	ステージ1	145	10.5	10.8
	無回答	27	2.0	
	N (%ベース)	1375	100	1348

【Q3-4-1】オリエンテーション【入所時】

(数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	ステージ5	370	26.9	27.1
2	ステージ4	376	27.3	27.5
3	ステージ3	369	26.8	27.0
4	ステージ2	202	14.7	14.8
5	ステージ1	49	3.6	3.6
	無回答	9	0.7	
	N (%ベース)	1375	100	1366

【Q3-4-2】オリエンテーション【入所1か月後】

(数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	ステージ5	382	27.8	28.3
2	ステージ4	391	28.4	29.0
3	ステージ3	352	25.6	26.1
4	ステージ2	181	13.2	13.4
5	ステージ1	44	3.2	3.3
	無回答	25	1.8	
	N (%ベース)	1375	100	1350

【Q3-5-1】コミュニケーション【入所時】

(数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	ステージ5	338	24.6	24.7
2	ステージ4	235	17.1	17.2
3	ステージ3	291	21.2	21.3
4	ステージ2	400	29.1	29.3
5	ステージ1	102	7.4	7.5
	無回答	9	0.7	
	N (%ベース)	1375	100	1366

【Q3-5-2】コミュニケーション【入所1か月後】

(数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	ステージ5	351	25.5	26.0
2	ステージ4	233	16.9	17.3
3	ステージ3	284	20.7	21.0
4	ステージ2	391	28.4	29.0
5	ステージ1	91	6.6	6.7
	無回答	25	1.8	
	N (%ベース)	1375	100	1350

【Q3-6-1】精神活動【入所時】

(数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	ステージ5	311	22.6	22.8
2	ステージ4	259	18.8	19.0
3	ステージ3	359	26.1	26.3
4	ステージ2	384	27.9	28.2
5	ステージ1	50	3.6	3.7
	無回答	12	0.9	
	N (%ベース)	1375	100	1363

【Q3-6-2】精神活動【入所1か月後】

(数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	ステージ5	310	22.5	23.0
2	ステージ4	271	19.7	20.1
3	ステージ3	349	25.4	25.9
4	ステージ2	369	26.8	27.4
5	ステージ1	48	3.5	3.6
	無回答	28	2.0	
	N (%ベース)	1375	100	1347

【Q3-A-1】A群【入所時】

(数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	0個	1001	72.8	79.3
2	1個	156	11.3	12.4
3	2個	60	4.4	4.8
4	3個	38	2.8	3.0
5	4個	5	0.4	0.4
6	5個	2	0.1	0.2
7	6個	1	0.1	0.1
	無回答	112	8.1	
	N (%ベース)	1375	100	1263

【Q3-A-2】A群【入所1か月後】

(数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	0個	1011	73.5	81.3
2	1個	140	10.2	11.3
3	2個	61	4.4	4.9
4	3個	24	1.7	1.9
5	4個	6	0.4	0.5
6	5個	1	0.1	0.1
7	6個	1	0.1	0.1
	無回答	131	9.5	
	N (%ベース)	1375	100	1244

【Q3-B-1】B群【入所時】

(数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	0個	843	61.3	66.2
2	1個	296	21.5	23.2
3	2個	90	6.5	7.1
4	3個	26	1.9	2.0
5	4個	12	0.9	0.9
6	5個	6	0.4	0.5
7	6個	1	0.1	0.1
	無回答	101	7.3	
	N (%ベース)	1375	100	1274

【Q3-B-2】B群【入所1か月後】

(数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	0個	866	63.0	68.9
2	1個	271	19.7	21.6
3	2個	81	5.9	6.4
4	3個	22	1.6	1.8
5	4個	10	0.7	0.8
6	5個	6	0.4	0.5
7	6個	0	0.0	0.0
	無回答	119	8.7	
	N (%ベース)	1375	100	1256

【Q5-3-2-1】入所前から入所1か月後までの間に減薬・増薬について (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	あった(減薬による)	64	4.7	6.2
2	あった(増薬による)	47	3.4	4.6
3	なかった	916	66.6	89.2
	無回答	348	25.3	
	N (%ベース)	1375	100	1027

【Q5-3-3】入所から1か月間に発生した出来事 (MA)

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	ない	1003	72.9	85.0
2	脳梗塞	3	0.2	0.3
3	脳出血	5	0.4	0.4
4	急性心筋梗塞	0	0.0	0.0
5	心不全	6	0.4	0.5
6	肺炎	11	0.8	0.9
7	低血糖(意識障害または60未満)	4	0.3	0.3
8	転倒	55	4.0	4.7
9	せん妄	24	1.7	2.0
10	その他	82	6.0	6.9
	無回答	195	14.2	
	N (%ベース)	1375	100	1180

(3) 利用者調査 (2 か月後)

【Q0-1】都道府県		(SA)		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	北海道	50	3.6	3.9
2	青森県	5	0.4	0.4
3	岩手県	18	1.3	1.4
4	宮城県	17	1.2	1.3
5	秋田県	23	1.7	1.8
6	山形県	28	2.0	2.2
7	福島県	11	0.8	0.9
8	茨城県	33	2.4	2.6
9	栃木県	10	0.7	0.8
10	群馬県	40	2.9	3.1
11	埼玉県	26	1.9	2.0
12	千葉県	38	2.8	3.0
13	東京都	42	3.1	3.3
14	神奈川県	44	3.2	3.5
15	新潟県	23	1.7	1.8
16	富山県	20	1.5	1.6
17	石川県	10	0.7	0.8
18	福井県	10	0.7	0.8
19	山梨県	13	0.9	1.0
20	長野県	21	1.5	1.7
21	岐阜県	22	1.6	1.7
22	静岡県	17	1.2	1.3
23	愛知県	58	4.2	4.6
24	三重県	48	3.5	3.8
25	滋賀県	22	1.6	1.7
26	京都府	49	3.6	3.9
27	大阪府	95	6.9	7.5
28	兵庫県	90	6.5	7.1
29	奈良県	10	0.7	0.8
30	和歌山県	11	0.8	0.9
31	鳥取県	5	0.4	0.4
32	島根県	20	1.5	1.6
33	岡山県	15	1.1	1.2
34	広島県	48	3.5	3.8
35	山口県	6	0.4	0.5
36	徳島県	1	0.1	0.1
37	香川県	23	1.7	1.8
38	愛媛県	36	2.6	2.8
39	高知県	5	0.4	0.4
40	福岡県	55	4.0	4.3
41	佐賀県	20	1.5	1.6
42	長崎県	20	1.5	1.6
43	熊本県	59	4.3	4.6
44	大分県	15	1.1	1.2
45	宮崎県	10	0.7	0.8
46	鹿児島県	23	1.7	1.8
47	沖縄県	5	0.4	0.4
	無回答	105	7.6	
	N (%ベース)	1375	100	1270

【Q1-1】調査対象者の2か月継続入所		(SA)		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	はい	1323	96.2	96.9
2	いいえ	43	3.1	3.1
	無回答	9	0.7	
	N (%ベース)	1375	100	1366

【Q1-2】入所からの日数 (数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	30日未満	2	4.7	5.0
2	30日以上60日未満	26	60.5	65.0
3	60日以上90日未満	11	25.6	27.5
4	90日以上120日未満	0	0.0	0.0
5	120日以上	1	2.3	2.5
	無回答	3	7.0	
	N (%ベース)	43	100	40

【Q1-3】退所予定先 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	併設・関連病院等の一般(急・慢性期等)病床(回復期除く)	4	9.3	10.3
2	地域の医療機関の一般(急・慢性期等)病床(回復期除く)	8	18.6	20.5
3	併設・関連病院等の療養病床(回復期除く)	0	0.0	0.0
4	地域の医療機関の療養病床(回復期除く)	0	0.0	0.0
5	併設・関連病院等の回復期リハ病床	0	0.0	0.0
6	地域の医療機関の回復期リハ病床	0	0.0	0.0
7	自宅(同居)	20	46.5	51.3
8	自宅(独居)	2	4.7	5.1
9	老健施設	0	0.0	0.0
10	特養	4	9.3	10.3
11	老健・特養以外の介護施設等	1	2.3	2.6
12	死亡退所	0	0.0	0.0
13	その他	0	0.0	0.0
	無回答	4	9.3	
	N (%ベース)	43	100	39

【Q1-4】退所後の定期的な在宅医療・通院の利用予定 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	在宅医療(当該法人)	1	2.3	3.2
2	在宅医療(当該法人以外)	2	4.7	6.5
3	通院(当該法人)	11	25.6	35.5
4	通院(当該法人以外)	19	44.2	61.3
	無回答	12	27.9	
	N (%ベース)	43	100	31

【Q1-6】退所後の主治医の減薬・増薬に対しての考え方・対応について (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	可能な限り減薬する方針	3	7.0	7.9
2	やや減薬する方針	0	0.0	0.0
3	現状を維持する方針	17	39.5	44.7
4	やや増薬する方針	0	0.0	0.0
5	可能な限り増薬する方針	0	0.0	0.0
6	わからない	18	41.9	47.4
	無回答	5	11.6	
	N (%ベース)	43	100	38

【Q2-1】要介護度 (数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	要介護1	200	14.5	14.6
2	要介護2	300	21.8	21.9
3	要介護3	318	23.1	23.3
4	要介護4	342	24.9	25.0
5	要介護5	207	15.1	15.1
	無回答	8	0.6	
	N (%ベース)	1375	100	1367

【Q2-2】障害高齢者の日常生活自立度 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	J1	8	0.6	0.6
2	J2	24	1.7	1.8
3	A1	170	12.4	12.5
4	A2	289	21.0	21.2
5	B1	304	22.1	22.3
6	B2	418	30.4	30.7
7	C1	45	3.3	3.3
8	C2	104	7.6	7.6
	無回答	13	0.9	
	N (%ベース)	1375	100	1362

【Q2-3】認知症自立度 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	自立	118	8.6	8.7
2	I	150	10.9	11.0
3	II a	204	14.8	15.0
4	II b	328	23.9	24.2
5	III a	339	24.7	25.0
6	III b	104	7.6	7.7
7	IV	101	7.3	7.4
8	M	14	1.0	1.0
	無回答	17	1.2	
	N (%ベース)	1375	100	1358

【Q2-4】胃瘰の有無 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	なし	1317	95.8	96.0
2	あり	55	4.0	4.0
	無回答	3	0.2	
	N (%ベース)	1375	100	1372

【Q2-5】経管栄養(胃瘰除く)の有無 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	なし	1347	98.0	98.4
2	あり	22	1.6	1.6
	無回答	6	0.4	
	N (%ベース)	1375	100	1369

【Q2-6】薬の自己管理 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	全て自己管理(1週間分程度、全てを管理)	32	2.3	2.4
2	一部自己管理(1日分程度を管理、自己管理しない薬がある等)	38	2.8	2.8
3	自己管理はしない	1285	93.5	94.8
	無回答	20	1.5	
	N (%ベース)	1375	100	1355

【Q2-7】主な疾患

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	脳梗塞	237	17.2	17.9
2	脳出血	113	8.2	8.5
3	多発性脳梗塞	21	1.5	1.6
4	くも膜下出血	29	2.1	2.2
5	硬膜下血腫	21	1.5	1.6
6	硬膜下血腫および脳挫傷	12	0.9	0.9
7	その他の脳血管疾患	26	1.9	2.0
8	高血圧症(認知症や脳血管障害など他の病態を伴わない)	301	21.9	22.7
9	慢性心不全	170	12.4	12.8
10	心筋梗塞	27	2.0	2.0
11	狭心症	79	5.7	6.0
12	不整脈	33	2.4	2.5
13	心房細動	72	5.2	5.4
14	その他の心疾患	76	5.5	5.7
15	閉塞性動脈硬化症	15	1.1	1.1
16	その他の中枢または末梢血管の疾患	25	1.8	1.9
17	アルツハイマー型認知症	244	17.7	18.4
18	脳血管性認知症	92	6.7	6.9
19	レビー小体型認知症	15	1.1	1.1
20	下記以外の認知症(脳血管性・アルツハイマー型・混合型・レビー小体型・ピック病)	71	5.2	5.4
21	前頭・側頭葉型認知症(ピック病等)	3	0.2	0.2
22	混合型認知症	19	1.4	1.4
23	まだ確定診断のついていない認知症	81	5.9	6.1
24	うつ病	61	4.4	4.6
25	統合失調症	12	0.9	0.9
26	その他の精神疾患	36	2.6	2.7
27	パーキンソン病	39	2.8	2.9
28	パーキンソン病以外の脊髄小脳変性疾患	4	0.3	0.3
29	症候性てんかん、てんかん	44	3.2	3.3
30	その他の中枢神経疾患	4	0.3	0.3
31	末梢神経疾患	5	0.4	0.4
32	糖尿病(認知症や脳血管障害など他の病態を伴わない)	118	8.6	8.9
33	栄養障害	5	0.4	0.4
34	肥満	4	0.3	0.3
35	脂質異常症(高脂血症)	101	7.3	7.6
36	甲状腺機能障害	25	1.8	1.9
37	その他の代謝・内分泌疾患	10	0.7	0.8
38	脊髄損傷	5	0.4	0.4
39	脊柱管狭窄症	82	6.0	6.2
40	変形性脊椎症	45	3.3	3.4
41	下肢の変形性関節症(股関節・膝関節)	148	10.8	11.2
42	上肢の変形性関節症(肩関節・肘関節)	7	0.5	0.5
43	大腿骨の骨折(手術を行った)	153	11.1	11.5
44	大腿骨以外の骨折(手術を行った)	22	1.6	1.7
45	骨折(保存的治療のみ)	59	4.3	4.4
46	骨粗しょう症	158	11.5	11.9
47	圧迫骨折	131	9.5	9.9
48	後縦靭帯骨化症	3	0.2	0.2
49	その他の骨・脊椎疾患	51	3.7	3.8
50	関節リウマチ	38	2.8	2.9
51	関節リウマチ以外の全身性結合組織障害	5	0.4	0.4
52	筋、軟部組織の障害	11	0.8	0.8
53	気管支喘息	50	3.6	3.8
54	肺気腫等慢性閉塞性肺疾患	27	2.0	2.0
55	誤嚥性・吸引性(不顕性)肺炎などの慢性呼吸器感染症	27	2.0	2.0
56	急性呼吸器感染症	4	0.3	0.3
57	その他肺および胸膜など呼吸器の疾患	28	2.0	2.1
58	腎不全(慢性・急性を含む)	79	5.7	6.0
59	尿路結石症など尿路の疾患	13	0.9	1.0
60	尿路感染症(膀胱炎など)	30	2.2	2.3
61	乳房・女性生殖器・骨盤臓器の疾患	18	1.3	1.4
62	前立腺肥大症などの男性生殖器の疾患	67	4.9	5.0
63	胃・食道疾患	85	6.2	6.4
64	小腸・大腸の疾患	54	3.9	4.1
65	肝胆膵の疾患	51	3.7	3.8

66	ヘルニア	16	1.2	1.2
67	肛門の疾患	5	0.4	0.4
68	その他の消化器の疾患(腹膜、口腔、唾液腺、顎等を含む)	10	0.7	0.8
69	悪性新生物	76	5.5	5.7
70	良性新生物およびその他特定されない新生物	1	0.1	0.1
71	緑内障・白内障などの眼およびその付属器の疾患	112	8.1	8.4
72	耳および乳様突起の疾患	5	0.4	0.4
73	疥癬・蜂窩織炎・白癬等感染症	4	0.3	0.3
74	水疱症(天疱瘡・類天疱瘡等)	5	0.4	0.4
75	アレルギー性皮膚疾患	3	0.2	0.2
76	褥創	8	0.6	0.6
77	皮膚の外傷およびその他の皮膚疾患	24	1.7	1.8
78	感染症	3	0.2	0.2
79	貧血	51	3.7	3.8
80	貧血以外の血液・免疫および凝固系の疾患	6	0.4	0.5
81	周産期や小児期の疾患の後遺症(脳性麻痺、精神発達遅滞を含む)	2	0.1	0.2
82	先天奇形・変形および染色体異常	2	0.1	0.2
83	損傷、中毒及びその他の外因の影響	2	0.1	0.2
84	PTCA等心臓手術の既往	5	0.4	0.4
85	ペースメーカー装着者	30	2.2	2.3
86	気管切開状態	2	0.1	0.2
87	透析	1	0.1	0.1
88	尿道カテーテル留置や人工膀胱状態	17	1.2	1.3
89	経鼻胃管や胃瘻等経管栄養状態	15	1.1	1.1
90	HBVキャリア	7	0.5	0.5
91	HCVキャリア	16	1.2	1.2
92	褥創	4	0.3	0.3
93	片麻痺	47	3.4	3.5
94	失語	31	2.3	2.3
95	片麻痺・失語以外の高次機能障害	10	0.7	0.8
	無回答	48	3.5	
	N (%ベース)	1375	100	1327

【Q2-9】指定難病		(MA)		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	IgA腎症	1	0.1	2.3
4	アジソン病	1	0.1	2.3
6	HTLV-1関連脊髄症	1	0.1	2.3
8	黄色靭帯骨化症	2	0.1	4.7
35	後縦靭帯骨化症	2	0.1	4.7
36	甲状腺ホルモン不応症	1	0.1	2.3
40	混合性結合組織病	1	0.1	2.3
45	シェーグレン症候群	4	0.3	9.3
47	自己免疫性肝炎	1	0.1	2.3
52	神経線維腫症	1	0.1	2.3
56	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	0.1	2.3
57	成人スチル病	1	0.1	2.3
58	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	2	0.1	4.7
63	全身性強皮症	1	0.1	2.3
69	多系統萎縮症	1	0.1	2.3
71	多発性硬化症/視神経脊髄炎	1	0.1	2.3
72	多発性嚢胞腎	1	0.1	2.3
81	特発性血小板減少性紫斑病	2	0.1	4.7
84	膿疱性乾癬(汎発型)	1	0.1	2.3
85	パーキンソン病	19	1.4	44.2
91	肥大型心筋症	1	0.1	2.3
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	1	0.1	2.3
270	慢性再発性多発性骨髄炎	1	0.1	2.3
	無回答	1332	96.9	
	N (%ベース)	1375	100	43

【Q2-10】血清クレアチニン値

(数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	0.5mg未満	50	3.6	11.1
2	0.5mg以上1mg未満	302	22.0	67.3
3	1mg以上1.5mg未満	68	4.9	15.1
4	1.5mg以上2mg未満	12	0.9	2.7
5	2mg以上	17	1.2	3.8
	無回答	926	67.3	
	N (%ベース)	1375	100	449

【Q2-11】HbA1c

(数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	5%未満	7	0.5	3.7
2	5%	97	7.1	51.3
3	6%	63	4.6	33.3
4	7%	14	1.0	7.4
5	8%以上	8	0.6	4.2
	無回答	1186	86.3	
	N (%ベース)	1375	100	189

【Q3-1】基本動作

(数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	ステージ5	370	26.9	27.1
2	ステージ4	442	32.1	32.3
3	ステージ3	188	13.7	13.8
4	ステージ2	179	13.0	13.1
5	ステージ1	188	13.7	13.8
	無回答	8	0.6	
	N (%ベース)	1375	100	1367

【Q3-2】歩行・移動

(数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	ステージ5	15	1.1	1.1
2	ステージ4	36	2.6	2.6
3	ステージ3	344	25.0	25.2
4	ステージ2	799	58.1	58.4
5	ステージ1	173	12.6	12.7
	無回答	8	0.6	
	N (%ベース)	1375	100	1367

【Q3-3】排泄の動作

(数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	ステージ5	304	22.1	22.2
2	ステージ4	331	24.1	24.2
3	ステージ3	304	22.1	22.2
4	ステージ2	274	19.9	20.0
5	ステージ1	154	11.2	11.3
	無回答	8	0.6	
	N (%ベース)	1375	100	1367

【Q3-4】オリエンテーション

(数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	ステージ5	394	28.7	28.9
2	ステージ4	397	28.9	29.1
3	ステージ3	343	24.9	25.2
4	ステージ2	184	13.4	13.5
5	ステージ1	44	3.2	3.2
	無回答	13	0.9	
	N (%ベース)	1375	100	1362

【Q3-5】コミュニケーション

(数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	ステージ5	365	26.5	26.8
2	ステージ4	247	18.0	18.1
3	ステージ3	278	20.2	20.4
4	ステージ2	379	27.6	27.8
5	ステージ1	95	6.9	7.0
	無回答	11	0.8	
	N (%ベース)	1375	100	1364

【Q3-6】精神活動

(数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	ステージ5	315	22.9	23.2
2	ステージ4	280	20.4	20.6
3	ステージ3	343	24.9	25.2
4	ステージ2	381	27.7	28.0
5	ステージ1	40	2.9	2.9
	無回答	16	1.2	
	N (%ベース)	1375	100	1359

【Q3-A】A群

(数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	0個	1015	73.8	82.1
2	1個	144	10.5	11.7
3	2個	50	3.6	4.0
4	3個	20	1.5	1.6
5	4個	4	0.3	0.3
6	5個	2	0.1	0.2
7	6個	1	0.1	0.1
	無回答	139	10.1	
	N (%ベース)	1375	100	1236

【Q3-B】B群

(数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	0個	889	64.7	71.6
2	1個	250	18.2	20.1
3	2個	74	5.4	6.0
4	3個	18	1.3	1.4
5	4個	8	0.6	0.6
6	5個	3	0.2	0.2
7	6個	0	0.0	0.0
	無回答	133	9.7	
	N (%ベース)	1375	100	1242

【Q4-3-2-1】入所1か月後から2か月後までの間の減薬・増薬について

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	あった(減薬による)	43	3.1	4.3
2	あった(増薬による)	54	3.9	5.4
3	なかった	903	65.7	90.3
	無回答	375	27.3	
	N (%ベース)	1375	100	1000

【Q4-3-3】入所1か月後から2か月後までに発生した出来事

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	ない	985	71.6	83.2
2	脳梗塞	2	0.1	0.2
3	脳出血	6	0.4	0.5
4	急性心筋梗塞	0	0.0	0.0
5	心不全	5	0.4	0.4
6	肺炎	10	0.7	0.8
7	低血糖(意識障害または60未満)	3	0.2	0.3
8	転倒	57	4.1	4.8
9	せん妄	28	2.0	2.4
10	その他	100	7.3	8.4
	無回答	191	13.9	
	N (%ベース)	1375	100	1184

介護老人保健施設における薬物治療の在り方に関する調査研究事業 ～ 実施要綱 ～

1. 事業の目的

高齢者は複数疾患に罹患していることから、多剤併用とそれに伴う薬物有害事象とノンアドヒアランス(薬を正しく飲まない)リスクを抱えている上、複数の医療機関を受診することで、同じ効能の薬を複数から処方されている可能性があります。

介護老人保健施設(以下、老健施設)では、入所時に高齢者の多剤併用、重複投与や有害事象について把握し、管理することが可能であり、入所後は、療養環境の変化とアドヒアランスの改善により、減薬が必要となるケースもございます。

そこで、本事業では老健施設入所時に投与されていた薬剤に関して、入所中の変更やその考え方について実態を把握し、多剤投与が多く見られる薬剤について老年医学の観点から適正な投与方法を検討することを目的としております。

本調査結果は、老健施設において適切な薬剤マネジメントを行うことにより、薬剤による有害事象の減少や薬剤費の抑制、病院から施設そして在宅へといった流れにおいて必要となる、在宅に向けた治療内容の見直しに資する非常に意義のある研究となります。

本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

2. 調査対象施設

全老健に加盟の全施設を調査対象とします。

3. 調査票について

本調査は、管理医師調査と個別調査を行います。

《管理医師調査票》

施設の管理医師がご記入ください。(管理医師以外が記入がされる場合は、管理医師の協力を得てご記入ください)

ご記入いただいた調査票は平成27年12月7日(月)までに「④管理医師調査票在中」と記載された返信用封筒にて当協会宛ご郵送ください。

《個別調査》

①個別調査の対象および選定

平成27年8月1日～10月上旬に入所(短期入所除く)された方(この期間内に入所利用を開始した方、再入所の方も可)で、本事業の協力について同意を得られた方を対象とさせていただきます。

対象者は1施設5名までご協力ください。(6名以上ご協力いただいた場合、調査票の不足分はコピーまたは全老健ホームページ(<http://www.roken.or.jp/member/>)からダウンロードしてください)

また、期間中に対象となり得る方がいない場合は若干であれば8月～10月上旬という対象期間を変更して頂いて構いません。(ご不明な点は全老健事務局までお問い合わせください)

②同意書について

調査の実施に当たっては「同意書」を用い、調査対象者及びそのご家族に事前に本調査の趣旨などをご説明いただくとともに、同意を得てください(同意を得られない方は、本調査の対象者から除外してください)。

同意が得られましたら「説明及び協力同意書」に署名・捺印を頂いてください。なお、ご本人から直接の同意を受けることが困難な場合には、ご本人の意思及び利益を代弁できると考えられる「代諾者」の同意を得てください。

(注)同意書の取り付けについて

本調査は、利用者ご本人の医療・介護に関する情報を収集することになりますので、お手数でも「同意書」の書式をご利用頂き、必ず説明及び協力同意書の取り付けを行って頂きますようお願い致します。同意を得る際には、どのようなデータを利用するか「調査票」を提示の上、説明をお願いいたします。

また、調査対象者が認知症等により有効なインフォームド・コンセントを与えることができないと客観的に判断される場合には、代諾者(当該調査対象者の法定代理人等、調査対象者の意思及び利益を代弁できると考えられる方)の同意と署名により、調査への同意取り付けに替えることが可能です。

この調査により得られたデータは、当協会が実施する別の調査等で使用する可能性がございます。その場合も個人が特定できるような情報は一切公表いたしませんので、調査対象者並びに調査実施者のプライバシーは守られます。

なお、途中で調査への協力を撤回されたい場合は、いつでも同意を取り消すことができます。この場合は、「同意書」の最後にあります「協力同意撤回書」にご署名頂いたうえ、ご一報下さい。

調査対象者全員分の「同意書」については、本事業実施中は貴施設にて保管して頂き、事業終了後まとめて、平成28年1月8日(金)までに「個別調査票(2か月後または退所時調査票)」とともに当協会あてご郵送ください。

③個別調査の記入・実施について

(1) 調査票の記入について(対比較の利用/調査記入者)

調査票への入力是对象者の氏名等が特定出来ないように番号等、貴施設で自由に設定した番号等のIDにて表記してください。ただし、内容の確認が後からできるように、「対比較」に「ID」と「氏名」をご記入いただき、貴施設にて保管をお願いいたします。調査の記入は施設の職員であれば職種は問いません。医療的な内容も含まれますので、設問に応じ、医師等にもご協力いただき、ご記入ください。

なお、対象となる方の人数把握のため、平成27年12月7日(月)までに名前を消した「対比較」のコピーを事務局までお送りください。(人数把握が出来るものであれば、「対比較」のコピー以外でも構いません)

(2) 調査内容について

個別調査は「初回調査(入所時及び入所1か月後調査)」と「2か月後または退所時調査(入所から2か月後、2か月未満で退所の場合は退所時の状況の調査)」の2回行ってください。調査票に対象者の氏名は記載せず、(1)で決めた対比較のIDを対象者IDの欄にご記入ください。

(3) 初回調査(入所時及び入所1か月後調査)

同意を得られた方の入所時点の状況と入所から1か月後について、「②個別調査票(初回調査(入所時及び入所1か月後調査))」にご記入ください。(対象が平成27年8月1日～10月上旬に入所開始した方のため遡っての調査となります)

ご記入いただいた「②個別調査票(初回調査(入所時及び入所1か月後調査))」は、まとめて平成27年12月14日(月)までに返信用封筒にて当協会あてご郵送ください。

(4) 入所 2 か月後または退所時調査

(3) 「初回調査」を実施した方について、入所から 2 か月後の状況について「③個別調査票（入所 2 か月後または退所時調査）」にご記入ください。入所から 2 か月未満で退所される場合は退所時の状況をご記入ください。

ご記入いただいた「③個別調査票（入所 2 か月後または退所時調査）」は、「同意書」と合わせて、まとめて平成 28 年 1 月 8 日（金）までに返信用封筒にて当協会あてご郵送ください。

※本事業にご協力頂いた方について、今後、追加で調査のご協力をお願いする可能性があります。その場合は、必要書類を揃えたりえで改めてご依頼をさせていただきますが、貴施設におかれましても、追加調査が可能となるように事業終了後も当面の間は貴施設にて対比表を保管していただければ幸いです。退所された方につきましても、再入所した場合、その時の状況等についての調査のご協力をお願いする可能性があります。

4. 各種書類の提出締切（再掲）

各種書類は返信用封筒で当協会あてご郵送ください。

- ・管理医師調査票：平成 27 年 12 月 7 日（月）
- ・名前を消した対比表のコピー（対象者の人数が分かるものであれば他の物でも可）：平成 27 年 12 月 7 日（月）
- ・個別調査票（初回調査（入所時及び入所 1 か月後調査））：平成 27 年 12 月 14 日（月）
- ・個別調査票（入所 2 か月後または退所時調査）及び同意書：平成 28 年 1 月 8 日（金）

(注) 提出期限厳守のお願い

上記の各種書類の提出につきましては、可能な限り期限を厳守して頂きますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。ただし、締切後の調査票につきましても、今後の様々な基礎データとして使用させて頂く可能性があります。締切に間に合わなかった場合であっても可能な限りご提出をお願いいたします。

5. その他

- ・本調査により得られた調査結果は、当協会が他の調査を実施する上での基礎データとして活用させて頂くことを想定しております。あくまでも基礎データとしての活用の為、分析・解析の際に使用するだけであり、個人が特定できるような情報は一切公表されることとはございません。追加で調査を行う場合等については、改めて同意書を取り交わす等の配慮をいたします。
- ・調査票等は、全老健ホームページ <http://www.roken.or.jp/member/> からダウンロード可能です。（ユーザー名/パスワードは不要です。）
- ・本調査にご協力いただけない場合であっても、いかなる不利益も発生致しません。

6. 問い合わせ先

公益社団法人全国老人保健施設協会 業務部業務第一課
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 6 階
TEL：03-3432-4165 FAX：03-3432-4172
メールアドレス：research@roken.or.jp

介護老人保健施設における薬物治療の在り方に関する調査研究事業
【①管理医師調査票】

選択式の設問は回答欄に該当する番号をご記入ください

都道府県	施設名	施設TEL
------	-----	-------

貴施設の主たる管理医師(施設長等)(以下、管理医師)についてご回答ください。
問1 ④のその他については()に内容をご記入ください。

①年齢	歳	②老健勤続年数	年	③性別	年	回答欄
④専門 (該当全て)	1.あらゆる内科(神経内科除く) 3.脳神経外科 6.泌尿器科 10.精神科 14.皮膚科 16.その他()	2.あらゆる外科(脳神経・整形・形成外科除く) 4.整形外科・形成外科 7.老年科 11.公衆衛生 15.基礎医学	5.産婦人科 9.神経内科 12.眼科 13.耳鼻咽喉科			
⑤役職	1.オーナー 3.いずれでもない	2.オーナーではないが経営に関与する理事等である				

問2 管理医師の勤務時間

①1日の勤務時間	時間	②オンコール体制	③当直	④性別	回答欄
		1.あり 2.なし	1.あり 2.なし	1.あり 2.なし	

問3 貴施設の管理医師を補助する医師について

①主な応援体制について	1.特定の医師が応援している 2.特定ではないが、隣接病院・診療所の医師が応援している 3.単独でおこなっている	回答欄			
①にて1.特定の医師が応援している」を選んだ場合は、補助する医師について以下②～⑤にお答えください					
②年齢	歳	③老健勤続年数	年	④性別	回答欄
⑤専門 (該当全て)	1.あらゆる内科(神経内科除く) 3.脳神経外科 6.泌尿器科 10.精神科 14.皮膚科 17.その他()	2.あらゆる外科(脳神経・整形・形成外科除く) 4.整形外科・形成外科 7.老年科 11.公衆衛生 15.歯科 16.基礎医学	5.産婦人科 9.神経内科 12.眼科 13.耳鼻咽喉科		

問4 貴施設が往診をお願いしている診療科(該当するもの全て選択)

1.あらゆる内科(神経内科除く) 3.脳神経外科 7.老年科 12.眼科 16.その他()	4.整形外科・形成外科 8.リハビリ科 13.耳鼻咽喉科	5.産婦人科 9.神経内科 14.皮膚科	6.泌尿器科 10.精神科 15.歯科	11.公衆衛生	回答欄
--	------------------------------------	----------------------------	---------------------------	---------	-----

問5 管理医師の研修の状況

①管理医師研修会(老年医学会主催のⅠ期・Ⅱ期計4日間のもの)	1.過去に参加(またはH27年に参加している) 2.参加していない	回答欄
②全老健主催の医師研修会(2日間の研修)	1.複数回参加 3.一度も参加したことがない	2.1回は参加
③老健医療研究会	1.複数回参加 3.一度も参加したことがない	2.1回は参加
④認知症短期集中リハビリテーション実施加算を算定するための研修会	1.複数回参加している 3.一度も参加したことがない	2.1回は参加
⑤認知症サポート医研修	1.複数回参加している 3.一度も参加したことがない	2.1回は参加
⑥かかりつけ医認知症対応力向上研修	1.複数回参加している 3.一度も参加したことがない	2.1回は参加

問6 管理医師における学会への加盟状況等

①日本老年医学会への加盟	1.加盟し、関連雑誌に論文を投稿している 2.加盟し、年次学術集会にも参加している 3.加盟しているが年次学術集会には参加していない 4.加盟していない	回答欄
②その他加盟学会	1.具体的に 2.具体的に	

問7 医師チーム(管理医師及び補助医師)としての診療内容

①利用開始時に医師は利用者を診察する	1.必ず診察する 3.診察しない	2.症状によっては診察する	回答欄
②利用開始時に医師は利用者の状態を診療録に	1.必ず記入する 3.記入しない	2.症状によっては記入する	
③利用開始時の利用者の診断名を診療録に	1.医師が記載 2.医師の診断に基づいて代理人が記載 3.記載していない		
④回診等、利用者への定期的な診察(悪化時を除く)	1.1週に1回以上の頻度 3.2～3週に1回程度 5.2～3か月に1回程度	2.1週に1回程度 4.1か月に1回程度 6.行っていない	
⑤褥瘡保有者に対する定期的な診察	1.1週に1回以上の頻度 3.2～3週に1回程度 5.2～3か月に1回程度	2.1週に1回程度 4.1か月に1回程度 6.行っていない	
⑥専門医との連携	1.必要に応じて医師以外のスタッフが専門医の往診や対診を依頼 2.必要に応じて専門医の往診や対診を医師が依頼 3.行っていない(施設内ですべて対応)		

問8 管理医師の利用者に対する投薬における対応

①利用開始時に医師は「投薬がある場合」薬の見直しを		2. 場合によっては見直す		回答欄
1. ほぼ必ず見直す 3. 行わない		2. 場合によっては見直す		
②利用開始時における薬剤別の見直し等について				
利用開始時に見直しを		1. 必ずする 4. あまりしない 3. 時々する		
1. 血圧が低いとき		2. ほぼする 5. 全くしない		
2. 血圧が十分コントロールされているとき		1. 該当する (目安があれば下にご記入ください) 2. 該当しない		
3. 同じ薬効の薬を複数使用しているとき		目安があれば / mmHg		
4. 高頻な薬剤を使用しているとき		1. 該当する 2. 該当しない		
5. 施設・病院の薬局に該当する薬剤がないとき		1. 該当する 2. 該当しない		
6. 薬を持ち込んでいた場合、持参薬がなくなつたとき		1. 該当する 2. 該当しない		
7. 副作用が出たとき		1. 該当する 2. 該当しない		
8. その他				
A 降圧剤				
1)利用開始時に見直しを		1. 必ずする 4. あまりしない 3. 時々する		
1. 睡眠薬は原則中止又は減量しているため		2. ほぼする 5. 全くしない		
2. 主観的睡眠障害はあっても、客観的な睡眠障害はない場合(夜は実際に寝ているという報告がある等)		1. 該当する 2. 該当しない		
3. 転倒の危険性が高いと考えられるため		1. 該当する 2. 該当しない		
4. 同じ薬効の薬を複数使用しているとき		1. 該当する 2. 該当しない		
5. 薬を持ち込んでいた場合、持参薬がなくなつたとき		1. 該当する 2. 該当しない		
6. 副作用が出たとき		1. 該当する 2. 該当しない		
7. その他				
B 睡眠薬				

②利用開始時における薬剤別の見直し等について(続き)

1)利用開始時に見直しを		1. 必ずする 4. あまりしない 3. 時々する		
1. 同じ薬効の薬を複数使用しているとき		1. 該当する 2. 該当しない		
2. 高頻な薬剤を使用しているとき		1. 該当する 2. 該当しない		
3. 転倒の危険性が高いとき		1. 該当する 2. 該当しない		
4. 薬を持ち込んでいた場合、持参薬がなくなつたとき		1. 該当する 2. 該当しない		
5. 副作用が出たとき		1. 該当する 2. 該当しない		
6. その他				
C 抗血小板薬				
1)利用開始時に見直しを		1. 必ずする 4. あまりしない 3. 時々する		
1. 同じ薬効の薬を複数使用しているとき		1. 該当する 2. 該当しない		
2. 高頻な薬剤を使用しているとき		1. 該当する 2. 該当しない		
3. 転倒の危険性が高いとき		1. 該当する 2. 該当しない		
4. 薬を持ち込んでいた場合、持参薬がなくなつたとき		1. 該当する 2. 該当しない		
5. 副作用が出たとき		1. 該当する 2. 該当しない		
6. その他				
D 抗凝固薬				
1)利用開始時に見直しを		1. 必ずする 4. あまりしない 3. 時々する		
1. 同じ薬効の薬を複数使用しているとき		1. 該当する 2. 該当しない		
2. 高頻な薬剤を使用しているとき		1. 該当する 2. 該当しない		
3. 転倒の危険性が高いとき		1. 該当する 2. 該当しない		
4. 薬を持ち込んでいた場合、持参薬がなくなつたとき		1. 該当する 2. 該当しない		
5. 副作用が出たとき		1. 該当する 2. 該当しない		
6. その他				
E 糖尿病薬				
1)利用開始時に見直しを		1. 必ずする 4. あまりしない 3. 時々する		
1. 同じ薬効の薬を複数使用しているとき		1. 該当する 2. 該当しない		
2. 高頻な薬剤を使用しているとき		1. 該当する 2. 該当しない		
3. 低血糖を認めるとき		1. 該当する 2. 該当しない		
4. HbA1c値が十分に低いとき		1. 該当する 2. 該当しない		
5. 薬を持ち込んでいた場合、持参薬がなくなつたとき		1. 該当する 2. 該当しない		
6. 副作用(低血糖)が出たとき		1. 該当する 2. 該当しない		
7. その他				

問9 貴施設の受け入れ状況、貴施設での対応について(人数等は調査時点の数をご記入ください)

① 貴施設の調査時点の入所者数について		名
② 入所者の薬の自己管理について	1. 全て自己管理(1週間分程度、全てを管理)	名
	2. 一部自己管理(1日分程度を管理、自己管理しない薬がある等)	名
	3. 自己管理はしない	名
回答欄		
③	貴施設には難病の入所者がいますか(いる場合は人数)	1. いる 2. いない いる場合は人数
④	難病の方がいる場合、高額薬剤で困っていますか	1. 困っている 2. 困っていない
⑤	血糖定期測定の入所者がいますか(いる場合は人数)	1. いる 2. いない いる場合は人数
⑥	貴施設にはインスリンを使用している入所者がいますか(いる場合は人数)	1. いる 2. いない いる場合は人数
⑦	インスリン使用の方を受け入れている場合、受け入れに際して利用回数上限はありますか	1. 設けていない 2. 1日4回まで 3. 1日3回まで 4. 1日2回まで 5. 1日1回まで 6. その他
⑧	インスリン使用の方を受け入れている場合、注射量決定にあたり、スライディング・スケールを利用していますか	1. している 2. していない
⑨	インスリン使用の方を受け入れている場合、在宅復帰に向けて、インスリンの利用を減らすようにしていますか	1. している 2. していない
⑩	貴施設にはワーファリンを使用している入所者がいますか(いる場合は人数)	1. いる 2. いない いる場合は人数
⑪	貴施設にはワーファリン以外の抗凝固薬を使用している入所者がいますか(いる場合は人数)	1. いる 2. いない いる場合は人数
⑫	貴施設には透析使用している入所者がいますか(いる場合は人数)	1. いる 2. いない いる場合は人数
⑬	H27年10月1か月間の病原細菌培養の総検査数	名

② 利用開始時における薬剤別の見直し等について(続き)		回答欄
F 疼痛緩和薬	1) 利用開始時に見直しを	1. 必ずする 2. ほぼする 3. 時々する 4. あまりしない 5. 全くしない
	見直し条件	1. 該当する 2. 該当しない 1. 該当する 2. 該当しない 1. 該当する 2. 該当しない 1. 該当する 2. 該当しない
	1. 同じ薬効の薬を複数使用しているとき	1. 該当する 2. 該当しない
	2. 疼痛が十分コントロールされているとき	1. 該当する 2. 該当しない
	3. 薬を持ち込んでいた場合、持参薬がなくなつたとき	1. 該当する 2. 該当しない
G 高脂血症治療薬	1) 利用開始時に見直しを	1. 必ずする 2. ほぼする 3. 時々する 4. あまりしない 5. 全くしない
	見直し条件	1. 該当する 2. 該当しない 1. 該当する 2. 該当しない 1. 該当する 2. 該当しない
	1. 同じ薬効の薬を複数使用しているとき	1. 該当する 2. 該当しない
	2. 薬を持ち込んでいた場合、持参薬がなくなつたとき	1. 該当する 2. 該当しない
	3. 副作用が出たとき	1. 該当する 2. 該当しない
③ 薬剤の見直しをした際の対応及び反応について		
A	退所時に、減らした薬について、その理由を診療情報提供書に記載していますか	1. 必ずする 2. ほぼする 3. 時々する 4. あまりしない 5. 全くしない
B	減量したことを在宅の主治医から非難されたことがありますか	1. ほぼ毎回 2. 時々 3. ほとんど(全く)ない
C	減量したことを利用者から批判されたことがありますか	1. ほぼ毎回 2. 時々 3. ほとんど(全く)ない
D	減量したことを利用者の家族から批判されたことがありますか	1. ほぼ毎回 2. 時々 3. ほとんど(全く)ない
E	減量した薬が元にもって利用者が再入所したという経験はありますか	1. ほぼ毎回 2. 時々 3. ほとんど(全く)ない
④ 率先して減量する薬剤について主なもの以下に3つご記入ください。		
1	2	3

問10 薬剤の血中濃度の測定頻度について

薬剤名	血中濃度の測定頻度				回答欄
バルプロ酸ナトリウム	1. 随時	2. 3～6か月	1に1回程度	3. 1年に1回程度	4. その他
ゾゴキシン	1. 随時	2. 3～6か月	1に1回程度	3. 1年に1回程度	4. その他
テオフィリン	1. 随時	2. 3～6か月	1に1回程度	3. 1年に1回程度	4. その他

問11 管理医師等について

①管理医師における地域との連携について		回答欄
A	地域包括支援センターとの連携は 1. 熱心に取り組んでいる 2. どちらかと言えば取り組んでいる 3. どちらとも言えない 4. 全く取り組んでいない	
B	関連または地元の福祉施設やホーム等との連携は 1. 熱心に取り組んでいる 2. どちらかと言えば取り組んでいる 3. どちらとも言えない 4. 全く取り組んでいない	
C	地元医師会との連携は 1. 熱心に取り組んでいる 2. どちらかと言えば取り組んでいる 3. どちらとも言えない 4. 全く取り組んでいない	
②管理医師と、在宅復帰後の主治医との連携について		
A	入所者/短期入所者について 1. 必ずする 2. ほぼする 3. 時々する 4. あまりしない 5. 全くしない	
B	通所リハ/訪問リハ利用者について 1. 必ずする 2. ほぼする 3. 時々する 4. あまりしない 5. 全くしない	

問12 その他

	回答欄
① 高齢者の薬剤に対する反応について、一般成人との違いについて在宅復帰後の主治医は理解していると思えますか	1. よく理解している 2. やや理解している 3. あまり理解していない 4. 全く理解していない
② 老年医学会が作成した、高齢者薬物治療ガイドライン(2015)案を知っていますか	1. 内容までよく理解している 2. 内容は知らないが、存在は知っている 3. 知らない
③ 老年医学会が作成した、高齢者に対する適切な医療提供の指針について知っていますか	1. 内容までよく理解している 2. 内容は知らないが、存在は知っている 3. 知らない
④ WHOの疼痛ラダーについて知っていますか	1. 内容までよく理解している 2. 内容は知らないが、存在は知っている 3. 知らない

問13 今回の調査についてご意見・ご提案等ございましたらご記入ください

--

ご協力誠にありがとうございました。
 平成27年12月7日(月)までに①管理医師調査票在中」と印字された返信用封筒でご返送ください。
 本件問合せ先: 全国老人保健施設協会 業務部 業務第一課 TEL: 03-3432-4165 FAX: 03-3432-4172

平成27年度介護老人保健施設における薬物治療の在り方に関する調査研究事業
【2】個別調査票(初回調査(入所時及び入所1か月後調査))

種別	施設名	施設	TEL	調査実施日	対象者ID
〒				年 月 日	

※対象者の初回調査とは初回調査を結合させたIDです。異施設にてご入所された場合は対比較にて管理してください。
選択式の設問は特に指定がない場合は最も該当すると思われる番号1つを回答欄にご記入ください。
回答が困難な設問がある場合は、その設問以外をご回答ください。

① 性別	② 年齢	③ 入所日	平成	年	月	日	回答欄	
選択式の設問については該当する番号をご記入ください。④のその他については、()に内容をご記入ください。								
入所前の主な居場所	1. 併設・関連病院等の一般急・慢性期等病棟 (回復期除く)	2. 地域の医療機関の一般急・慢性期等病棟 (回復期除く)	3. 併設・関連病院等の療養病棟 (回復期除く)	4. 地域の医療機関の療養病棟 (回復期除く)	5. 併設・関連病院等の回復期病棟	6. 地域の医療機関の回復期病棟	7. 自宅(同居)	8. 自宅(独居)
入所前の主治療の薬・増薬・増薬に対する考え方	9. 老健施設	10. 特養	11. 老健・特養以外の介護施設等	12. その他()				
⑤ 入所前の利用状況	平成27年4月以降の真施設 1. 平成27年4月以降の入所は今が初回(平成27年4月以降に複数回の入所はない) 2. 平成27年4月以降の入所は今が初回(平成27年4月以降に複数回の入所はない)							
⑥ 入所前の利用状況	1. 在宅医療(貴法人) 2. 在宅医療(貴法人以外) 3. 通院(貴法人) 4. 通院(貴法人以外)							
⑦ 入院時の主治療の薬・増薬・増薬に対する考え方	1. 可能な限り減薬する方針 2. やや減薬する方針 3. 現状を維持する方針 4. やや増薬する方針 5. 可能な限り増薬する方針 6. わからない							
⑧ 身長	cm	⑨ 入所時の体重						Kg

⑩ 調査対象者の状態について	選択式	回答欄
⑦~⑩については入所時の状態のみご回答ください	選択式	入所時 入所1か月後
① 要介護度	1. 2. 3. 4. 5	
② 障害高齢者の日常生活自立度	1. J1 2. J2 3. A1 4. A2 5. B1 6. B2 7. C1 8. O2	
③ 認知症自立度	1. 自立 2. I 3. II a 4. II b 5. III a 6. III b 7. IV 8. M	
④ 胃腸の有無	1. なし 2. あり	
⑤ 経管栄養(胃腸除く)の有無	1. なし 2. あり	
⑥ 薬の自己管理	1. 全て自己管理(1週間分程度、全てを管理) 2. 一部自己管理(1日分程度を管理、自己管理しない薬がある等) 3. 自己管理はない	
⑦ 高血圧症	1. なし 2. あり	
⑧ 心房細動	1. なし 2. あり	
⑨ 脳梗塞	1. なし 2. あり	
⑩ 心筋梗塞	1. なし 2. あり	
⑪ アルツハイマー型認知症	1. なし 2. あり	
⑫ ハーキンソン病	1. なし 2. あり	
⑬ 糖尿病	1. なし 2. あり	
⑭ ⑦~⑩以外で疾患がある場合、主なもの最大5つを、調査票の後の「⑭診断名リスト」から選び、番号をご記入ください。	疾患名	疾患名
⑮ ⑦~⑩以外に疾患・合併症がございましたら疾患名をご記入ください。	疾患名	疾患名
⑯ 指定薬病があれば、該当するものを調査票の後の「⑯指定薬病一覧」から選び、番号をご記入ください。	mg/dl	mg/dl
⑰ 把握している場合は血清クレアチニン値をご記入ください。	%	%
⑱ 把握している場合はHbA1cをご記入ください。		
⑲ 把握している場合はPT-INR(心野細動の患者のみ)をご記入ください。		

⑩ ICステージングによる調査対象者の状態について(それぞれ最も該当するステージ(1~5)を記入)		入所時	入所1か月後
(各項目でそれぞれの時期に普及していた(行っている)最も高いステージ(1~5)を回答欄にご記入ください)	スケール	1)	2)
ステージ5 立位の保持(つかまらずに一定の時間立位を保持)	ステージ5 立位の保持(つかまらずに一定の時間立位を保持)		
ステージ4 座位での乗り降り(車椅子からいかにへ移動等、ある面一階だった状態から同等または異なる高さの他の座面へ移動する)	ステージ4 座位での乗り降り(車椅子からいかにへ移動等、ある面一階だった状態から同等または異なる高さの他の座面へ移動する)		
ステージ3 座位(褥瘡位)の保持(ベッド等に、背もたれもなくつかまらず)で、安定して座っている(褥瘡位)	ステージ3 座位(褥瘡位)の保持(ベッド等に、背もたれもなくつかまらず)で、安定して座っている(褥瘡位)		
ステージ2 寝返りをする(つかまらず、つかまらなにかかわらず)	ステージ2 寝返りをする(つかまらず、つかまらなにかかわらず)		
ステージ1 寝返りを行っていない	ステージ1 寝返りを行っていない		
ステージ5 外出状況(公共交通機関(バス、電車、飛行機等)を利用して外出する(杖等の補助具の使用の有無は問わない))	ステージ5 外出状況(公共交通機関(バス、電車、飛行機等)を利用して外出する(杖等の補助具の使用の有無は問わない))		
ステージ4 昇降器(階段を5段以上手すり無しに降り降り)	ステージ4 昇降器(階段を5段以上手すり無しに降り降り)		
ステージ3 安定した歩行(安定した歩行をする(杖と器具の双方を用いてもかまわない))	ステージ3 安定した歩行(安定した歩行をする(杖と器具の双方を用いてもかまわない))		
ステージ2 施設内での移動(施設内で居室から別の部屋へと移動すること(車椅子などの移動手段は問わない))	ステージ2 施設内での移動(施設内で居室から別の部屋へと移動すること(車椅子などの移動手段は問わない))		
ステージ1 施設内の移動を行っていない	ステージ1 施設内の移動を行っていない		
ステージ5 排泄の後に種々の後始末をする(排泄後に拭く、流す等、ポータブルトイレの処理、尿器の処理等を含む)	ステージ5 排泄の後に種々の後始末をする(排泄後に拭く、流す等、ポータブルトイレの処理、尿器の処理等を含む)		
ステージ4 排泄の際、ズボン、ハンカチ等の上げ下ろしを自分でする	ステージ4 排泄の際、ズボン、ハンカチ等の上げ下ろしを自分でする		
ステージ3 洋式便座への移乗(洋式便座への移乗と洋式便器からの移乗をする)	ステージ3 洋式便座への移乗(洋式便座への移乗と洋式便器からの移乗をする)		
ステージ2 床までの非着(洋式トイレ)の移乗を自分で行っていない場合は行っていないと判断	ステージ2 床までの非着(洋式トイレ)の移乗を自分で行っていない場合は行っていないと判断		
ステージ1 医療的介体管理のため、人工肛門、尿カテーテル、おむつ等を使用している	ステージ1 医療的介体管理のため、人工肛門、尿カテーテル、おむつ等を使用している		
オリ	ステージ5 年月日がわかる(は1日の経過)		
エ	ステージ4 現在いる場所の種類(家、老健等)がわかる		
コ	ステージ3 他者に贈る見当識(その場にいる人が誰だかわかる(例えば家族か、職員かわかれば可))		
ロ	ステージ2 自分の名前がわかる		
ニ	ステージ1 自分の名前がわからない		
ホ	ステージ5 複雑な人間関係の保持(様々な状況で他者を理解し、他者が不快にならないように感情や衝動を抑え、常置に基づいて人間関係を保つとする。(例)管理の人間関係)		
ヘ	ステージ4 書き言葉の受容(書き言葉のメッセージを読み取り、理解している)		
ニ	ステージ3 日常生活(1対1)で適切な会話(適切な会話のあった)対話や意見交換をしている(例)日常生活、友人関係、日常生活、季節等)		
ケ	ステージ2 話し言葉の理解(スタッフや家族の話し言葉(音声言語)を理解している)		
セ	ステージ1 話し言葉の理解はできない		
シ	ステージ5 時間管理(現在の時刻がわかり、かつ一時間後に何を行うか理解し、普段から自分で時間管理している)		
ソ	ステージ4 簡単な算術計算(7+8、6-5などの一桁同士の単純な加算が出来るか、※おおよそねむり程度で正確な計算は、出来るかと判断)		
ン	ステージ3 長期記憶(過去の自伝的な記憶について正しく再生することが出来るか)		
ノ	ステージ2 意識状態(調査票24時間以内の記述している時間帯に意識の混濁がなかった)(意識混濁の有無)		
ド	ステージ1 意識の混濁があった		
精神状態	下記の周辺症状の項目について、それぞれ何項目該当するか、該当する個数を記入してください	入所時	入所1か月後
認知機能			
A群	1) 言葉を拒否する 2) 不適切に泣いたり笑ったりする 3) 興奮して手足を動かす 4) 理由なく急切り声をあげる 5) 衣服や器物を破壊する 6) 食物を投げつける 該当する項目の個数を記入		
B群	1) 食へ過ぎる 2) カスの中身を全部出す 3) 日中屋外や廊下をうろつくまわらる 4) 原則、寝てばかりいる 5) 同じことを何度も繰り返す 6) 不適切な場所での排泄 該当する項目の個数を記入		

※薬剤名・用量について、情報がわかる書類があれば出来るだけ手書き記入ではなく、コピーを貼り付けてください。

①入所前の主治医からの処方状等から把握できる薬剤等について(具体的な名称・用量等をご記入ください)(臨時薬・OTC除く)			
(1)内服薬の名称(臨時薬・OTC除く) (可能なかぎり一般名でご記入ください)	用量		頻度
	錠剤	粒剤	数日に回等の場合
1	錠/回	mg/回	日に 回
2	錠/回	mg/回	日に 回
3	錠/回	mg/回	日に 回
4	錠/回	mg/回	日に 回
5	錠/回	mg/回	日に 回
6	錠/回	mg/回	日に 回
7	錠/回	mg/回	日に 回
8	錠/回	mg/回	日に 回
9	錠/回	mg/回	日に 回
10	錠/回	mg/回	日に 回
11	錠/回	mg/回	日に 回
12	錠/回	mg/回	日に 回

②注射薬について(臨時薬・ワクチン除く) (可能なかぎり一般名でご記入ください)			
(3)その他薬剤について(貼り薬、塗り薬、吸入薬等) (可能な限り一般名でご記入ください)	毎日使用の場合		頻度
	回数	1日総投与量	数日に回等の場合
1	回/日	/日	日に 回 /回
2	回/日	/日	日に 回 /回
3	回/日	/日	日に 回 /回
4	回/日	/日	日に 回 /回
5	回/日	/日	日に 回 /回

1 薬剤名:	2 薬剤名:
3 薬剤名:	4 薬剤名:

入所前から入所1か月後までの間に減薬・増薬をした場合ご回答ください。それによって生じたと考えられる有害事象はございましたか? 有無をご回答頂き、有害事象があった場合は被疑薬・症状をご記入ください	1. あった(減薬による) 2. あった(増薬による) 3. なかった
入所前から1か月間に発生した出来事(該当するものまで)	1. ない 2. 脳障害 3. 脳出血 4. 急性心筋梗塞 5. 心不全 6. 肺炎 7. 低血糖(意識障害または60未満) 8. 転倒 9. せん妄 10. その他

※薬剤名・用量について、情報がわかる書類があれば出来るだけ手書き記入ではなく、コピーを貼り付けてください。

①使用した薬剤等について(具体的な名称・用量等をご記入ください)(臨時薬・OTC除く)			
(1)内服薬の名称(臨時薬・OTC除く) (可能なかぎり一般名でご記入ください)	用量		頻度
	錠剤	粒剤	数日に回等の場合
1	錠/回	mg/回	日に 回
2	錠/回	mg/回	日に 回
3	錠/回	mg/回	日に 回
4	錠/回	mg/回	日に 回
5	錠/回	mg/回	日に 回
6	錠/回	mg/回	日に 回
7	錠/回	mg/回	日に 回
8	錠/回	mg/回	日に 回
9	錠/回	mg/回	日に 回
10	錠/回	mg/回	日に 回
11	錠/回	mg/回	日に 回
12	錠/回	mg/回	日に 回

②注射薬について(臨時薬・ワクチン除く) (可能なかぎり一般名でご記入ください)			
(3)その他薬剤について(貼り薬、塗り薬、吸入薬等) (可能な限り一般名でご記入ください)	毎日使用の場合		頻度
	回数	1日総投与量	数日に回等の場合
1	回/日	/日	日に 回 /回
2	回/日	/日	日に 回 /回
3	回/日	/日	日に 回 /回
4	回/日	/日	日に 回 /回
5	回/日	/日	日に 回 /回

1 薬剤名:	2 薬剤名:
3 薬剤名:	4 薬剤名:

入所前から入所1か月後までの間に減薬・増薬をした場合ご回答ください。それによって生じたと考えられる有害事象はございましたか? 有無をご回答頂き、有害事象があった場合は被疑薬・症状をご記入ください	1. あった(減薬による) 2. あった(増薬による) 3. なかった
入所前から1か月間に発生した出来事(該当するものまで)	1. ない 2. 脳障害 3. 脳出血 4. 急性心筋梗塞 5. 心不全 6. 肺炎 7. 低血糖(意識障害または60未満) 8. 転倒 9. せん妄 10. その他

問6.入所から1か月間の臨時処方薬剤について(所定疾患およびその他の臨時薬)									
(1)肺炎について									
①期間中肺炎に罹患 1)した 2)しなかった		回答欄		②所定疾患施設療養費の算定 1)あり 2)なし		回答欄		③算定済りの場合の 算定延べ日数	
④薬の名称(可能なかぎり一般名でご記入ください)									
用量		粒剤		毎日使用の 場合		頻度		その他	
錠剤		錠/回		錠/回		数日に1回等 の場合		錠/回	
錠/回		錠/回		錠/回		錠/回		錠/回	
(2)尿路感染症について									
①期間中尿路感染症に罹患 1)した 2)しなかった		回答欄		②所定疾患施設療養費の算定 1)あり 2)なし		回答欄		③算定済りの場合の 算定延べ日数	
④薬の名称(可能なかぎり一般名でご記入ください)									
用量		粒剤		毎日使用の 場合		頻度		その他	
錠剤		錠/回		錠/回		数日に1回等 の場合		錠/回	
錠/回		錠/回		錠/回		錠/回		錠/回	
(3)帯状疱疹について									
①期間中帯状疱疹に罹患 1)した 2)しなかった		回答欄		②所定疾患施設療養費の算定 1)あり 2)なし		回答欄		③算定済りの場合の 算定延べ日数	
④薬の名称(可能なかぎり一般名でご記入ください)									
用量		粒剤		毎日使用の 場合		頻度		その他	
錠剤		錠/回		錠/回		数日に1回等 の場合		錠/回	
錠/回		錠/回		錠/回		錠/回		錠/回	
(4)各種療養が必須にわたった疾患 (調査票の後の①の診断名リストから番号を記入)									
④薬の名称(可能なかぎり一般名でご記入ください)		回答欄		②所定疾患施設療養費の算定 1)あり 2)なし		回答欄		③算定済りの場合の 算定延べ日数	
用量		粒剤		毎日使用の 場合		頻度		その他	
錠剤		錠/回		錠/回		数日に1回等 の場合		錠/回	
錠/回		錠/回		錠/回		錠/回		錠/回	
(5)その他、期間中に罹患した疾患1 (調査票の後の②の診断名リストから番号を記入)									
④薬の名称(可能なかぎり一般名でご記入ください)		回答欄		②所定疾患施設療養費の算定 1)あり 2)なし		回答欄		③算定済りの場合の 算定延べ日数	
用量		粒剤		毎日使用の 場合		頻度		その他	
錠剤		錠/回		錠/回		数日に1回等 の場合		錠/回	
錠/回		錠/回		錠/回		錠/回		錠/回	
(6)その他、期間中に罹患した疾患2 (調査票の後の③の診断名リストから番号を記入)									
④薬の名称(可能なかぎり一般名でご記入ください)		回答欄		②所定疾患施設療養費の算定 1)あり 2)なし		回答欄		③算定済りの場合の 算定延べ日数	
用量		粒剤		毎日使用の 場合		頻度		その他	
錠剤		錠/回		錠/回		数日に1回等 の場合		錠/回	
錠/回		錠/回		錠/回		錠/回		錠/回	

個別調査票(初回調査(入所前及び入所1か月後調査))は以上です。ご協力いただきまして誠にありがとうございます。
 ご記入いただいた調査票は、発行者全員分まで平成27年12月14日(月)までに「⑥個別調査票(初回)」在中に印字された返信用封筒にて当協会までご郵
 送ください。また、「入所1か月後」または「退所前調査」もご協力をお願いいたします。
 本件問合せ先: 全国老人保健施設協会 業務部 業務第一課 TEL:03-3432-4165 FAX:03-3432-4172

平成27年度介護老人保健施設における薬物治療の在り方に関する調査研究事業

【③個別調査票(入所2か月後または退所直前)】

本調査票は入所から2か月後の状況(2か月未満で退所される場合は退所直前の状況)についてご回答ください。

選択式の設問は特に指定がない場合は最も該当すると思われる番号1つを回答欄にご記入ください。回答が困難な設問がある場合は、その設問以外をご回答ください。

新道 所属	施設名	施設 TEL	調査実施 日	月	日	対象者 ID
----------	-----	-----------	-----------	---	---	-----------

問1. 調査対象者について

この方は、2か月間継続入所されましたか	1はい 2いいえ	回答欄	「1」はいの場合は問2以降へお進みください 「2」いいえの場合は、「2」以降に回答の上、問2以降にご回答ください。	日 目
該当する番号を回答欄にご記入ください。③のその他については、()に内容を記入してください				回答欄
1. 併設・関連病院等の一般(急・慢性期等)病床 (回復期除く)			2. 地域の医療機関の一般(急・慢性期等)病床 (回復期除く)	
3. 併設・関連病院等の療養病床 (回復期除く)			4. 地域の医療機関の療養病床 (回復期除く)	
5. 併設・関連病院等の回復期リハ病床			6. 地域の医療機関の回復期リハ病床	
7. 自宅(同居)			8. 自宅(単居)	
9. 老健施設			10. 特養	
11. 老健・特養以外の介護施設等			12. 死亡退所	
13. その他()				
4. 退所後の定期的な在宅医療・通院の利用予定(該当するもの全)			1. 在宅医療(貴法人)	
			2. 在宅医療(貴法人以外)	
			3. 通院(貴法人)	
			4. 通院(貴法人以外)	
6. 退所後の主治医の減薬・増薬に対する考え方・対応について			1. 可能な限り減薬する方針	
			2. やや減薬する方針	
			3. 現状を維持する方針	
			4. やや増薬する方針	
			5. 可能な限り増薬する方針	
			6. わからない	

問2. 入所2か月後の調査対象者の状態について

① 要介護度	1 . 2 . 3 . 4 . 5	選択肢		回答欄
② 調査高齢者の日常生活自立度	1. J1 2. J2 3. A1 4. A2 5. B1 6. B2 7. C1 8. C2			
③ 認知症自立度	1. 自立 2. I 3. II a 4. II b 5. III a 6. III b 7. IV 8. M			
④ 胃瘻の有無	1なし 2あり			
⑤ 経管栄養(胃瘻除く)の有無	1なし 2あり			
⑥ 薬の自己管理	1. 全て自己管理(週間程度、全てを管理) 2. 一部自己管理(1日程度を管理、自己管理しない薬がある等) 3. 自己管理はしない			
⑦ 主な疾患大5つを、調査票の後の「①診断名リスト」から選り、重症をご記入ください。				
⑧ ⑦以外に疾患・合併症がございましたら疾患名をご記入ください。				
⑨ 指定難病があれば、該当するもの全てを調査票の後の「②指定難病一覧」から選り、重症をご記入ください。				
⑩ 把握している場合は血清クレアチニン値をご記入ください。				mg/dl
⑪ 把握している場合はHbA1cをご記入ください。				%
⑫ 把握している場合はPT-INR(心療補助の患者のみ)をご記入ください。				

問3. ICFステージングによる調査対象者の入所2か月後の状態について(それぞれ最も該当するステージ(1~6)を記入)

ステージ	ステージ	ステージ	ステージ	ステージ	ステージ
1)	2)	3)	4)	5)	6)
1) 立位の保持(つかまらずに一定の時間立位を保つこと)	1) 床位の保持(つかまらずに一定の時間立位を保つこと)	1) 歩行(歩行補助具なし)	1) 歩行(歩行補助具あり)	1) 歩行(歩行補助具なし)	1) 歩行(歩行補助具あり)
2) 歩行(歩行補助具なし)	2) 歩行(歩行補助具あり)	2) 歩行(歩行補助具なし)	2) 歩行(歩行補助具あり)	2) 歩行(歩行補助具なし)	2) 歩行(歩行補助具あり)
3) 歩行(歩行補助具なし)	3) 歩行(歩行補助具あり)	3) 歩行(歩行補助具なし)	3) 歩行(歩行補助具あり)	3) 歩行(歩行補助具なし)	3) 歩行(歩行補助具あり)
4) 歩行(歩行補助具なし)	4) 歩行(歩行補助具あり)	4) 歩行(歩行補助具なし)	4) 歩行(歩行補助具あり)	4) 歩行(歩行補助具なし)	4) 歩行(歩行補助具あり)
5) 歩行(歩行補助具なし)	5) 歩行(歩行補助具あり)	5) 歩行(歩行補助具なし)	5) 歩行(歩行補助具あり)	5) 歩行(歩行補助具なし)	5) 歩行(歩行補助具あり)
6) 歩行(歩行補助具なし)	6) 歩行(歩行補助具あり)	6) 歩行(歩行補助具なし)	6) 歩行(歩行補助具あり)	6) 歩行(歩行補助具なし)	6) 歩行(歩行補助具あり)

基本動作	ステージ1	立位の保持(つかまらずに一定の時間立位を保つこと)	ステージ1	歩行(歩行補助具なし)
	ステージ2	歩行(歩行補助具あり)	ステージ2	歩行(歩行補助具なし)
	ステージ3	歩行(歩行補助具なし)	ステージ3	歩行(歩行補助具あり)
	ステージ4	歩行(歩行補助具なし)	ステージ4	歩行(歩行補助具あり)
	ステージ5	歩行(歩行補助具なし)	ステージ5	歩行(歩行補助具あり)
	ステージ6	歩行(歩行補助具なし)	ステージ6	歩行(歩行補助具あり)
歩行・移動	ステージ1	歩行(歩行補助具なし)	ステージ1	歩行(歩行補助具なし)
	ステージ2	歩行(歩行補助具あり)	ステージ2	歩行(歩行補助具なし)
	ステージ3	歩行(歩行補助具なし)	ステージ3	歩行(歩行補助具あり)
	ステージ4	歩行(歩行補助具なし)	ステージ4	歩行(歩行補助具あり)
	ステージ5	歩行(歩行補助具なし)	ステージ5	歩行(歩行補助具あり)
	ステージ6	歩行(歩行補助具なし)	ステージ6	歩行(歩行補助具あり)
排泄の動作	ステージ1	排泄の動作(トイレの移動を含む)	ステージ1	排泄の動作(トイレの移動を含む)
	ステージ2	排泄の動作(トイレの移動を含む)	ステージ2	排泄の動作(トイレの移動を含む)
	ステージ3	排泄の動作(トイレの移動を含む)	ステージ3	排泄の動作(トイレの移動を含む)
	ステージ4	排泄の動作(トイレの移動を含む)	ステージ4	排泄の動作(トイレの移動を含む)
	ステージ5	排泄の動作(トイレの移動を含む)	ステージ5	排泄の動作(トイレの移動を含む)
	ステージ6	排泄の動作(トイレの移動を含む)	ステージ6	排泄の動作(トイレの移動を含む)
認知機能	ステージ1	認知機能(簡単な計算を含む)	ステージ1	認知機能(簡単な計算を含む)
	ステージ2	認知機能(簡単な計算を含む)	ステージ2	認知機能(簡単な計算を含む)
	ステージ3	認知機能(簡単な計算を含む)	ステージ3	認知機能(簡単な計算を含む)
	ステージ4	認知機能(簡単な計算を含む)	ステージ4	認知機能(簡単な計算を含む)
	ステージ5	認知機能(簡単な計算を含む)	ステージ5	認知機能(簡単な計算を含む)
	ステージ6	認知機能(簡単な計算を含む)	ステージ6	認知機能(簡単な計算を含む)

①診断名リスト

ICDコード分類	診断名
2	腸梗塞
2	腸出血
3	多発性胆管腫
4	くも膜下出血
5	硬膜下出血
6	硬膜下血腫および脳挫傷
7	その他の脳血管疾患
8	高血圧(認知症や脳血管障害など他の病態を伴わない)
9	慢性心不全
10	心筋梗塞
11	狭心症
12	不整脈
13	心臓神経痛
14	その他の心疾患
15	閉塞性動脈硬化症
16	その他の中脳または末梢血管の疾患
17	アルツハイマー型認知症
18	脳血管性認知症
19	レビー小体型認知症
20	下記以外の認知症 (脳血管性・アルツハイマー型・混合型・レビー小体型・ゼンクワ病)
21	前頭・側頭葉型認知症(ピック病等)
22	混合型認知症
23	まだ確定診断のついていない認知症
24	うつ病
25	統合失調症
28	その他の精神疾患
27	パーキンソン病
29	パーキンソン病以外の脊髄小脳変性疾患
30	症候性てんかん、てんかん
30	その他の中枢神経疾患
31	末梢神経疾患
32	糖尿病(認知症や脳血管障害などの病態を伴わない)
33	栄養障害
34	肥満
35	脂質異常症(高脂血症)
36	甲状腺機能障害
37	その他の代謝・内分泌疾患
38	骨髄痛
39	骨柱管狭窄症
40	変形性脊椎症
41	下肢の変形性関節症(股関節・膝関節)
42	上肢の変形性関節症(肩関節・肘関節)
43	大腸骨の骨折(手術を行なった)
44	大腸骨以外の骨折(手術を行なった)
45	骨折(保存的治療のみ)
46	骨粗しょう症
47	後遺骨折
48	後遺骨折
49	その他の骨・骨髄疾患
50	関節リウマチ
51	関節リウマチ以外の全身性結合組織障害
52	筋・軟部組織の障害
53	気管支喘息
54	肺炎腫瘍等専門医診断性肺疾患
55	肺腫瘍・呼吸器(不顕性)肺がんなどの慢性的呼吸器疾患
56	急慢性気管炎
57	その他肺および胸膜など呼吸器の疾患

切り離して使用して頂いて結構です

ICDコード分類	診断名
58	腎不全(慢性・急性を含む)
59	尿路結石症など尿路の疾患
60	尿路感染症(膀胱炎など)
61	乳房・女性生殖器・骨髄腫瘍の疾患
62	前立腺肥大症などの男性生殖器の疾患
63	胃・食道疾患
64	小腸・大腸の疾患
65	肝胆膵の疾患
66	ヘルニア
67	肛門の疾患
68	その他の消化器の疾患(胆臓、口腔、唾液腺、膵等を含む)
69	悪性新生物
70	良性新生物およびその他特定されない新生物
71	陰内腫・白内腫などの眼およびその付属器の疾患、耳の疾患
72	耳および乳突炎の疾患
73	疥癬・結核・白癬等感染症
74	水痘症(突発性・帯状疱疹等)
75	アレルギー性皮膚疾患
76	蜂刺
77	皮膚の外傷およびその他の皮膚疾患
78	感染症
79	貧血
80	血液以外の血液・免疫および凝固系の疾患並びに免疫機構の障害
81	周産期に発生した病態
82	先天性染色体異常
83	先天奇形・変形および染色体異常
83	胎傷・中帯及びその他の外因の影響

切り離して使用して頂いて結構です

番号	指定難病名	指定難病名
1	igA腎症	進行性多発性白質脳症
2	急性炎症性全脳炎	ステイアウグンス・ジソンソン症候群
3	悪性関節リウマチ	成人スチル病
4	アジソン病	腎臓小脳変性症(多系統萎縮症を除く)
5	小脳リソビ病	腎臓性筋萎縮症
6	HTLV-1関連腎臓症	全身型若年性特発性関節炎
7	遠位性ミオパチー	全身性アミロイドーシス
8	黄色軟骨骨化症	全身性エリテマトーデス
9	潰瘍性大腸炎	全身性強皮症
10	下垂体性ADH分泌異常症	先天性副腎低形成症
11	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	先天性副腎低形成症
12	下垂体性TSH分泌亢進症	先天性副腎皮質機能不全症
13	下垂体性PRL分泌亢進症	大腸炎質基底核変性症
14	下垂体性GH分泌亢進症	高血圧性脳症
15	下垂体前葉機能低下症	多系統萎縮症
16	家族性高コレステロール血症(ホモ複合体)	多発性骨髄質肉芽腫症
17	球腎臓性筋萎縮症	多発性硬化症/視神経脊髄炎
18	巨細胞性動脈炎	多発性関節炎
19	巨大膀胱短小総腸腸管蠕動不全症	チャージ症候群
20	筋萎縮性側索硬化症	中毒性表皮剥離症
21	クッシング病	腸管神経節細胞腫少症
22	クリオオピリン関連高熱症候群	TNF受容体関連周期性発熱症候群
23	クローウ・深淵症候群	天狗瘡
24	クローン病	特発性拡張型心筋症
25	結節性多発動脈炎	特発性副腎性肺炎
26	血栓性血小板減少性紫斑病	特発性基底石灰化症
27	原発性硬化性胆管炎	特発性血小板減少性紫斑病
28	原発性抗リン脂質抗体症候群	特発性大腸骨頭壊死症
29	原発性副甲状腺症	特発性門脈圧亢進症
30	原発性胆汁性肝硬変	腸病性乾癪(汎発型)
31	原発性免疫不全症候群	パーキンソン病
32	顕微鏡的多発血管炎	パーキンソン病
33	好酸球性消化管疾患	肺動脈閉塞症/肺毛細血管腫症
34	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	肺動脈性肺高血圧症
35	後縦靭帯骨化症	肝人体防炎
36	甲状腺ホルモン不応症	ハンツ・キアリ症候群
37	拘束型心筋症	ハンチントン病
38	広範骨髄管狭窄症	肥大型心筋症
39	コストロ口症候群	非典型性溶血性尿毒症症候群
40	混合性結合組織病	皮膚筋炎/多発性筋炎
41	再生不良性貧血	表皮水疱症
42	再発性多発軟骨炎	針人体防炎
43	カルコイドーシス	副腎白質ジストロフィー
44	CFC症候群	プラウ症候群
45	シェーグレン症候群	プリオン病
46	自己免疫空胞性ミオパチー	ペーチェット病
47	自己免疫性肝炎	発作性夜間へモグロビン尿症
48	自己免疫性溶血性貧血	慢性炎症性腸腸性多発神経炎/多発性運動ニューロパチー
49	シヤルコー・マリー・トウース病	慢性血栓性肺高血圧症
50	重症筋無力症	慢性特発性両性閉塞症
51	シュワルツ・ヤンヘル症候群	ミトコンドリア病
52	神経線維腫症	網膜色素変性症
53	神経有棘赤血球症	もやもや病
54	進行性核上性麻痺	ライソソーム病

切り離して使用して頂いて結構です

②指定難病一覧 P2

切り離して使用して頂いて結構です

番号	指定難病名
261	タンジーン病
262	原発性高カインミクロン血症
263	脳髄質色腫症
264	無βリポタンパク血症
265	脂肪萎縮症
266	家族性地中海熱
267	高IgD症候群
268	中條・西村症候群
269	化膿性髄膜炎・髄液性膿皮症・アクネ症候群
270	慢性再発性多発性骨髄炎
271	鎖骨性骨髄炎
272	進行性骨化性線維異形成症
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症
274	骨形成不全症
275	タナトフォリック骨異形成症
276	軟骨無形成症
277	リンパ管腫症/ゴーハム病
278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)
279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)
280	巨大動脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)
281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群
282	先天性赤血球形成異常性貧血
283	後天性赤芽球病
284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血
285	ファンconi貧血
286	遺伝性鉄芽球性貧血
287	エプスタイン症候群
288	自己免疫性出血病XIII
289	クローンカイト・カナダ症候群
290	非特異性多発性小腸潰瘍症
291	ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸型)
292	総排泄腔外反症
293	総排泄腔還流
294	先天性横隔膜ヘルニア
295	乳幼児肝巨大血管腫
296	胆道閉鎖症
297	アラジーン症候群
298	遺伝性膝炎
299	遺伝性線維症
300	1gG4関連疾患
301	黄斑ジストロフィー
302	レーベル遺伝性視神経症
303	アッシュヤー症候群
304	若年発症型両側性感音難聴
305	遅発性内リンパ水腫
306	好酸球性副鼻腔炎

②指定難病一覧 P3

番号	指定難病名
215	ファロー四徴症
216	同大血管右室起始症
217	エプスタイン病
218	アルポート症候群
219	ギヤロウエイ・モトウ症候群
220	急速進行性糸球体腎炎
221	抗糸球体基底膜腎炎
222	一次性ネフローゼ症候群
223	一次性慢性髄膜炎性糸球体腎炎
224	紫癜性腎炎
225	先天性腎性尿崩症
226	間質性肺炎(ハンナ型)
227	オスラー病
228	閉塞性細気管支炎
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)
230	肺胞性線維症候群
231	α1-アンチトリプシン欠乏症
232	カーニー複合
233	ケアルワラム症候群
234	ヘルオキソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)
235	副甲狀腺機能低下症
236	偽性副甲狀腺機能低下症
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症
240	フェニルケトン尿症
241	高チロシン血症1型
242	高チロシン血症2型
243	高チロシン血症3型
244	メーブルジロソッフ尿症
245	プロセオン酸血症
246	メチルマロン酸血症
247	イソ吉草酸血症
248	グルコーストランスポート1欠損症
249	グルタル酸血症1型
250	グルタル酸血症2型
251	尿素サイクル異常症
252	リジン尿性蛋白不貯症
253	先天性葉緑酸吸入不全
254	ホルフィリン症
255	複合カルボキシラーゼ欠損症
256	筋型糖尿病
257	肝型糖尿病
258	カラクトースーリン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症
259	レシチンコレステロールアルシルトランスフェラーゼ欠損症
260	シトステロール血症

番号	指定難病名
162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)
163	特異性後天性全身性無汗症
164	脚皮膚白皮症
165	肥厚性皮膚骨膜炎
166	弾性線維性仮性黄色腫
167	マルファン症候群
168	エーラス・ダンロス症候群
169	メンケス病
170	オクシピタル・ホーン症候群
171	ウイロソ病
172	低ホスファターゼ症
173	VATER症候群
174	那須・ハコラ病
175	ワイバーン症候群
176	コフィン・ローリー症候群
177	有馬症候群
178	モワット・ウィルソン症候群
179	ワイリアムズ症候群
180	ATR-X症候群
181	クルーゾン症候群
182	アペール症候群
183	ファイファー症候群
184	アントレー・ピクスラー症候群
185	コフィン・シロソン症候群
186	ロスランド・トムソン症候群
187	孤異症候群
188	多降症候群
189	無降症候群
190	聴耳腎症候群
191	ウェルナー症候群
192	コケイン症候群
193	アラダー・ウィリ症候群
194	ソトス症候群
195	ズーナン症候群
196	ヤング・シンプソン症候群
197	1p36欠失症候群
198	4p欠失症候群
199	5p欠失症候群
200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群
201	アンジェルマン症候群
202	22q11.2欠失症候群
203	スミス・マギニス症候群
204	エマエル症候群
205	脆弱X症候群関連疾患
206	聴弱X症候群
207	総動脈遊離症
208	修正大血管転位症
209	完全大血管転位症
210	開心室症
211	左心低形成症候群
212	三尖弁閉鎖症
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症

番号	指定難病名
109	リンパ脈管腫症
110	リンデンシュタイン・テイビ症候群
111	先天性ミオハチー
112	マリネスコ・シェーグレン症候群
113	筋ジストロフィー
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群
115	遠伝性周期性四肢麻痺
116	アトピー性腎炎
117	腎臓空洞症
118	腎臓腫瘍
119	アイザックス症候群
120	遠伝性ジストニア
121	神経フェリチン症
122	脳脊髄液減少症
123	禿頭と変形性骨腫瘍を伴う常染色体劣性白質脳症
124	皮膚下硬癭と白質脳症を伴う常染色体劣性脳動脈症
125	神経軸索スウェロイド形成を伴う遠伝性びまん性白質脳症
126	ベリー症候群
127	前頭側頭葉変性症
128	ピッカーズタッフ脳幹脚炎
129	症候重積型(二相性)急性脳症
130	先天性無痛汗症
131	アレキサンダー病
132	先天性核上性球痺
133	メビウス症候群
134	中間神経形成異常症/ドモルタン症候群
135	アイカルティ症候群
136	片側巨脳症
137	限局性皮質異常形成
138	神経細胞移動異常症
139	先天性大脳白質形成不全症
140	トラバ症候群
141	海馬硬化を伴う内側頭葉てんかん
142	ミオクロニー欠伸てんかん
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん
144	レノックス・ガストー症候群
145	ウエスト症候群
146	大田原症候群
147	早期ミオクロニー脳症
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群
150	環状20番染色体症候群
151	ラスムッセン脚炎
152	PCDH19関連症候群
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎
154	髄液睡眠時持続性棘波を示すてんかん性脳症
155	ランドウ・クレフナー症候群
156	レット症候群
157	スタージ・ウェーバー症候群
158	結節性硬化症
159	色素性乾皮症
160	先天性魚鱗癬
161	家族性良性慢性天疱瘡



公益社団法人全国老人保健施設協会

〒105-0011

東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 6階

TEL.03-3432-4165 FAX.03-3432-4172